

北陸圏広域地方計画の推進について
令和4年度の取組み

令和8年3月
北陸圏広域地方計画協議会

目 次

1. 概要・あらまし	1
1.1 北陸圏広域地方計画について	1
1.1.1 計画の概念	1
1.1.2 計画の概要	2
2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について	23
2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】	23
2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト	23
2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト	38
2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト	46
2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト	53
2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト	60
2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト	64
2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト	71
2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト	77
2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト	83

1. 概要・あらし

1.1 北陸圏広域地方計画について

1.1.1 計画の概念

北陸圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき、全国レベルの「国土形成計画」を踏まえ各地方ブロックごとに方針・目標・施策を定めるもので、北陸圏の2050年頃までを展望しつつ、今後概ね10ヶ年間の国土形成に係る基本的な計画である。

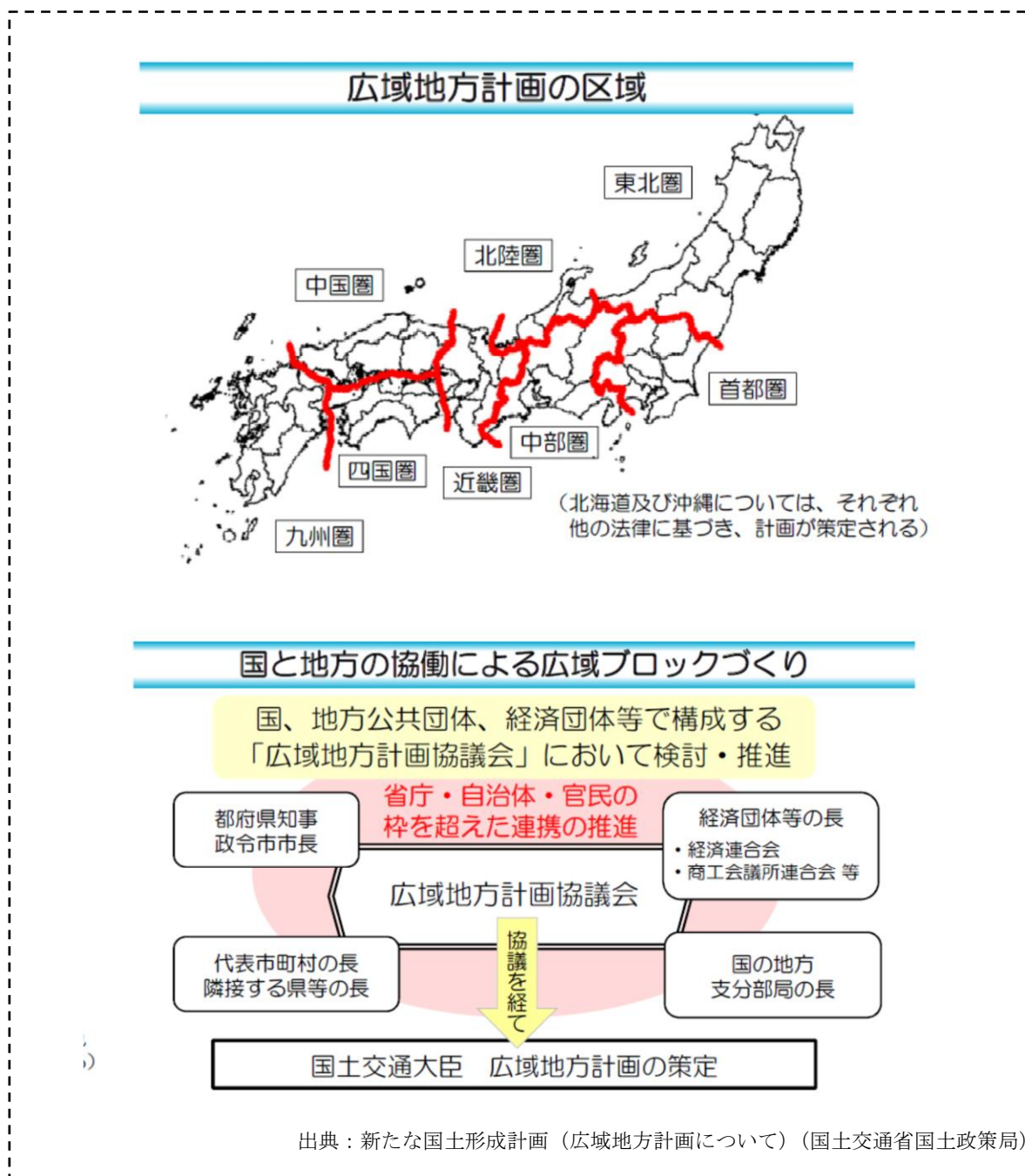


図 1 広域地方計画の概要

1.1.2 計画の概要

(1) 北陸圏の現状

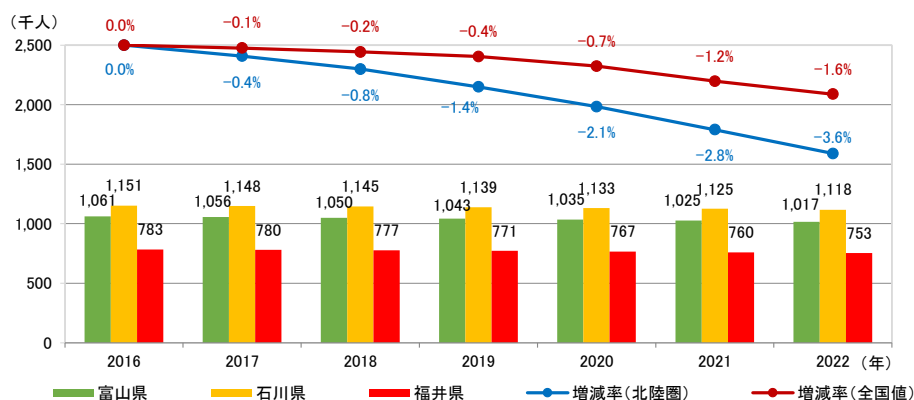
北陸圏を取り巻く現状を、人口、域内総生産、海上出入貨物量、延べ宿泊者数等を用いて整理し、全国における北陸圏の位置づけを把握する。

なお、統計データは2022年8月末時点の公表データを用いている。

1) 人口動態

① 人口、人口増減

北陸圏の2022年(令和4年)における人口は、2016年(平成28年)と比較すると3.6%減少しており、全国値(1.6%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



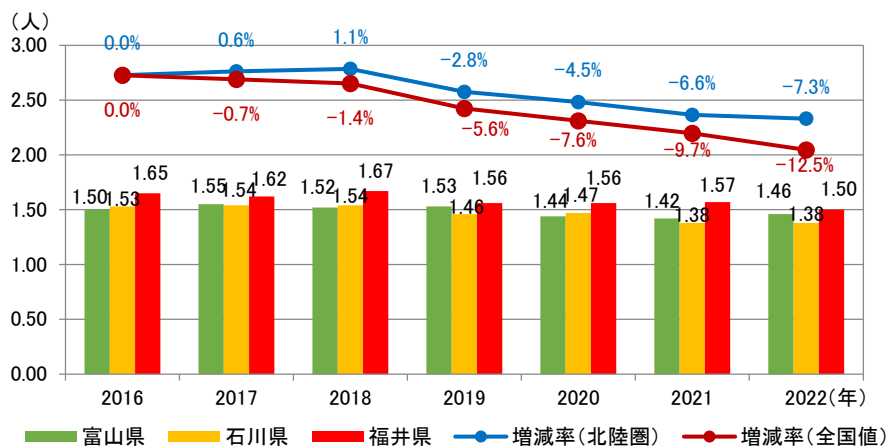
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：総務省「人口推計」 総人口(男女計)各年10月1日現在

図2 北陸圏 人口、人口前年増減の推移

② 合計特殊出生率

北陸圏の2022年(令和4年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると7.3%減少しており、全国と同様に年々減少している傾向にある。



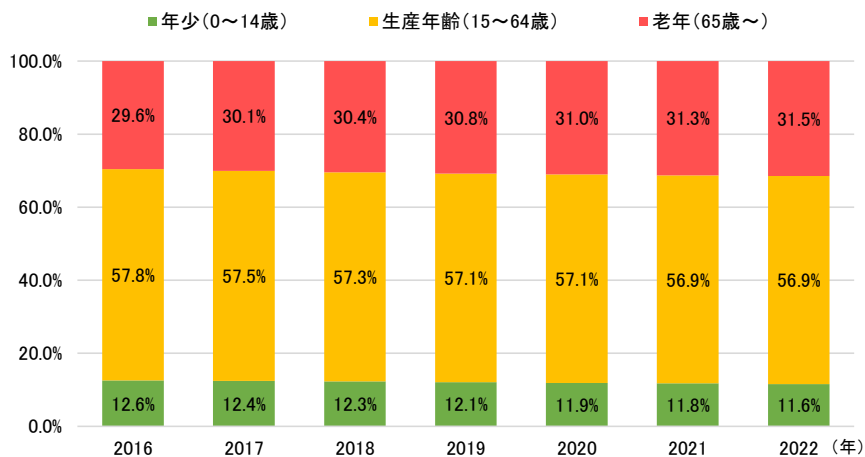
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

図3 北陸圏 合計特殊出生率の推移

③ 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合

2022年(令和4年)の年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合は、それぞれ11.6%、56.9%、31.5%であり、2021年(令和3年)と比較すると、高齢者人口が0.2ポイント増加した一方で、年少人口は0.2ポイント減少している。なお、生産年齢は増減無しである。



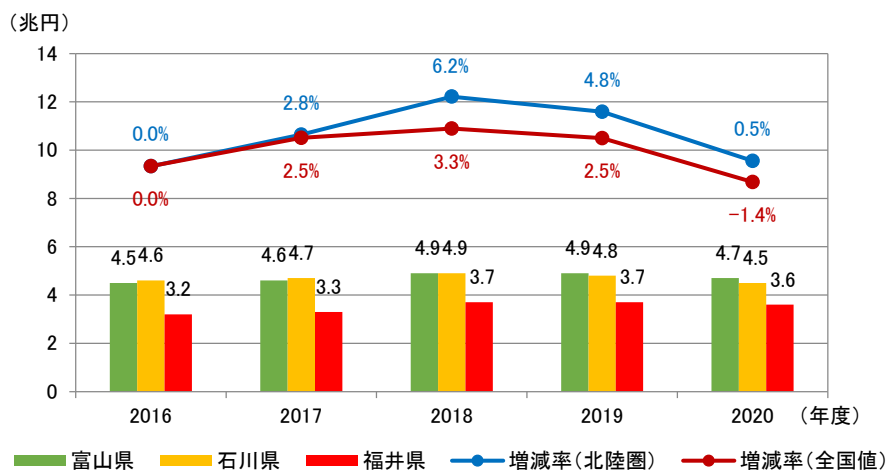
出典：総務省「人口推計」 各年10月1日現在の人口

図4 北陸圏 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合の推移

2) 経済・産業

① 域内総生産(名目)

北陸圏の2020年度(令和2年度)における域内総生産(名目)は、2016年度(平成28年度)と比較すると0.5%増加している。



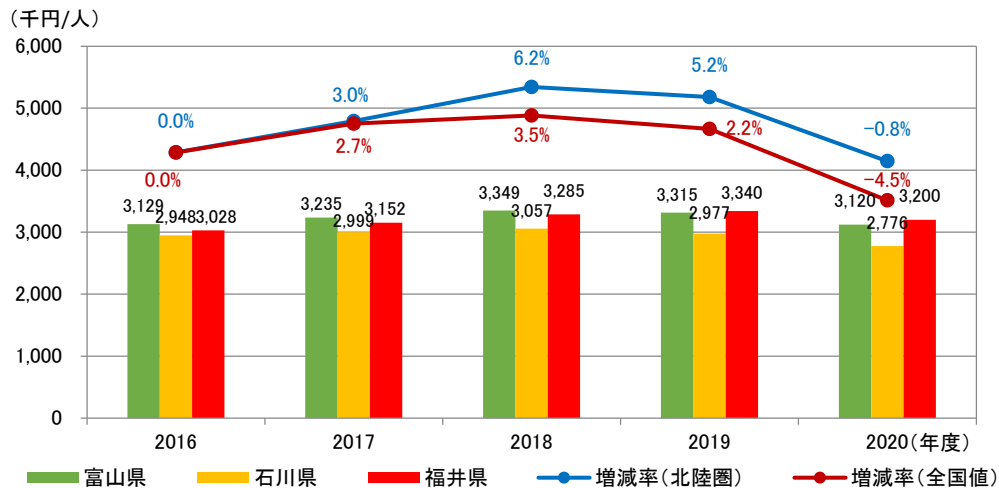
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」

図5 北陸圏 域内総生産(名目)の推移

② 人口1人あたり県民所得

北陸圏の2020年度(令和2年度)における人口1人あたり県民所得は、2016年度(平成28年度)と比較すると0.8%減少しており、全国値(4.5%減少)よりも減少している割合が低くなっている。



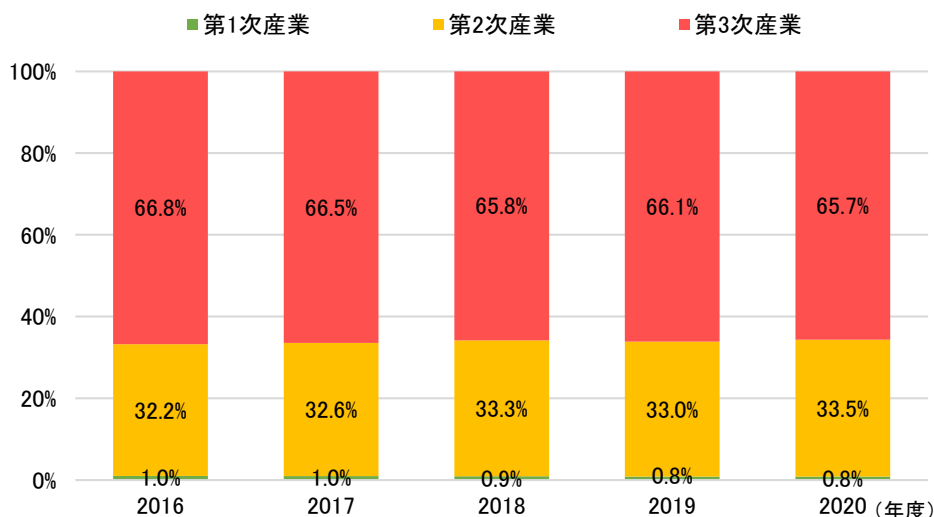
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」、総務省「人口推計」

図6 北陸圏 人口1人あたり県民所得の推移

③ 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)

第1次、第2次、第3次産業の総生産割合は、2020年度(令和2年度)でそれぞれ0.8%、33.5%、65.7%であり、2016年度(平成28年度)比で第1次産業が0.2ポイント減少、第2次産業が1.3ポイント増加、第3次産業が1.1ポイント減少している。

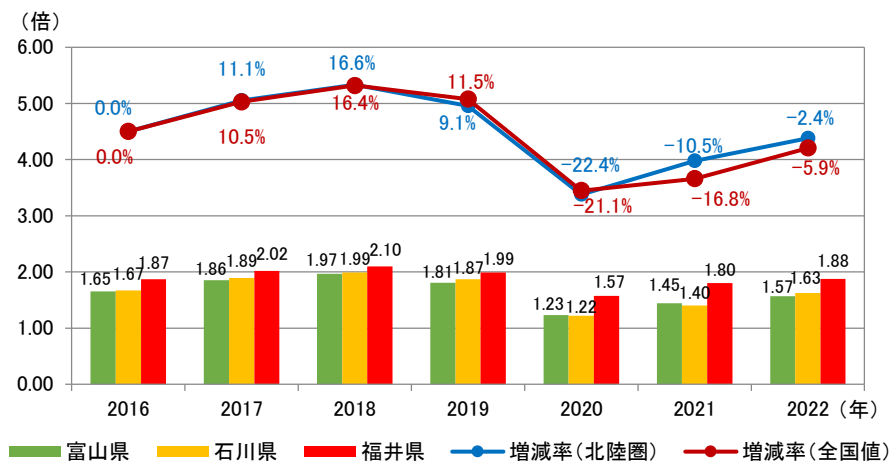


出典：内閣府「県民経済計算年報」

図7 北陸圏 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)の推移

④ 有効求人倍率

北陸圏の2022年(令和4年)の有効求人倍率は、コロナ渦前の2016年(平成28年)と比較すると2.4%減少となり、全国値(5.9%減少)よりもコロナ渦前における有効求人倍率の水準まで概ね回復してきている。



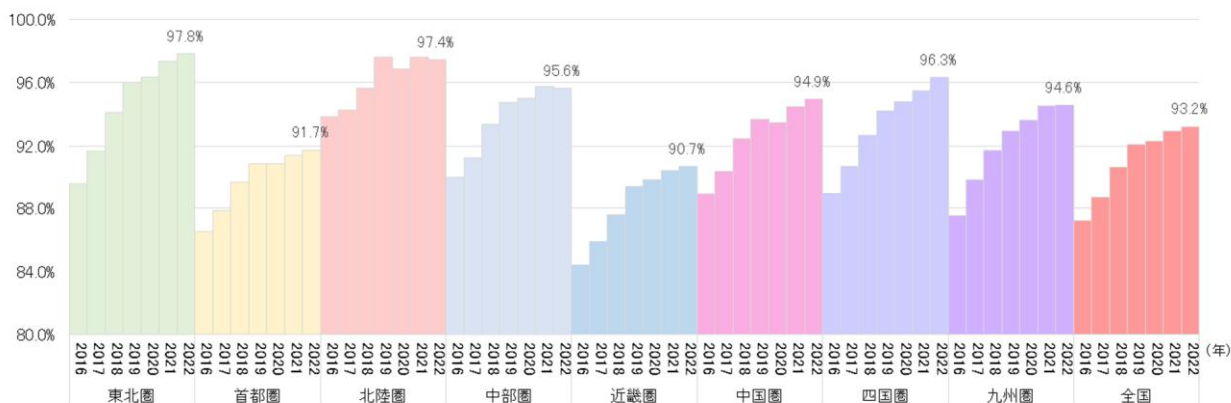
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

図8 北陸圏 有効求人倍率の推移

⑤ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合(圏域別)

北陸圏では、2022年(令和4年)で97.4%となり、全国平均(93.2%)より4.2ポイント高い割合となっている。

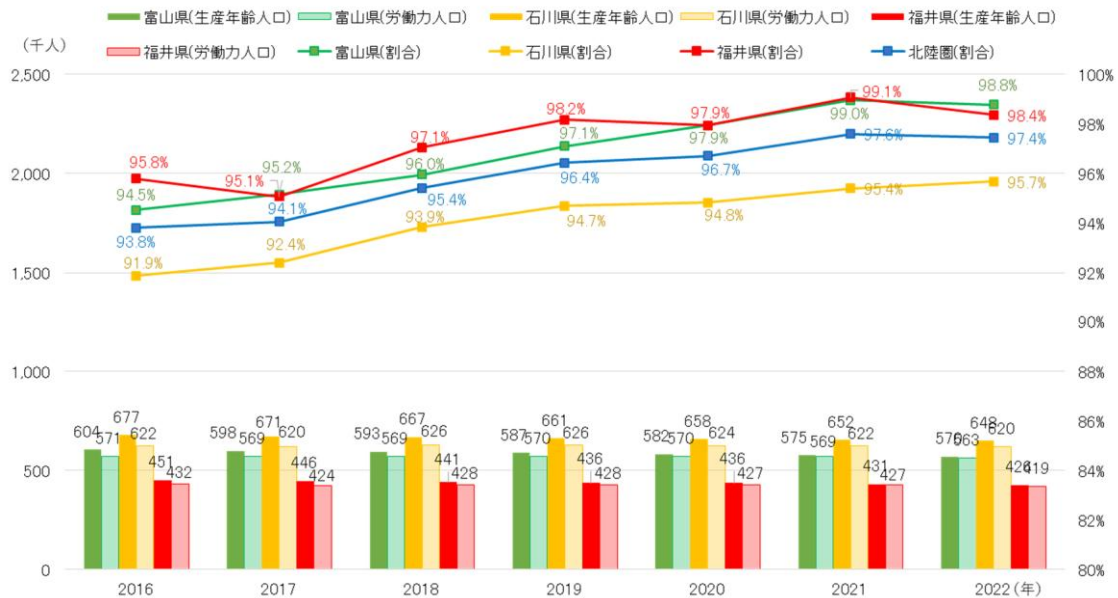


出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図9 生産年齢人口あたり労働力人口の割合の推移(圏域別)

⑥ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合（北陸圏）

北陸圏の各県では、2022年(令和4年)において生産年齢人口及び労働力人口が最も多い県は、石川県(648千人、620千人)となっている。一方、生産年齢人口に占める労働力人口の割合は富山県(98.8%)が最も高くなっている。



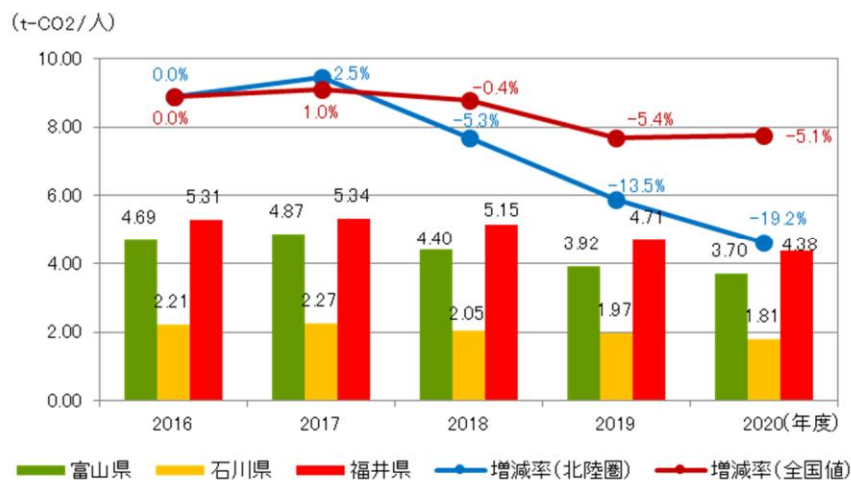
出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図 10 生産年齢人口及び労働力人口とその割合の推移（北陸圏）

3) 環境

① 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）

北陸圏の2020年度(令和2年度)における人口1人あたり温室効果ガス算定排出量(特定事業者)は、2016年度(平成28年度)と比較すると19.2%減少しており、全国値(5.1%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



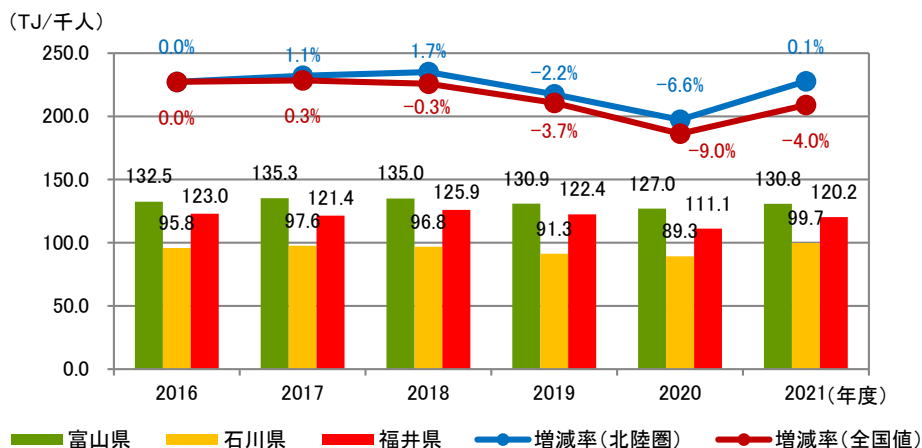
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「温室効果ガス排出量の集計結果」、総務省「人口推計」

図 11 北陸圏 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）の推移

② 人口千人あたりエネルギー消費量

北陸圏の2021年度(令和3年度)における人口千人あたりエネルギー消費量は、2016年度(平成28年度)と比較すると0.1%増加しており、全国値(4.0%減少)よりも増加している割合が高くなっている。



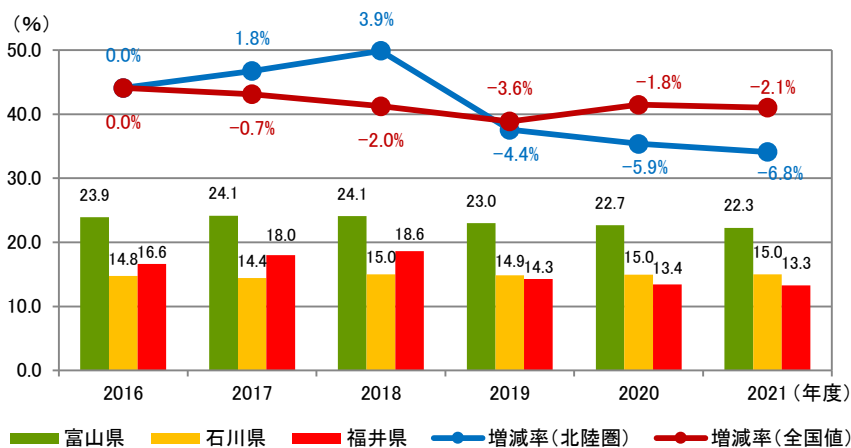
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」(2021年度は暫定値)、総務省「人口推計」

図12 北陸圏 人口千人あたりエネルギー消費量の推移

③ リサイクル率

北陸圏の2021年度(令和3年度)におけるリサイクル率は、2016年度(平成28年度)と比較すると6.8%減少しており、全国値(2.1%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

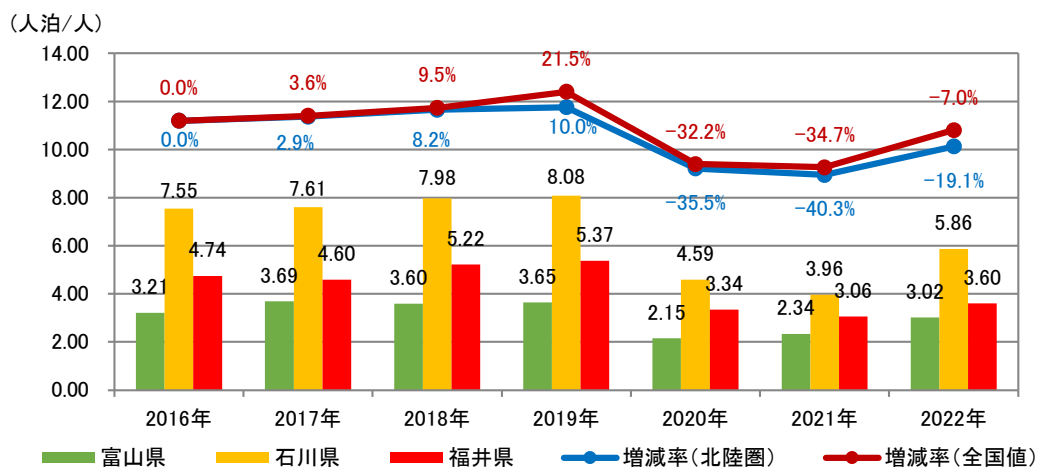
出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

図13 北陸圏 リサイクル率の推移

4) 観光・歴史文化

① 人口1人あたり延べ宿泊者数

北陸圏の2019年(令和元年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して10.0%増加している。しかし、2020年(令和2年)以降、最大40.0%程度減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。2022年(令和4年)は、2021年(令和3年)と比較して増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。

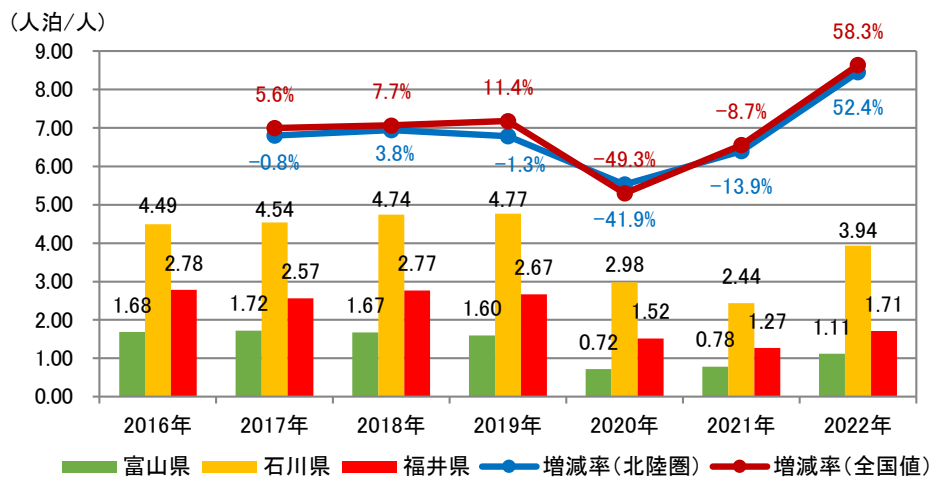


※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図14 北陸圏 人口1人あたり延べ宿泊者数の推移

【参考】人口1人あたり延べ観光宿泊者数



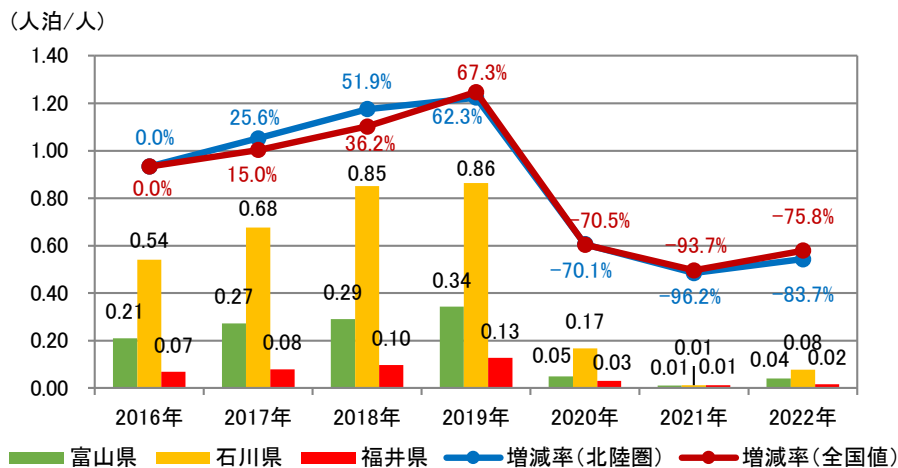
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図15 北陸圏 人口1人あたり延べ観光宿泊者数の推移

② 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数

北陸圏の2019年(令和元年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して62.3%増加している。しかし、2020年(令和元年)以降70.0%以上減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。



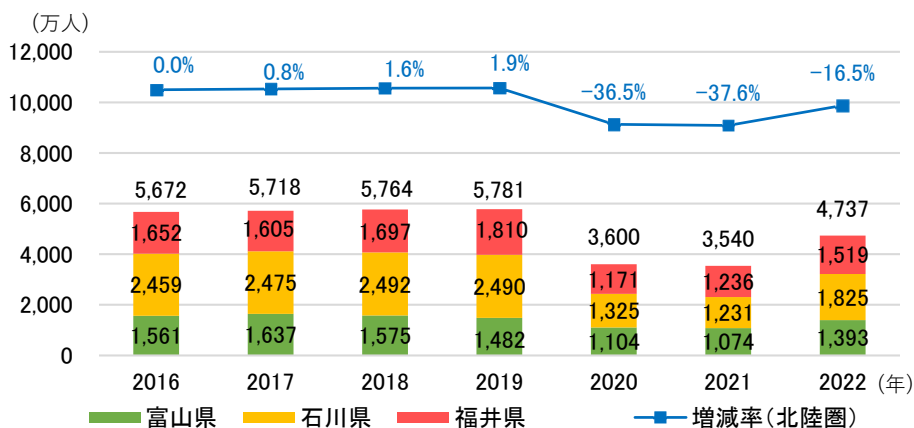
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図16 北陸圏 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数の推移

③ 観光入込客数

北陸圏の2019年(令和元年)における観光入込客数は、2016年(平成28年)と比較して1.9%増加している。しかし、2020年、2021年(令和2年、令和3年)は40.0%程度減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。2022年(令和4年)は、2021年(令和3年)と比較して増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：富山県「富山県観光客入込数(推計)」

石川県「統計からみた石川県の観光」

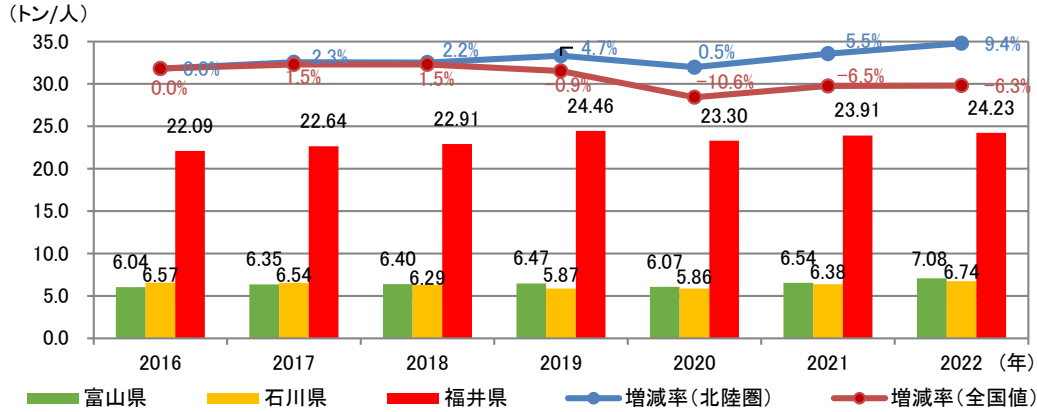
福井県「福井県観光客入込数(推計)」

図17 北陸圏 観光入込客数の推移

5) 物流・交流

① 人口1人あたり港湾の取扱貨物量

北陸圏の2022年(令和4年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年度(平成28年度)と比較すると9.4%増加しており、全国値は2022年(令和4年)に6.3%減少している。



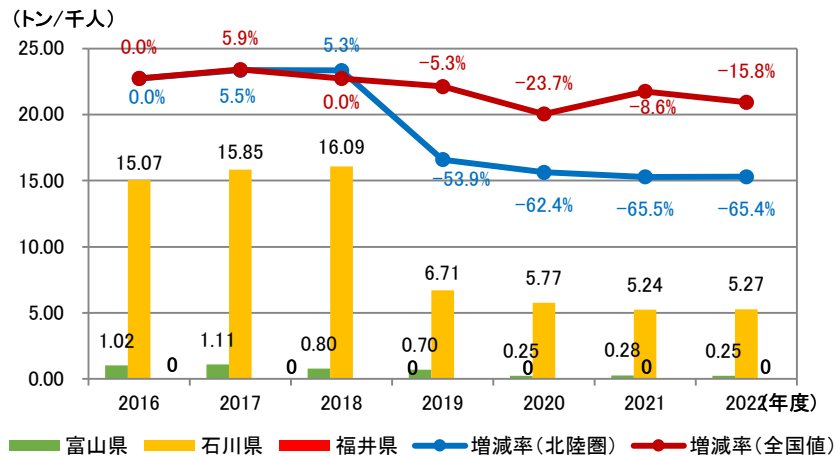
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」、総務省「人口推計」

図 18 北陸圏 港湾の取扱貨物量 (人口1人あたり港湾の取扱貨物量) の推移

② 人口千人あたり空港の貨物取扱量

北陸圏の人口千人あたり空港の貨物取扱量は、2019年度(令和元年度)以降は、2016年度(平成28年度)と比較して50.0%以上減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。



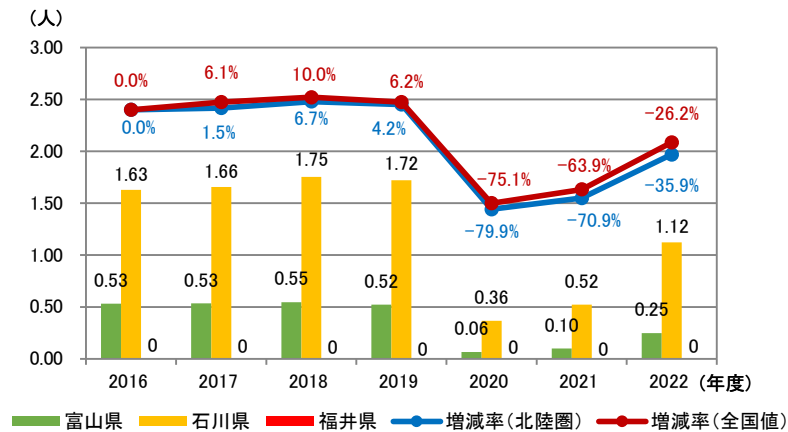
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図 19 北陸圏 人口千人あたり空港の貨物取扱量の推移

③ 人口1人あたり空港の乗降客数

北陸圏の人口1人あたり空港の乗降客数は、2020年度(令和2年度)は2016年度(平成28年度)と比較して79.9%減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とみられる。2022年度(令和4年度)は2021年度(令和3年度)と比較すれば増加しているが、コロナ渦前の水準には戻っていない。



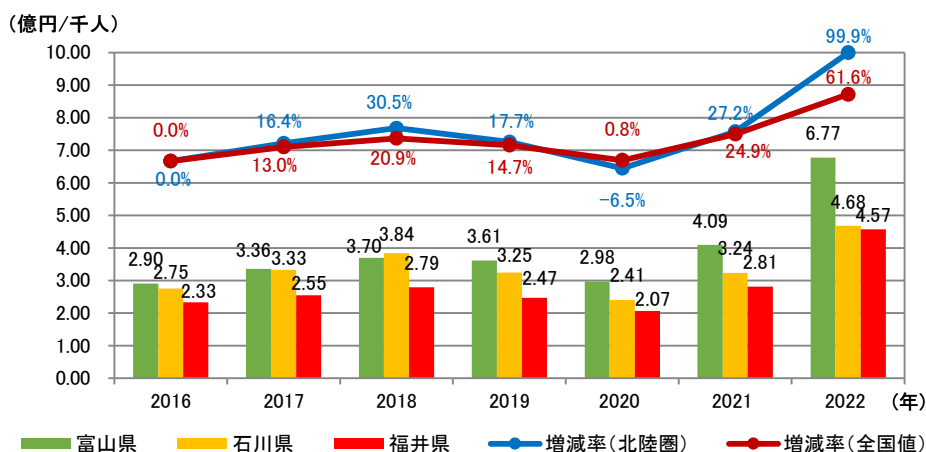
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図 20 北陸圏 人口1人あたり空港の乗降客数の推移

④ 人口千人あたり貿易額

北陸圏の2022年(令和4年)における人口千人あたり貿易額は、2016年(平成28年)と比較すると99.9%増加しており、全国値(61.6%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



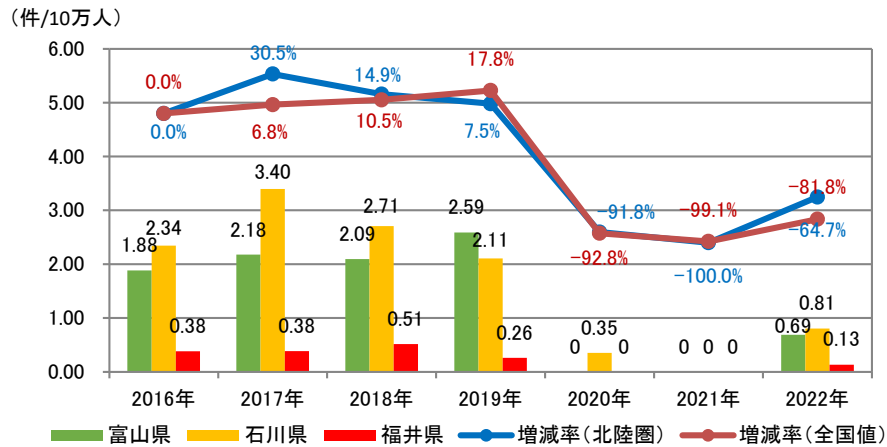
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：財務省「貿易統計」、総務省「人口推計」

図 21 北陸圏 人口千人あたり貿易額の推移

⑤ 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数

北陸圏の人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数は、2020 年(令和 2 年)は 2016 年(平成 28 年)と比較して 91.8%減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とみられる。2022 年(令和 4 年)は 2021 年(令和 3 年)と比較すれば増加しているが、コロナ渦前の水準には戻っていない。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

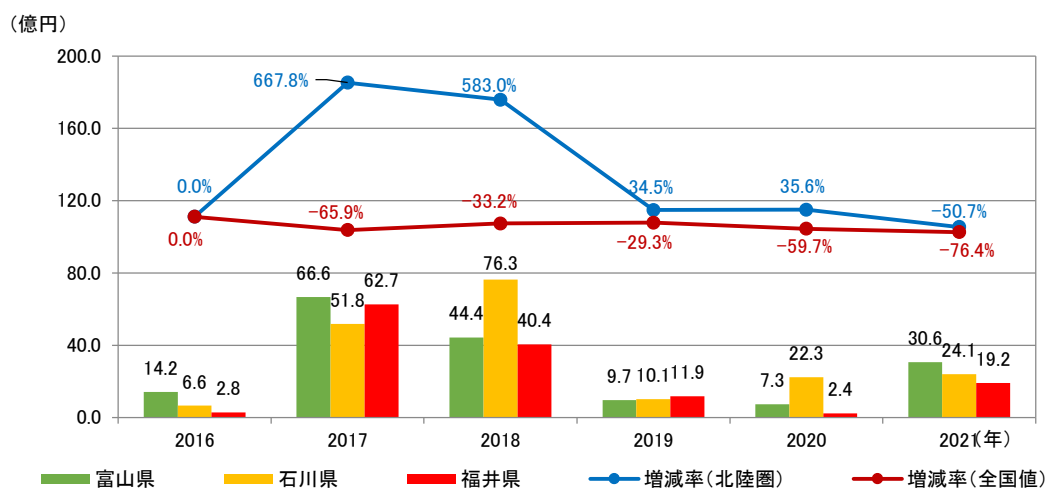
出典：日本政府観光局「国際会議統計」、総務省「人口推計」

図 22 北陸圏 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数の推移

6) 防災・社会資本整備

① 自然災害による被害総額

北陸圏の 2021 年(令和 3 年)における自然災害による被害総額は、約 74 億円(富山県:30.6 億円、石川県:24.1 億円、福井県:19.2 億円)となっている。



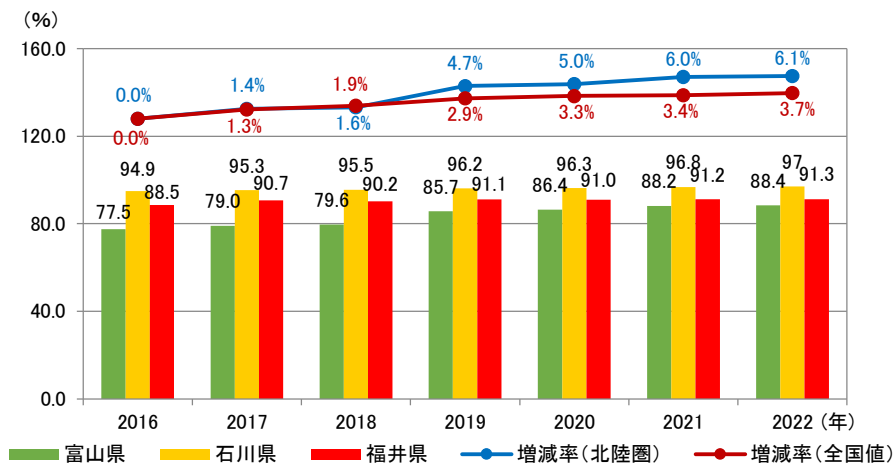
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 23 北陸圏 自然災害による被害総額の推移

② 自主防災組織活動カバー率

北陸圏の2022年(令和4年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると6.1%増加しており、全国値(3.7%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

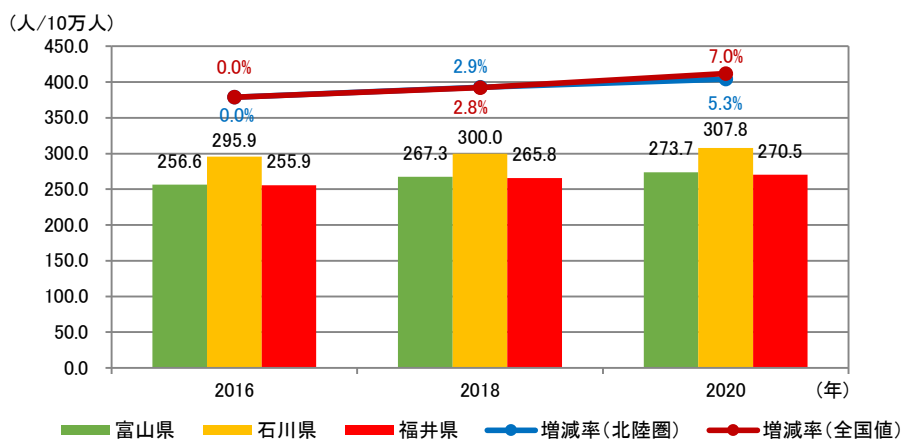
出典：消防庁「消防白書」

図 24 北陸圏 自主防災組織活動カバー率の推移

7) 医療福祉

① 人口10万人あたり医師数

北陸圏の2020年(令和2年)における人口10万人あたり医師数は、2016年(平成28年)と比較すると5.3%増加しており、全国値(7.0%増加)よりも増加している割合が低くなっている。



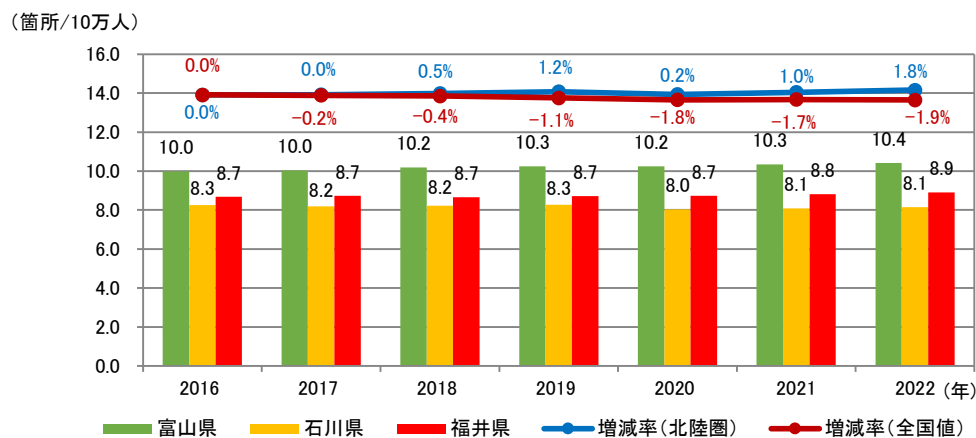
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、総務省「人口推計」

図 25 北陸圏 人口10万人あたり医師数の推移

② 人口 10 万人あたり一般病院数

北陸圏の 2022 年(令和 4 年)における人口 10 万人あたり一般病院数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 1.8%増加しており、一方、全国値は 2016 年(平成 28 年)と比較して 1.9%減少している。



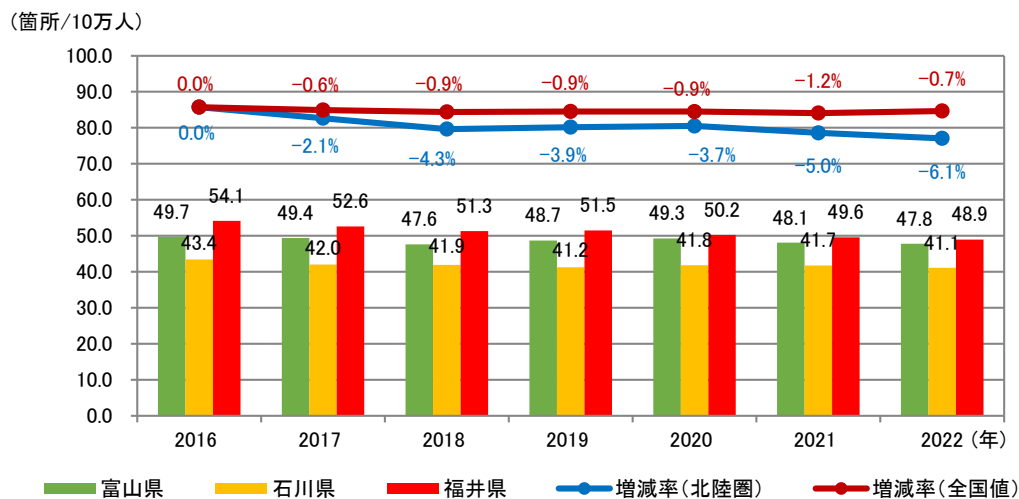
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医療施設調査」、総務省「人口推計」

図 26 北陸圏 人口 10 万人あたり一般病院数の推移

③ 高齢者（65 歳以上）人口 10 万人あたり介護施設数

北陸圏の 2022 年(令和 4 年)における高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 6.1%減少しており、全国値(0.7%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



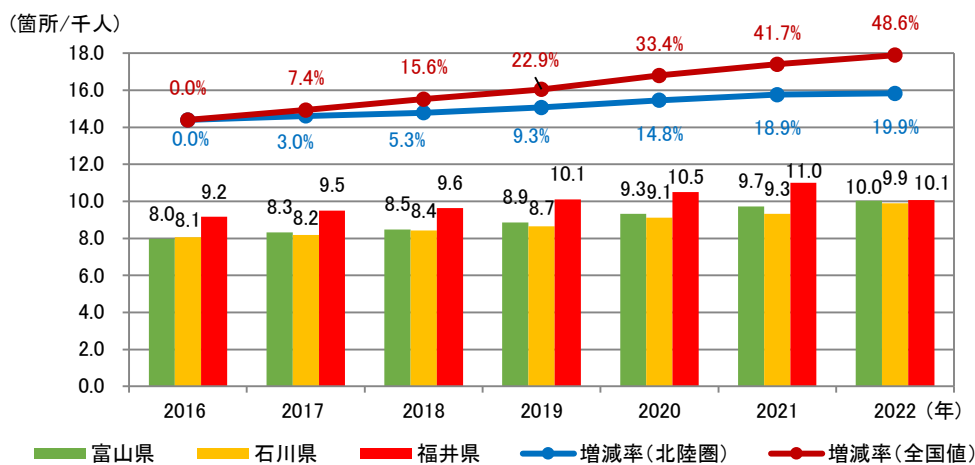
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」、総務省「人口推計」

図 27 北陸圏 高齢者（65 歳以上）人口 10 万人あたり介護施設数の推移

④ 5歳未満人口千人あたり保育所数

北陸圏の2022年(令和4年)における5歳未満人口千人あたり保育所数は、2016年(平成28年)と比較すると19.9%増加しており、全国値(48.6%増加)よりも増加している割合が低くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

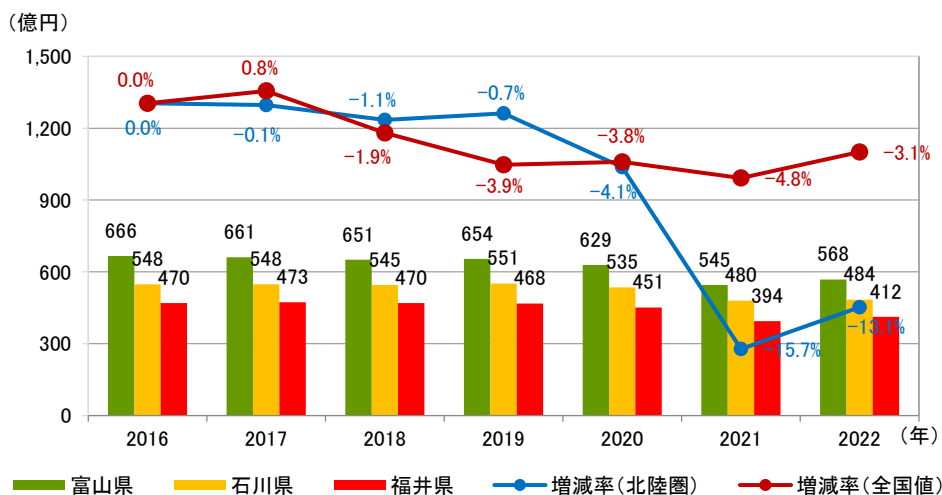
出典：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」、総務省「人口推計」

図 28 北陸圏 5歳未満人口千人あたり保育所数の推移

8) 農業・食料

① 農業産出額

北陸圏の2022年(令和4年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較すると13.1%減少しており、全国値(3.1%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



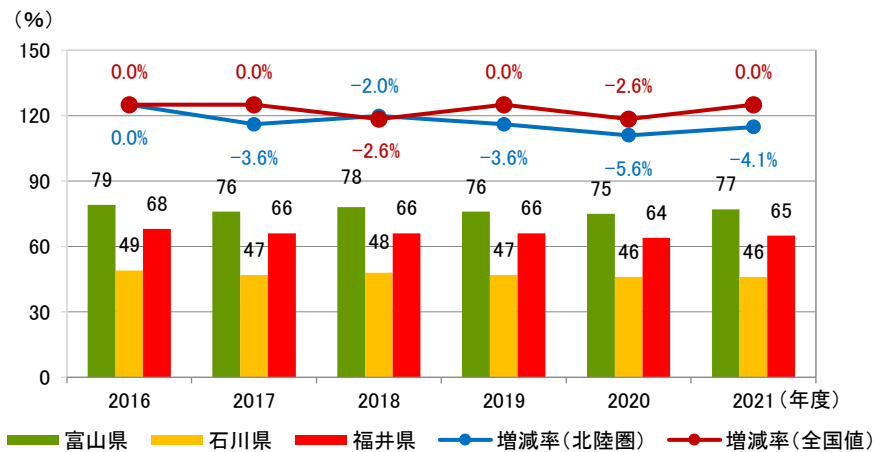
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 29 北陸圏 農業産出額の推移

② 食料自給率（カロリーベース）

北陸圏の2021年度(令和3年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.1%減少しており、全国値(増減なし)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算
 出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移（カロリーベース）」※2021年度は概算値

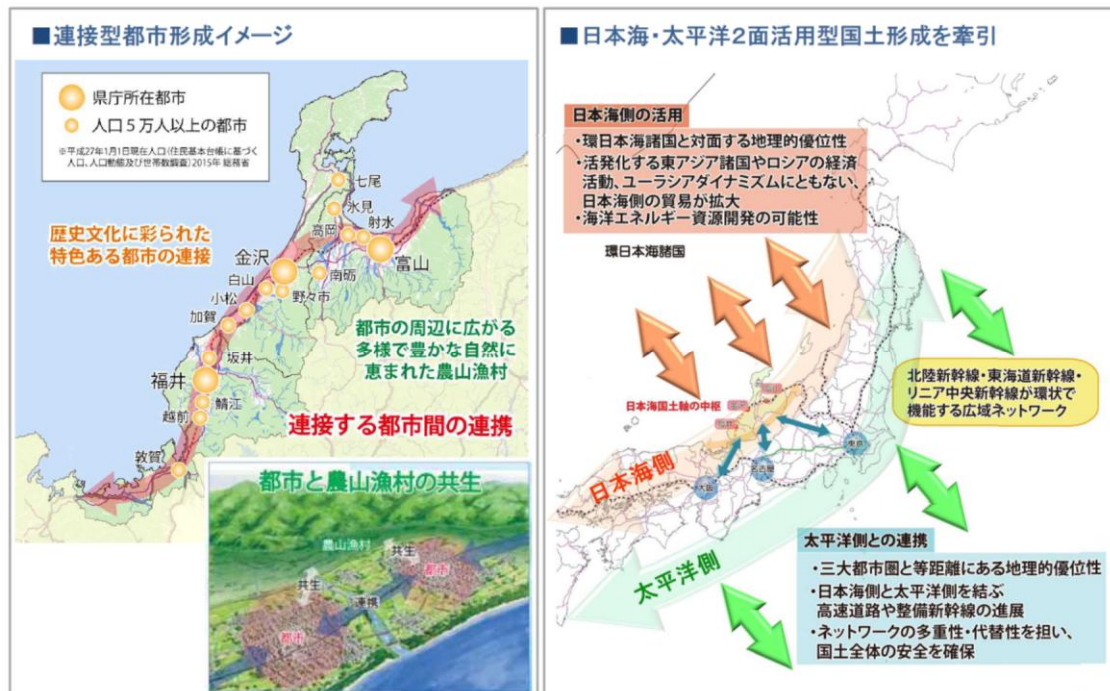
図 30 北陸圏 食料自給率（カロリーベース）の推移

(2) 北陸圏の目指すべき将来像

北陸圏は、優れた地域資源を圏域内の連携により磨き上げることで、自立的な発展を図るだけでなく、立地特性を活かし、人口規模や面積等は小さいながらも、環日本海諸国を始めとする東アジアや国内外との対流・交流・連携を進めることにより、我が国の持続的な発展を先導する、日本海側における対流・交流の中核圏域としての役割を果たしていく。すなわち、北陸圏を「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」と位置付け、新しい国土像の構築に寄与していく。具体的には、以下に示す2つを将来像として掲げ、国、地方公共団体及び多様な民間主体が相互に連携し、特色ある地域の形成に向けた戦略を展開する。

<2つの将来像>

- (1) 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く新・北陸
- (2) 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する新・北陸



出典：新たな「北陸圏広域地方計画」説明資料（北陸圏広域地方計画推進室）

図 31 北陸圏の目指すべき将来像

(3) 新しい将来像の実現に向けた目標・戦略

日本海国土軸の中核圏域を形成するための2つの将来像を効果的・戦略的に実現するため、国、地方公共団体、経済界等の多様な主体が協力・強調して北陸圏のポテンシャルを活かした施策や事業を展開できるよう、より具体的な目標・戦略を設定する。具体的には、2つの将来像に対して以下に示す4つの目標を整理し、その実現に向けた12の戦略を掲げている。

<4つの目標と12の戦略>

【目標1】個性ある北陸圏の創生

戦略1：親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等誰もが暮らしやすい生活環境の充実

戦略2：本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実

戦略3：多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

戦略4：風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実

戦略5：豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

【目標2】競争力のある産業の育成

戦略6：集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実

戦略7：太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化

戦略8：圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

【目標3】日本海側の中核圏域の形成

戦略9：市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化

戦略10：太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

【目標4】対流・交流人口の創出

戦略11：多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実

戦略12：北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等の国内外観光客誘客促進と魅力の発信

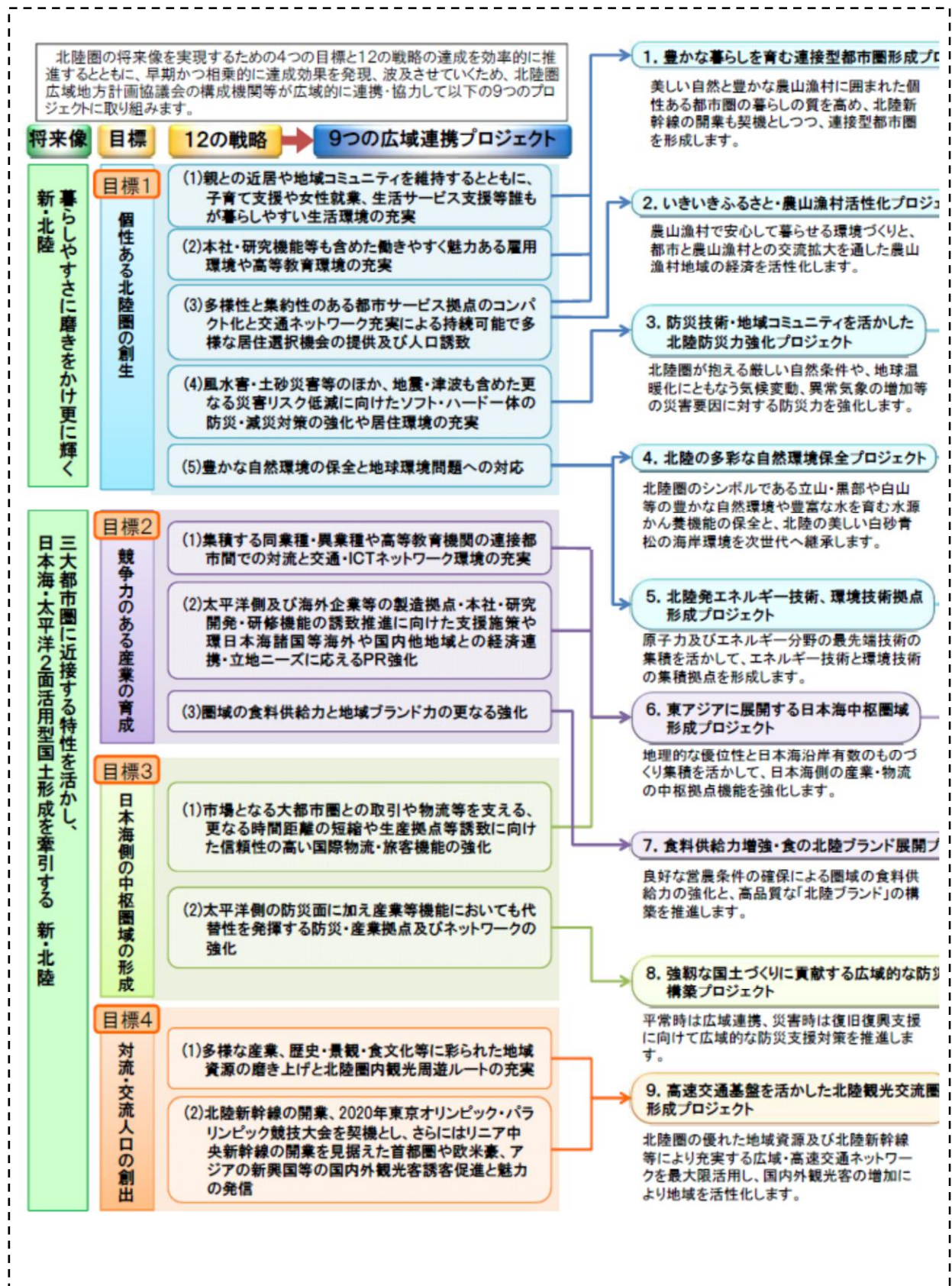
(4) 広域連携プロジェクト

将来像の実現に向けた4つの目標と12の戦略の達成を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下に示す9つの広域連携プロジェクトに取り組むこととしている。

<9つの広域連携プロジェクト>

- PJ1：豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト
- PJ2：いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト
- PJ3：防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト
- PJ4：北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト
- PJ5：北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト
- PJ6：東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト
- PJ7：食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制構築プロジェクト
- PJ9：高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

(参考) 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図



プロジェクト

◇住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

▼富士市のコンパクトなまちづくりの推進

LRT等を公共交通軸(串)とし、その軸上に都市拠点(団子)を配置する都市構造の構築



【写真提供】富士市

◇個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成
◇公共施設の計画的な管理
◇近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる連接型都市圏の形成

プロジェクト

◇農山漁村の活性化

▼能登の里山里海

世界農業遺産認定(平成23年6月)をきっかけに能登半島全体の魅力発信の場としてポータルサイトを立ち上げ



【出典】世界農業遺産能登の里山里海ポータルサイト

◇都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

▼農山漁業体験民宿を核とした取組



【出典】北陸農政課

◇防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

▼海岸侵食対策(下新川海岸)

富山湾特有の「寄り回り波」による災害から人命・財産を守り、海岸侵食を防止



【出典】富山県HP

◇地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

▼自主防災組織主体の避難所運営訓練

防災訓練として、自主防災組織が中心となった避難所運営



【出典】石川県HP

◇立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

▼富山県:立山・黒部地域の環境保全

国立公園内の美観保持、健全なリレエーションの場としての維持のため、清掃活動やパトロール、登山道整備や積雪保護策を実施



◇日本海沿岸地域の環境保全

▼千里浜再生プロジェクト

土砂投入・砂流出防止工・人工リーフ等による砂浜の保全



【出典】石川県HP

▼先進的な研究の推進(若狭湾エネルギー研究センター)

国、自治体、大学、産業界一体となったエネルギーの総合的な研究開発拠点形成



【出典】若狭湾エネルギー研究センターHP

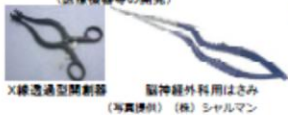
▼間伐材や林地残材等のペレット加工によるバイオマスエネルギー等の普及促進



【出典】富山県HP

◇日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

▼イノベーションによる新産業の事例
北陸ライフサイエンスクラスター



X線透過型顕微鏡 脳神経外科用はさみ (写真提供) (株) シヤルマン

◇三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

▼国際物流ターミナル等の機能強化(金沢港大野地区)



プロジェクト

◇食料供給力の強化

▼農地の整備による生産性の向上(福井平野)



【出典】福井県HP

◇「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

▼農業6次化の事例(ハトムギ) がんの予防効果や美肌効果が見込める「ハトムギエキス」を開発するなど「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化を推進



【出典】JA水原市 水原はとむぎ物産HP

防災体制

▼TEC-FORCEの派遣

大規模自然災害発生時、地方自治体の要請で、災害応急対策に対する技術的な支援を実施



▼高規格幹線道路網の充実

災害時の緊急輸送ネットワークの一翼を担う高規格幹線道路の整備を推進



(東海北陸自動車道)

◇地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

▼石川県都市公園の整備(金沢城公園)



【出典】石川県HP

▼若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】小浜市HP

◇国内外観光客の戦略的な誘客拡大

▼伏木富山港伏木地区クルーズ船



【出典】富山県HP

出典：新たな「北陸圏広域地方計画」プレスリリース（北陸圏広域地方計画推進室）

図 32 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図

(5) 先行して取り組む施策について

広域連携プロジェクトを効率的に進めるとともに早期に効果を発現させるため、広域的な既存の連携事業・施策及び新たな連携の取組みを「先行して取り組む施策」として設定している。

＜先行して取り組む施策＞

- PJ1・9：北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクト
- PJ6：北陸次世代産業創出イノベーション推進プロジェクト
- PJ7：食の「北陸ブランド」の構築と流通・販売網の開拓・充実プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について

2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】

2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれ、住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開業も契機としつつ、近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる接続型都市圏の形成を推進することを目的としている。

(1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

① 個性豊かでコンパクトな都市圏形成の推進

[継続的な取組み]

○環境モデル都市の推進により地域の活力を創出。2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し「ゼロカーボンシティ」の表明及び実現に向けた施策・削減目標等を定める「富山市エネルギービジョン」に基づき事業を推進【富山市】

② 子育てを支援するワークライフバランスのとれた豊かな地域づくりの推進

[継続的な取組み]

○ワークライフバランス企業の表彰【石川県】

- ・ワークライフバランス表彰企業数（R4年度：10社）←（R3年度：13社 [-3社]）
- ・ワークライフバランスを実現するための職場環境の整備等に積極的に取り組み、顕著な成果があった企業を表彰することで、他の企業の取組みの促進を図る。

○とやま子育て応援団【富山県】

- ・協賛店（R5.3月：2,083箇所）←（R4.3月：2,204箇所 [-121箇所]）
- ・PRステーション（R5.3月：80箇所）←（R4.3月：84箇所 [-4箇所]）
- ・「お出かけサポート部門」の設置（妊産婦優先駐車場、授乳室等の設備を有するお店等）（R5.3月：422箇所）←（R4.3月：425箇所 [-3箇所]）
- ・利用状況調査(11月)の実施

○プレミアム・パスポート事業【子育てにやさしい企業推進協議会(石川県)】

- ・協賛店舗数（R5.3月現在：3,040店舗）←（R4.3月：2,997店舗 [+43店舗]）

③ 教育サービスの充実と安心して子どもを育てることのできるまちづくりの推進

[継続的な取組み]

○ふく育応援事業【福井県】

- ・登録店舗数（R5.4月：1,830店舗）←（R4.4月：1,533店舗[+297店舗]）

○サイエンス（理数）教育の充実（ふくい理数グランプリなど）【福井県】

- ・ふくい理数グランプリ開催（R4年度：1,881人参加）←（R3年度：1,861人参加 [+20人]）
- ・ふくいサイエンスフェスタの開催
- ・福井県合同課題研究発表会の開催

- ・南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞授与 (R4 年度：小学生 5 件、中学生 5 件、高校生 5 件)
← (R3 年度：小学生 5 件、中学生 4 件、高校生 4 件 [中学生+1 件、高校生+1 件])

○大学コンソーシアム石川の取組み【大学コンソーシアム石川】

- ・いしかわシティカレッジ (単位互換事業の実施)
受講者数 (R4 年度：3,292 人) ← (R3 年度：2,933 人[+359 人])
- ・石川の大学ガイドブックの作成・配布 20,000 部
- ・出張オープンキャンパス事業の実施 (北陸 3 県の高校)
- ・合同進学説明会の開催
- ・地域課題研究ゼミナール支援事業の実施
- ・FD・SD 研修事業の実施
- ・官民協働海外留学支援事業の実施
- ・大学生の地元定着推進支援事業の実施
- ・石川未来プロジェクトの実施
- ・県外高校の教員招聘や県外高校出身の出身校訪問
- ・文科系芸術祭の開催

○大学コンソーシアム富山の取組み【大学コンソーシアム富山】

- ・合同企業訪問
- ・グローバルチャレンジ入門講座
- ・高大連携
- ・富山で学ぼう PR パンフレット
- ・単位互換科目 受講者数 (R4 年度現在：672 人) ← (R3 年度時点：671 人[+1 人])
- ・地域課題解決事業
- ・学生による地域フィールドワーク研究助成
- ・産学官金ネットワーク会議
- ・学生地域リーダー塾
- ・富山駅前キャンパス研修室開放

○「暮らしの道」の安全の推進【北陸地方整備局】

- ・金沢自転車ネットワーク協議会開催 (R4.9 月、R5.3 月)

○公立小中学校の通学路の安全確認【福井市、関係機関】

- ・学校等が把握した通学路危険箇所について、関係機関による通学路安全推進会議を開催し、情報共有を行った。

合同点検 (R4 年現在：13 箇所) ← (R3 年時点：16 箇所 [-3 箇所])

- ・通学路危険箇所について、関係機関にて検討を行い、道路標示の塗りなおし等を行った。
危険箇所の改善 (R4 年度：42 箇所) ← (R3 年度：42 箇所 [±0])

④ 医療・福祉サービスの充実

[継続的な取組み]

○富山型デイサービス【富山県】

<ハード>

- ・機能向上(改修) (R4 年度: 1 箇所 (312 千円)) ← (R3 年度: 1 箇所 (2,000 千円) [-1,688])
- ・機能向上(備品) (R3 年度: 4 箇所 (514 千円))

<ソフト>

- ・起業家育成講座 (R4 年度: 受講者 43 人 (512 千円)) ← (R3 年度: 受講者 34 人 (512 千円) [受講者+9 人])
- ・職員研修 (3 回) (R4 年度: 受講者 57 人 (408 千円)) ← (R3 年度: 受講者 47 人 (408 千円) [受講者+10 人])
- ・事業所数 (R4 年度: 119 事業所) ← (R3 年度: 128 事業所 [-9 事業所])

(2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

① 都市間の連携機能の強化

[継続的な取組み]

○高規格道路の整備

【北陸地方整備局】

- ・能越自動車道(輪島道路、田鶴浜七尾道路)、富山高山連絡道路(猪谷榆原道路、大沢野富山南道路)、金沢外環状道路(金沢東部環状道路、海側幹線(今町～鞍月))等の整備促進

【富山県】

- ・高岡環状道路等の整備促進

【石川県】

- ・金沢外環状道路(海側幹線(Ⅳ期区間))等の整備促進

【福井県】

- ・福井港丸岡インター連絡道路等の整備促進

○福井市を中心とした嶺北7市4町によるふくい嶺北連携中枢都市圏を形成【福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町】

- ・ビジョンに基づき、23のワーキンググループにおいて、文化会館整備を除く55の事業を実施
- ・移動型アンテナショップによる特産品の販路拡大をはじめ、「ふくい MaaS アプリ」の本格導入に向けた企画切符の電子化・販売の実証実験、成年後見制度利用促進体制の整備など、圏域全体の経済成長のけん引や圏域全体の生活関連機能サービスの向上等の取組を展開

② 二地域居住、移住・定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信

[継続的な取組み]

○暮らしよさ日本一の北陸地域ブランドの確立と魅力の発信【北陸イメージアップ推進会議】

- ・Webサイト「北陸に住もう～移住・UIターンガイド～」運営継続(北陸の暮らしやすさ、北陸三県の就職情報や移住・定住・ワーケーション情報等を紹介)
- ・「北陸イメージ調査」を実施し、北陸来訪経験の有無、UIターン前後での北陸への移住・暮らしやすさに関するイメージのギャップを調査

③ 若年層の定住、UIJターンの受入促進

[継続的な取組み]

○ふるさと就職の促進【石川県】

- ・合同企業説明会 (R4 年度 : 参加企業 483 社・学生 1,078 人) ← (R3 年度 : 参加企業 379 社・学生 1,020 人 [+104 社・+58 人])
- ・インターンシップマッチング交流会 (R4 年度 : 参加企業 346 社・学生 1,665 人) ← (R3 年度 : 参加企業 331 社・学生 1,270 人 [+15 社・+395 人])
- ・いしかわ就職・定住総合サポートセンター (ILAC) (ILAC 東京・大阪含む) の運営 (R4 年度 : 相談者 2,201 人、移住者 653 人) ← (R3 年度 : 相談者 2,124 人、移住者 497 人 [相談者+77 人、移住者+156 人])

○「ふるさと福井移住定住促進機構」の設置【福井県】

- ・生活面の相談についての総合窓口として定着まで支援
- ・個々の移住希望者に応じた仕事探しの支援
- ・農林水産業、伝統工芸、民間等の関係機関と連携し、移住情報の発信、相談対応
- ・新ふくい人 (UI ターン者数) (R4 年度 : 1,229 人) ← (R3 年度 : 1,018 人 [+211 人])

○生産性革命「深化の年」に向けて(i-Construction の推進)、ICT土工の地方自治体への普及促進【北陸地方整備局】

- ・令和 4 年度 i-construction 推進本部会議の開催 (R4.5 月)
- ・令和 4 年度 ICT 活用工事成績優秀企業の認定 (R4.7 月)
- ・令和 4 年度 ICT 砂防体験講習会 (R4.9 月・R4.10 月)
- ・令和 4 年度 ICT 活用講習会 (実践者クラス) (R4.11 月)
- ・令和 4 年度 ICT 活用講習会 (入門者クラス) (R4.12 月)
- ・令和 4 年度 ICT 活用工事報告会 (R5.3 月)
- ・令和 4 年度北陸 ICT 戦略推進委員会

(3) 個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成に向けた取組み

① 職住に便利な公共交通を核とした地域づくりの推進

[継続的な取組み]

○パーク・アンド・ライドの推進【金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム実施協議会】

- ・パーク・アンド・バスライド (R4 年度 : 13 箇所) ← (R3 年度 : 14 箇所 [-1 箇所])
- ・パーク・アンド・レールライド (R4 年度 : 4 箇所) ← (R3 年度 : 4 箇所 [±0])
- 合計台数 (R4 年度 : 301 台) ← (R3 年度 : 341 台 [-40 台])
- 利用者数 (R4 年度 : 170 人) ← (R3 年度 : 169 人 [+1 人])

○主要都市の環状道路やバイパス等の整備

【北陸地方整備局】

- ・富山外郭環状道路 (豊田新屋立体、中島本郷立体)、高岡環状道路 (六家立体)、金沢外環状道路 (金沢東部環状道路、海側幹線 (今町~鞍月)) 等の整備促進

【富山県】

- ・高岡環状道路等の整備促進

【石川県】

- ・金沢外環状道路（海側幹線（Ⅳ期区間））等の整備促進

【福井県】

- ・福井港丸岡インター連絡道路等の整備促進

② 北陸新幹線開業を契機とした都市圏ネットワークの充実に向けた取組み

[新たな取組み]

○人中心の道路空間への再編【近畿地方整備局、敦賀市】

- ・国道8号福井県敦賀市曙町～白銀町の区間における歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の指定

[継続的な取組み]

○おでかけバス・おでかけ電車・おでかけ路面電車事業【富山市】

- ・65歳以上の市民が、市内各地から中心市街地へ出かける際の公共交通機関（バス、電車、路面電車）の運賃を100円とするもの。

申込者数（R4年度：21,043人）←（R3年度：21,308人 [-265人]）

バス延べ利用者数（R4年度：360,530人）←（R3年度：343,876人 [+16,654人]）

電車延べ利用者数（R4年度：63,388人）←（R3年度：57,022人 [+6,366人]）

路面電車延べ利用者数（R4年度：264,972人）←（R3年度：244,273人 [+23,654人]）

○賑わい交流館運営事業【富山市】

- ・映画館（ミニシアター）の運営に実績のある市内の民間事業者が新たな運営者となり、令和2年6月より施設を再開。市は施設の維持管理費等を支援

- ・市補助金：（R4：11,344千円（施設維持管理分：7,344千円、文化振興分：4,000千円））←（R3：13,344千円（施設維持管理分：7,344千円、文化振興分：6,000千円）[文化振興分-2,000千円]）

- ・利用者数：

シネマホール（R4：14,074人）←（R3：15,324人 [-1,250人]）

ライブホール（R4：2,924人）←（R3：1,556人 [+1,368人]）

○新規出店サポート事業【富山市】

- ・商店街の空き店舗への出店者が行う店舗の改装、店舗の賃借、経営相談又は中心商店街の商店街団体が行う店舗誘致活動に対して支援

- ・店舗改装費（R4年度：4件（12,016千円））←（R3年度：3件（6,993千円）[+1件（+5,023千円）]）

店舗賃借料（R4年度：9件（2,793千円））←（R3年度：5件（1,677千円）[+4件（+1,116千円）]）

経営相談（R4年度：0件（0円））←（R3年度：3件（34千円）[-3件（-34千円）]）

店舗誘致（R4年度：0件（0円））←（R3年度：0件（0円）[±0]）

○水辺空間賑わい創出事業【学習支援船運営委員会（富山県、富山市）】

- ・中心市街地の貴重な水辺空間である富岩運河環水公園や富岩運河を活用して富岩水上ライ

ンを運航することにより、まちなかの魅力を向上させ賑わいの創出を図る。

- ・利用者数 (R4 年度 : 53,437 人) ← (R3 年度 : 23,785 人 [+29,652 人])
- グランドプラザ運営事業【富山市】
 - ・グランドプラザ運営事業 : まちなかの賑わい広場「グランドプラザ」の管理運営を行う
 - ・稼働率 (R4 年度 : 全日 58.6% (平日 42.7%、休日 91.6%)) ← (R3 年度 : 全日 52.7% (平日 38.8%、休日 80.9%)) [全日+5.9pt (平日+3.9pt、休日+10.7pt)]
- エコリンク事業【(株) 富山市民プラザ】
 - ・エコリンク事業 : 樹脂製のスケートリンクを設置し、あわせて、関連イベントや商店街と連携したイベントを実施することにより、冬期間の来街者の増加と回遊性の向上を図る。
 - ・12月10日～翌年1月9日の31日間実施
来場人数 (R4 年度 : 10,606 人) ← (R3 年度 : 9,880 人 [+726 人])
※R3 年度の日程は 12 月 11 日～翌年 1 月 10 日の 31 日間
- 地場もん屋運営【富山市】
 - ・年間来店者数 (R4 年度 : 307,157 人) ← (R3 年度 : 287,678 人 [+19,479 人])
- 中心市街地の回遊性の向上を目的に運行するコミュニティバスの運行支援【(株) 富山市民プラザ】
 - ・コミュニティバス利用者数 (R4 年度 : 108,092 人) ← (R3 年度 : 101,412 人 [+6,680 人])
- まちなか居住推進事業【富山市】
 - ・質の高い住宅建設や良質な住宅取得に対して支援
 - ・住宅取得者 (R4 年度 : 戸建て 12 戸、分譲マンション 38 戸)
← (R3 年度 : 戸建て 16 戸、分譲マンション 14 戸 [戸建て-4 戸、分譲マンション+24 戸])
 - 家賃助成 (R4 年度 : 367 件) ← (R3 年度 : 357 件 [+10 件])
 - リフォーム (R4 年度 : 3 戸) ← (R3 年度 : 4 戸 [-1 戸])
 - マルチハビテーション (R4 年度 : 2 戸) ← (R3 年度 : 0 戸 [+2 戸])
 - 共同住宅建設費補助 (R4 年度 : 0 戸) ← (R3 年度 : 0 戸 [±0])
- 中心市街地活性化計画の策定【福井市、越前市、大野市、敦賀】
 - ・「福井まちなか地区都市再生整備計画」の期間を令和 5 年度まで延長
- 北陸新幹線駅前の整備計画【富山市】
 - ・駅前広場等の整備
- 福井城址周辺整備事業【福井市】
 - ・市道中央 1-361 号線 (道路舗装) 72m
- 北陸新幹線福井駅 (東口) 拡張施設整備事業【福井市】
 - ・北陸新幹線福井駅 (東口) 拡張施設建築工事完成
 - ・恐竜モニュメント設置完了
 - ・指定管理者決定
- 富山駅付近連続立体交差事業【富山県】
 - ・富山地方鉄道本線の運行を仮線に切換
- 福井市中心市街地にぎわい創出事業【福井県、福井市、(株)まちづくり福井】
 - ・テーマ別に中心市街地商店街を回遊するにぎわい創出イベントを実施 (R4: 年 4 回 計 4,700

- 人來場) ← (R3 : 年 4 回 計 3,500 人來場 [+1,200 人])
- ・ 中心市街地商店街の店舗の魅力を伝える商店街ツアーを実施 (R4 : 計 12 回) ← (R3 : 計 10 回 [+2 回])
- ・ インスタグラマーやTikTokerによる情報配信を強化
- 商店街等空き店舗対策支援事業【福井県】
- ・ 中小企業者等が商店街や商業施設の空き店舗に出店するための店舗改装・設備導入を支援 (R4 : 5 件) ← (R3 : 8 件 [-3 件])

(4) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 道路の老朽化対策の実施
 - < 富山県道路メンテナンス会議 > 【北陸地方整備局】
 - ・ 第 1 回富山県道路メンテナンス会議 (本会議) (R4 年 7 月 28 日)
 - ・ 第 2 回富山県道路メンテナンス会議 (本会議) (R5 年 2 月 13 日)
 - < 石川県道路メンテナンス会議 > 【北陸地方整備局】
 - ・ 第 1 回石川県道路メンテナンス会議 (R4 年 8 月 3 日)
 - < 福井県道路メンテナンス会議 > 【近畿地方整備局】
 - ・ 第 1 回福井県道路メンテナンス会議 (R4 年 8 月 3 日)
- 港湾施設の老朽化対策の実施【北陸地方整備局】
 - ・ 伏木富山港 (富山地区) の岸壁改良事業の推進
 - ・ 敦賀港 (鞠山北地区) の防波堤改良事業の推進

○石川未来プロジェクトの実施

石川未来プロジェクトは、大学コンソーシアム石川の地域連携事業の一環として、石川県内の学生らがチームを組み、2050年における「石川県の人口100万人。」という未来テーマに対して取り組む問題解決型プロジェクトである。

1～2週間に1度程度のミーティングや実践活動を行い、活動の成果は年度末に開催される「石川未来会議」にて未来テーマに対する答申を石川県を代表するオーソリティに提言する。

[令和4年度石川未来プロジェクト：メンバー募集]

令和4年度 石川未来プロジェクト事業

未来のためのプロジェクト！
「未来プロジェクトメンバー」募集

2単位取得も可能!!

ガクチカ!

他大学との交流も！
成長のチャンス!

いまこそ

未来について考える

石川未来プロジェクト事業とは?

将来、あなたが暮らす社会がどのようになっているかを考える時、少しネガティブな印象がありませんか？社会は、その時の経済、環境、文化等にただ流されるものではなく、私達が作り上げていくものです。
今こそ、あなたが活躍する次世代と、あなたの子供が活躍する次々世代のあるべき姿を作る種をまきましょう！それを各界のオーソリティに問うてみましょう！
SDGsにのっとり、学校、学年、分野を超えて、肩ひじ張らずに Let's try !!

出典：令和4年度石川未来プロジェクト募集要項, 公益社団法人大学コンソーシアム石川

■取組み事例 人中心の道路空間への再編【近畿地方整備局、敦賀市】

継続的な取組み

○国道 41 号 大沢野富山南道路事業の推進

大沢野富山南道路は、高規格道路「富山高山連絡道路」の一部として、一般国道 41 号の交通渋滞の緩和、医療品製造業等の地域の産業を支える物流の信頼性向上を目的とした、富山市楡原から同市栗山に至る延長約 12.0k m の道路事業である。

令和 4 年度は、用地買収、改良工事及び橋梁下部工事を推進することで、事業の着実な進捗を図っている。



○国道 470 号 輪島道路事業の推進

「能越自動車道」輪島道路は、災害時の緊急輸送路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市三井町本江から同町洲衛に至る延長約 4.7k m の道路事業です。

令和 4 年度は、本江地区から洲衛地区の改良工事及び舗装工事を推進することで、事業の着実な進捗を図っている。



出典：北陸地方整備局資料

○国道8号福井県敦賀市曙町～白銀町の区間における歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の指定
国土交通省では、道路法の一部を改正する法律（R2年5月27日公布、11月25日施行）により、賑わいのある道路空間創出のための道路の指定制度として、歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度を創設した。

近畿地方整備局では、管内の直轄国道で初めて国道8号福井県敦賀市曙町～白銀町の区間（L＝845m）において、ほこみちを指定した。ほこみちに指定された道路では、賑わい創出、地域活性化に資する、道路の魅力的な活用を推進していく。

ほこみち制度の特徴

- ・道路管理者が指定した場合、歩行者の利便増進を目的として、歩道等の通行区間とは別に、歩行者の滞留・賑わいを創出するための空間を定めることができる。
- ・ベンチ等の施設を誘導するために指定した特例区域では、無余地性の基準を緩和し、占用がより柔軟に認められる。

歩行者の利便増進を図る空間

特例区域



活用イメージ

- ・道路管理者：近畿地方整備局
- ・路線名：一般国道8号
- ・場所：福井県敦賀市曙町8番5から
同市白銀町11番23まで
- ・指定日：令和4年4月1日

出典：国道8号福井県敦賀市曙町～白銀町の区間における歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の指定について（記者発表資料），福井河川国道事務所，敦賀市

■取組み事例 道路の老朽化対策の実施【北陸地方整備局、近畿地方整備局】

継続的な取組み

○道路メンテナンス会議の開催

道路施設の点検や補修・更新等を効率的・効果的に行うため、各県で全ての道路管理者からなる「道路メンテナンス会議」を設立し、確実にメンテナンスサイクルを回すための各種取組みを実施している。

市町村が抱える『三つの課題』
・**人不足** ・**技術力不足** ・**予算不足**
点検が進まない
点検結果の妥当性が確認できない
適切な修繕が実施できない

課題解決のために…

道路メンテナンス会議



- ・すべての道路管理者が参加
- ・情報の共有、連携、支援方策を検討

○令和4年度道路メンテナンス会議の開催状況

- <富山県> ➤第1回富山県道路メンテナンス会議 (R4年7月28日)
- 第2回富山県道路メンテナンス会議 (R5年2月13日)
- <石川県> ➤第1回石川県道路メンテナンス会議 (R4年8月3日)
- <福井県> ➤第1回福井県道路メンテナンス会議 (R4年8月3日)

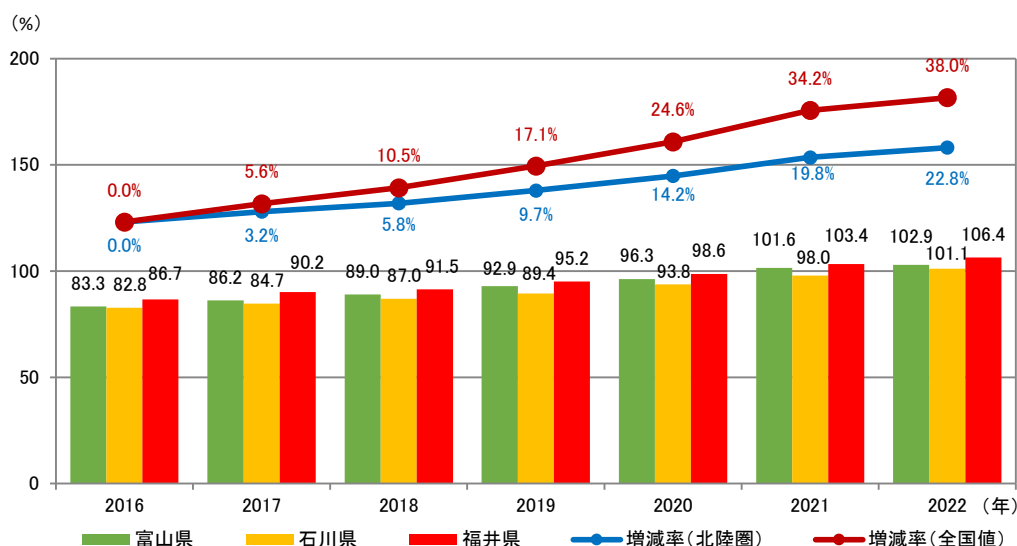
出典：富山県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 (https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/road2014/road10/menntekaigi_toyama.htm)
石川県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 (https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi_ishikawa.htm)
福井県道路メンテナンス会議, 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 (<https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/douro/kaigi/mainte.html>)

(5) 進捗状況

1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

■モニタリング指標：①人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合

北陸圏の人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合は、年々増加傾向であり、2022年（令和4年）には3県とも100%を超えている。また、北陸圏の2022年（令和4年）における割合は103.2%となっており、全国平均の71.1%に対して大幅に高い水準である。



※増減率は対2016年（平成28年）比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
富山県	0~4歳人口(人)	38,562	37,827	36,966	36,046	34,812	33,022	32,453
	保育所定員(人)	32,125	32,622	32,908	33,491	33,513	33,537	33,386
	0~4歳人口当たりの保育所定員数の割合(%)	83.3%	86.2%	89.0%	92.9%	96.3%	101.6%	102.9%
石川県	0~4歳人口(人)	46,271	45,554	44,494	43,142	41,694	39,712	38,367
	保育所定員(人)	38,293	38,606	38,690	38,587	39,094	38,915	38,806
	0~4歳人口当たりの保育所定員数の割合(%)	82.8%	84.7%	87.0%	89.4%	93.8%	98.0%	101.1%
福井県	0~4歳人口(人)	31,848	31,056	30,484	29,603	28,663	27,415	26,712
	保育所定員(人)	27,611	28,000	27,879	28,174	28,263	28,349	28,427
	0~4歳人口当たりの保育所定員数の割合(%)	86.7%	90.2%	91.5%	95.2%	98.6%	103.4%	106.4%
北陸圏	0~4歳人口(人)	116,681	114,437	111,944	108,791	105,169	100,149	97,532
	保育所定員(人)	98,029	99,228	99,477	100,252	100,870	100,801	100,619
	0~4歳人口当たりの保育所定員数の割合(%)	84.0%	86.7%	88.9%	92.2%	95.9%	100.7%	103.2%
全国	0~4歳人口(人)	5,111,730	5,024,936	4,917,358	4,783,530	4,621,309	4,362,939	4,279,321
	保育所定員(人)	2,634,510	2,735,238	2,800,579	2,888,159	2,967,328	3,016,918	3,044,399
	0~4歳人口当たりの保育所定員数の割合(%)	51.5%	54.4%	57.0%	60.4%	64.2%	69.1%	71.1%

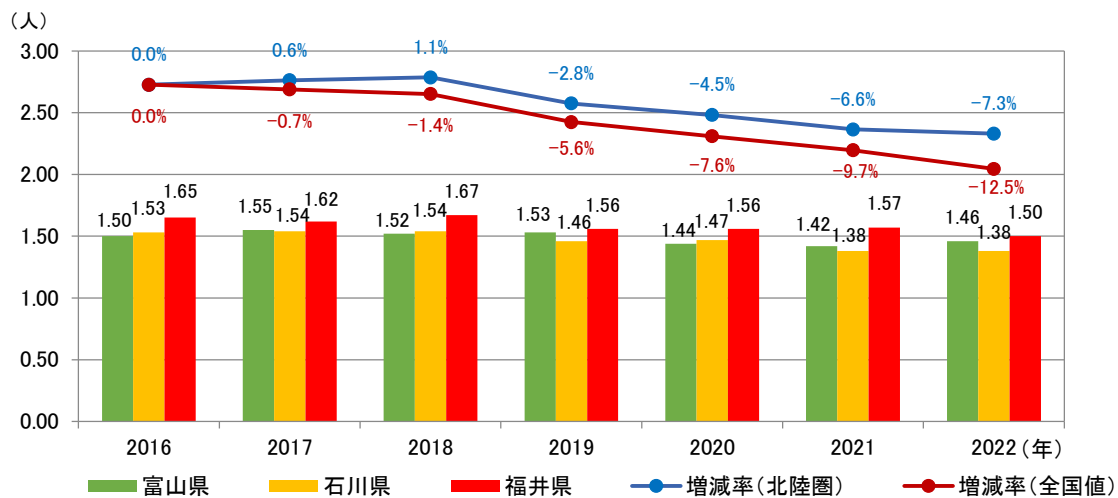
出典：厚生労働省「社会福祉施設等調査」総務省「住民基本台帳」

図 33 北陸圏 人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合の推移

(2023年12月末時点の公表データ)

■モニタリング指標：②合計特殊出生率

北陸圏の2022年(令和4年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると7.3%減少しており、全国と同様に減少傾向にある。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

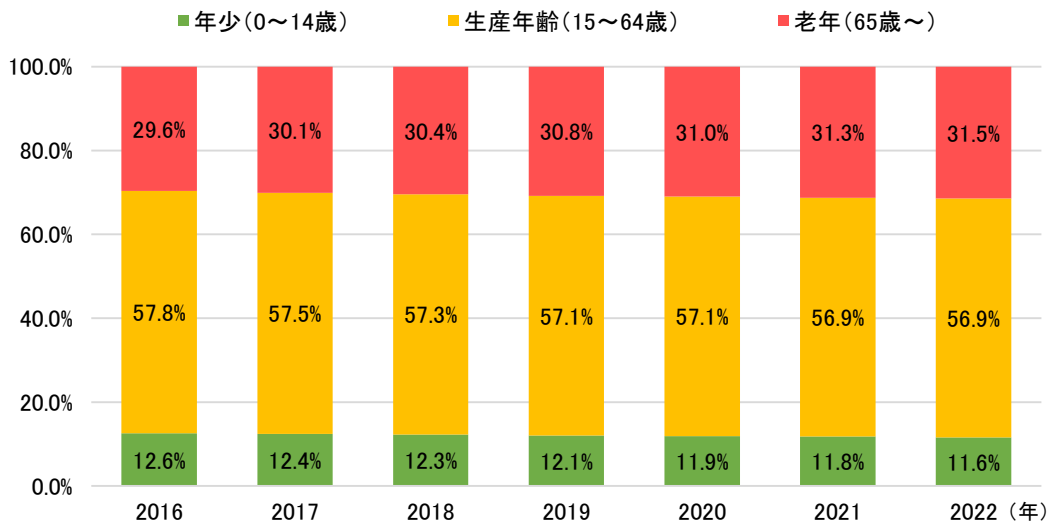
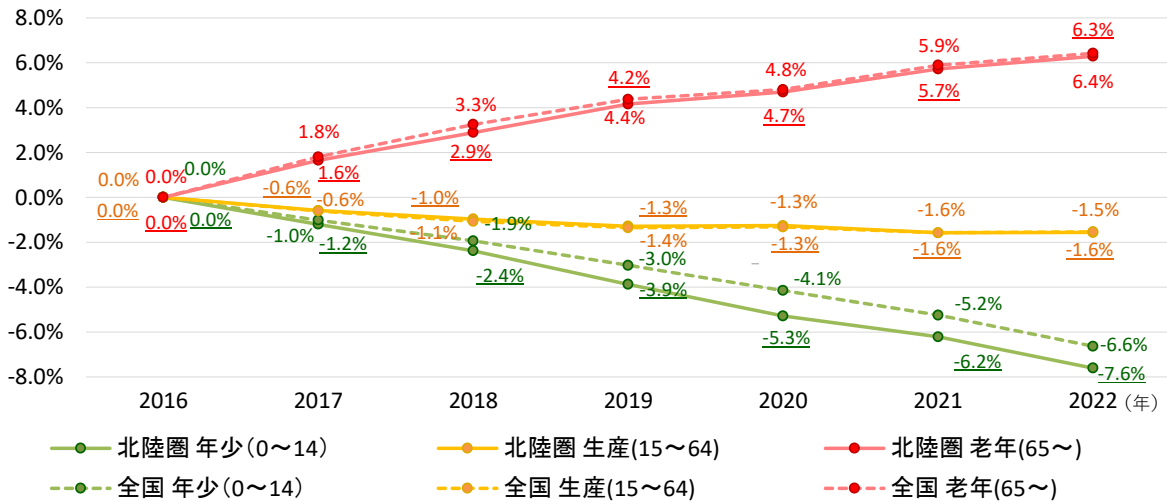
図 34 北陸圏 合計特殊出生率の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

■モニタリング指標：年代別人口の増減率（2016年(平成28年)比）

北陸3県において、老年人口は全国と同様に年々増加傾向となっている。一方、年少人口は年々減少してきており、少子高齢化社会の進行が顕著となっている。



出典：総務省「人口推計」 総人口(各年10月1日現在)

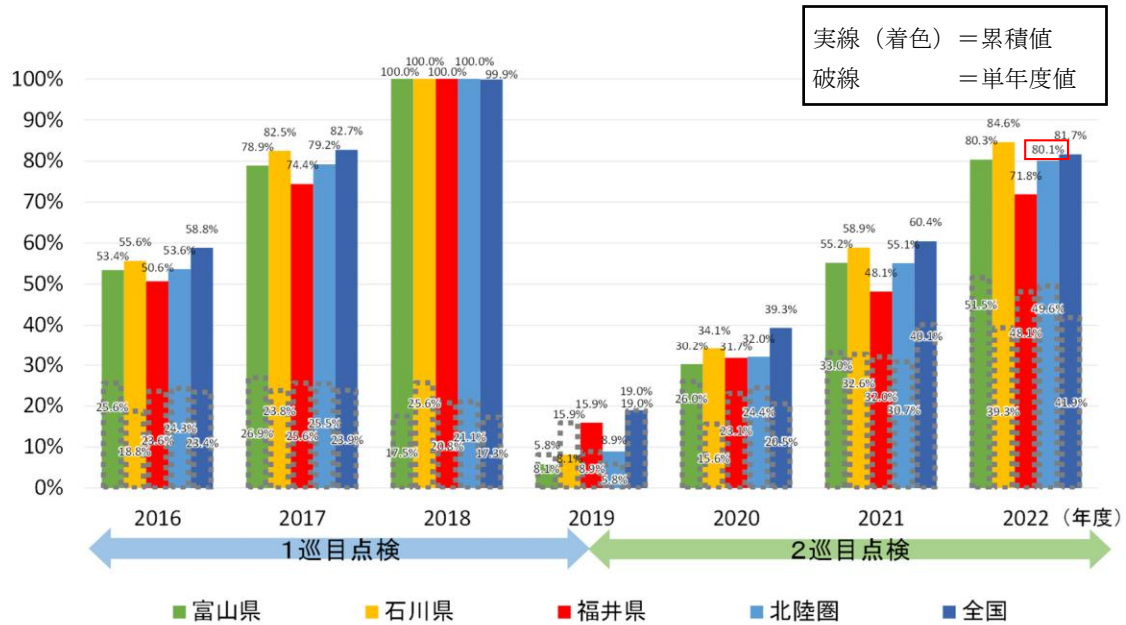
図 35 北陸圏における世代構成比(下)と世代構成比増減(上)の推移

(2023年12月時点の公表データ)

3) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

■モニタリング指標：橋梁の点検実施率

2014年度(平成26年度)から2018年度(平成30年度)までに1巡目点検が完了し、2019年度(令和元年度)から2巡目点検に着手している。北陸3県では、国が管理する点検対象の全橋梁数に対して、2022年度(令和4年度)に80.1%の橋梁で点検が実施されている。



出典：国土交通省「道路メンテナンス年報」

図 36 橋梁の点検実施率の推移 (国が管理する橋梁)

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

本プロジェクトは、農山漁村で安心して暮らせる環境づくりを進めるため、農林漁業が健全に育まれることを基本とし、福祉サービス充実等、集落機能の再生・維持・強化、里地里山や里海の保全と林業の成長産業化、野生鳥獣の被害防止対策の強化による農山漁村の活性化を推進する。また、都市と農山漁村との交流拡大や未利用資源の利活用、農林水産業への新規就業を促進し、農山漁村地域の経済の活性化を図ることを目的としている。

(1) 農山漁村の活性化

① 福祉サービス充実等集落機能の再生・維持・強化

[継続的な取組み]

○「道の駅」の取組みの推進【北陸地方整備局】

- ・道の駅「KOKOくろべ」オープン（R4.4.22）

○農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援（日本型直接支払）【北陸農政局】

- ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進

【富山県】取組み組織数（R4年度：1,033組織）←（R3年度：997組織 [+36組織]）

取組み面積（R4年度：41,916ha）←（R3年度：40,531ha [+1,385ha]）

【石川県】取組み組織数（R4年度：579組織）←（R3年度：576組織 [+3組織]）

取組み面積（R4年度：26,010ha）←（R3年度：25,625ha [+385ha]）

【福井県】取組み組織数（R4年度：344組織）←（R3年度：371組織 [-27組織]）

取組み面積（R4年度：31,673ha）←（R3年度：31,594ha [+79ha]）

- ・中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等の農業生産条件の不利を補正することにより、農業生産活動を将来に向けて維持する活動を支援

【富山県】市町村数（R4年度：13市町村）←（R3年度：13市町村 [±0市町村]）

協定数（R4年度：318協定）←（R3年度：315協定 [+3協定]）

交付面積（R4年度：4,905ha）←（R3年度：交付面積4,870ha [+35ha]）

【石川県】市町村数（R4年度：16市町）←（R3年度：16市町 [±0市町]）

協定数（R4年度：442協定）←（R3年度：437協定 [+5協定]）

交付面積（R4年度：5,169ha）←（R3年度：交付面積4,946ha [+223ha]）

【福井県】市町村数（R4年度：17市町）←（R3年度：17市町 [±0市町]）

協定数（R4年度：267協定）←（R3年度：267協定 [±0協定]）

交付面積（R4年度：2,410ha）←（R3年度：交付面積2,410ha [±0ha]）

- ・環境保全型農業直接支払交付金による支援

化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援

【富山県】実施件数（R4年度：57件）←（R3年度：56件 [+1件]）

実施面積（R4年度：629ha）←（R3年度：647ha [-18ha]）

- 【石川県】 実施件数 (R4 年度 : 74 件) ← (R3 年度 : 77 件 [-3 件])
 実施面積 (R4 年度 : 1,285ha) ← (R3 年度 : 1,239ha [+46ha])
- 【福井県】 実施件数 (R4 年度 : 61 件) ← (R3 年度 : 60 件 [+1 件])
 実施面積 (R4 年度 : 2,156ha) ← (R3 年度 : 2,065ha [+91ha])
- 【合計】 実施件数 (R4 年度 : 192 件) ← (R3 年度 : 193 件 [-1 件])
 実施面積 (R4 年度 : 4,070ha) ← (R3 年度 : 3,951ha [+119ha])

○管理用光ファイバー開放【近畿地方整備局】

- ・過年度より継続して利用者を募集
 近畿地方整備局では福井県内に、河川、道路合わせて約 351 k m の光ケーブルが敷設されており、そのうち、国道 8 号に 3.8 k m、国道 27 号に 98.0 k m を民間開放区間としているが、現在、貸出申請がなされている状況である。
 (光ケーブル敷設距離)
- ・福井河川国事務所 : 河川 = 93.3km (R3 年度 : 89.1km [+4.2km])、道路 = 211.9km (R3 年度 : 212.0km [-0.1km])
- ・九頭竜川ダム統合管理事務所 : 45.34km (R3 年度 : 45.34km [±0km])

○ふくい空き家情報バンクの充実【福井県】

- ・ふくい空き家情報バンクで新ふくい人等に空き家情報を提供
 (R4 年度新規登録 : 389 戸) ← (R3 年度新規登録 : 275 人 [+114 戸])

② 里地里山や里海の保全と林業の成長産業化

[継続的な取組み]

○「ふるさと学びの森」の全県展開【福井県】

- ・ふるさと学びの森設置・登録団体の活動
 福井県設置 (R4 年度 : 0 箇所) ← (R3 年度 : 1 箇所 [-0 箇所])
 イベント企画数 (R4 年度 : 0 回) ← (R3 年度 : 2 回 [-2 回])
 登録団体 (R4 年度 : 36 箇所) ← (R3 年度 : 35 箇所 [+1 箇所])
 イベント実施回数 (R4 年度 : 326 回) ← (R3 年度 : 345 回 [-19 回])

○元気な里山里海づくり【石川県】

- ・いしかわ里山振興ファンドによる生業の創出等の民間の取組みに対する支援
 基金総額 : 180 億円
 期間 : 5 年間 (R4.4.1~R9.3.31)
 取組み対象 : 地域資源を活用した新商品開発、チャレンジ精神旺盛な生業の担い手支援、里山里海に人を呼び込むスローツーリズムの推進 等
 ファンド採択件数 (R4 年度 : 40 件) ← (R3 年度 : 35 件 [+5 件])

○いしかわ農村ボランティア【石川県】

- ・過疎化や高齢化で人手不足となっている集落に、都市住民のボランティア(「農村役立ち隊」)を派遣 (H22 年度~)

受入地区数 (R4 年度 : 17 地区) ← (R3 年度 : 11 地区 [+6 地区])

活動回数 (R4 年度 : 28 回) ← (R3 年度 : 13 回 [+15 回])

年間延べ参加者数 (R4 年度 : 381 人) ← (R3 年度 : 186 人 [+195 人])

○中山間営農継続支援事業【福井県】

- ・各市町に地域の現状把握や相談の窓口（サポートセンター）を設置し、地域マネージャーが作業受委託の相談や支援・指導活動を実施
- ・アグリサポーターとして登録された農家が小区画農地の農作業を受託し、耕作放棄地の発生を未然に防止。アグリサポーターが受託作業を行う際のかかりまし経費を県が助成
- ・山奥などアグリサポーターや担い手のいない地域においても、JA 等による広域的に作業を受託する体制を整備し、耕作放棄地の発生を未然に防止
- ・サポートセンター設置により支援した集落数

(R3 年度 : 17 市町、4,562 人) ← (R3 年度 : 17 市町、4,770 人 [-208 人])

- ・農作業等の支援面積 (R4 年度 : 延べ 1,225ha) ← (R3 年度 : 延べ 1,253ha [-28ha])
- ・広域作業受託体制 (R4 年度 : 8 地域) ← (R3 年度 : 8 地域 [±0])

○富山県森づくり条例を制定し、条例に基づき「水と緑の森づくり税」を導入し、「富山県森づくりプラン」を基本としてとやまの森づくりを推進【富山県】

<富山県森づくりプランの主な実績>

- ・水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進
- ・里山林の整備 (R4 年度 : 187ha) ← (R3 年度 : 170ha [+17ha])
- ・混交林の整備 (R4 年度 : 30ha) ← (R3 年度 : 64ha [-34ha])
- ・とやまの森を支える人づくりなどの推進
- ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

(R4 年度 : 10,498 人) ← (R3 年度 : 10,142 人 [+356 人])

○とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業【富山県】

<とやまの森づくりサポートセンターの活動実績>

- ・登録ボランティア団体に対する森づくり活動支援
(R4 年度 : 141 団体、58 企業) ← (R3 年度 : 144 団体、56 企業 [-3 団体、+2 企業])
- ・技術講習（森づくり塾）の開催
(R4 年度 : 28 回開催、255 人受講) ← (R3 年度 : 30 回開催、231 人受講 [-2 回、+24 人])
- ・体験ボランティアやネットワーク化の支援
(R4 年度 : 4 回、205 人参加) ← (R3 年度 : 2 回、126 人参加 [+2 回、+79 人])
- ・機器の貸出 (R4 年度 : 6,787 個) ← (R3 年度 : 6,359 個 [+428 個]) など

○いしかわ森林環境税の活用による森林整備や、森林に対する理解の増進及び県民参加の森づくりの推進【石川県】

<いしかわ森林環境税を活用した事業>

- ・放置竹林の除去 (R4 年度 : 約 100ha) ← (R3 年度 : 約 180ha [-80ha])
- ・緩衝帯の整備 (R4 年度 : 約 72ha) ← (R3 年度 : 約 65ha [+7ha])
- ・県民参加の森づくり参加者数

(R3 年度 : 延べ 9,682 人) ← (R3 年度 : 延べ 8,386 人 [+1,296 人])

○地籍調査【福井市】

- ・調査対象面積：525.26k m²
- ・完了面積（R4年度：122.68k m²）←（R3年度：122.31k m² [+0.37k m²]
- ・進捗率（R4年度：23.4%）←（R3年度：23.3% [+0.1pt]

③ 野生鳥獣の被害防止対策の強化

[継続的な取組み]

○鳥獣被害防止措置法及び関連対策等を通じ、被害防止に向けた取組みへの指導、助言

【北陸農政局】

- ・鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画作成及び鳥獣被害対策実施隊設置市町村数
- ・被害防止計画作成

（R4年度：51市町村（富山県15市町村、石川県19市町、福井県17市町）

←（R3年度：51市町村（富山県15市町村、石川県19市町、福井県17市町）[±0市町村]

- ・鳥獣被害対策実施隊設置

（R4年度：50市町村（富山県14市町村、石川県19市町、福井県17市町）

←（R3年度：50市町村（富山県14市町村、石川県19市町、福井県17市町）[±0市町村]

【近畿中国森林管理局】

- ・国有林及び民有林において、自動撮影カメラによるニホンジカ生息調査を石川県白山自然保護センター、宝達志水町と共同で実施
- ・敦賀市との協定に基づき罟を貸出し、市内国有林において連携して捕獲を実施
ニホンジカ捕獲頭数（R4年度：57頭）←（R3年度：40頭 [+17頭]）、
イノシシ捕獲棟数（R4年度：5頭）

【富山県】

- ・指定管理鳥獣捕獲等事業によるイノシシ、ニホンジカの生息密度の減少を、鳥獣害防止特措法に基づく被害防止計画作成市町と連携して実施

(2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

① 都市と農山漁村との交流拡大

[継続的な取組み]

○グリーンツーリズムの推進【富山県】

- ・「とやま帰農塾」

（R4年度：県内7市町で開催（9講座、64人参加）←

（R3年度：県内4市町で開催（6講座、41人参加）[+3市町、+3講座、+23人]

- ・子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業モデル地域の受け入れ
- ・震災被災地からの子ども受け入れ：新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

○都市農村共生・対流及び地域活性化対策【北陸農政局】

- ・農山漁村振興交付金(地域活性化対策)により支援
- ・富山県（R4年度：1団体）←（R3年度：1団体 [±0団体]
- 石川県（R4年度：0団体）←（R3年度：0団体 [±0団体]

福井県（R4年度：0団体）←（R3年度：1団体 [-1団体]）

○農泊推進対策【北陸農政局】

- ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）により支援
- ・富山県（R4年度：2団体）←（R3年度：5団体 [-3団体]）
- 石川県（R4年度：3団体）←（R3年度：7団体 [-4団体]）
- 福井県（R4年度：1団体）←（R3年度：3団体 [-2団体]）

○中部縦貫自動車道の整備促進

【近畿地方整備局】

- ・大野油坂道路の整備を推進

【中部地方整備局】

- ・高山清見道路の整備を推進

○農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）【北陸農政局】

- ・農山漁村活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律に基づき県及び市町村で策定された活性化計画の施設整備等に対して支援
- ・富山県（R4年度：0地区）←（R3年度：1地区 [-1地区]）
- 石川県（R4年度：1地区）←（R3年度：2地区 [-1地区]）
- 福井県（R4年度：2地区）←（R3年度：2地区 [±0地区]）

② 農林水産業への新規就業の促進

[継続的な取組み]

○LED等を利用した屋内の大規模園芸設備等による企業の園芸を支援（植物工場立地促進事業）【福井県】

- ・植物工場立地促進事業：農業参入を検討している企業の誘致にむけた取組を実施
 - 展示会への出展（R4年度：1回）←（R3年度：1回 [±0回]）
 - 企業等訪問（R4年度：4件）←（R3年度：0件 [+4件]）
- ・本事業への応募計画の審査・認定

■取組み事例 「道の駅」の取組みの推進【北陸地方整備局】

継続的な取組み

○道の駅「KOKOくろべ」オープン

道の駅KOKOくろべ（オープン日：R4年4月22日）は、市内で最も交通量の多い国道8号に面する交通の利便性に優れた場所において、道路利用者に癒しと快適な休憩の場を提供するとともに、地元生産物等の販売や地元の素材を活かした飲食等の提供を通じて、地産地消の促進と地域ブランドの確立を図り、地域振興に貢献する拠点を目指し整備されている。また、隣接する「黒部市総合公園」の防災機能と連携し、一時避難場所や避難支援活動の拠点としての役割も担っている。

〈道の駅「KOKOくろべ」の概要〉

◆路線名：一般国道8号

◆所在地：富山県黒部市堀切925番地1

◆面積および施設等

・面積：21,891㎡

・施設：駐車場224台、トイレ45器、情報提供・休憩施設、観光案内所、ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、貯水槽、公衆電話、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、キッズスペース、園地、EV充電施設

・整備手法：一体型

◆特徴

・北アルプス、黒部川扇状地の「名水」が育む豊かな農産物や、「神秘の海」富山湾で獲れる海産物とこれを活用した「新たな特産品」を生み出す6次産業化の拠点

・コミュニティバス等の運行により回遊性の向上を図り、散在する市街地の一本化を担う交流拠点

・隣接する黒部市総合公園の防災機能と連携し、一時避難場所や避難支援活動の拠点



出典：道の駅「KOKOくろべ」4月22日オープン（記者発表資料），富山河川国道事務所，黒部市

■取組み事例 グリーンツーリズムの推進【富山県】

継続的な取組み

○「とやま帰農塾」の開催

「とやま帰農塾」は、富山県の農山漁村で地元の方と一緒に過ごす田舎暮らし体験プログラムで、植え付けや収穫、草取りなど、その時季の地元特産物の農作業のほか、地元の方と一緒にとれたての農産物で地元の料理を作って食べるなどの体験を実施している。

➤R4年度：県内7市町で開催（9講座、64人参加）

（R3年度：県内4市町で開催（6講座、41人参加） [+3市町、+3講座、+23人]）



出典：グリーンツーリズムとやまホームページ とやま帰農塾, NPO 法人グリーンツーリズムとやま
(<http://gt-toyama.net/>)

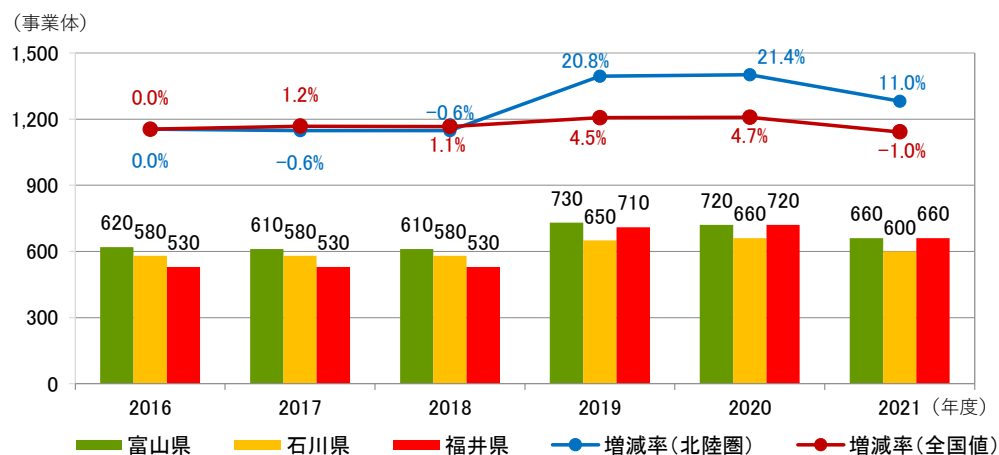
ふるさと夢とやま.N043, 富山県

(3) 進捗状況

1) 農山漁村の活性化に向けた取組み

■モニタリング指標：農業生産関連事業の事業体数

北陸圏の2021年度(令和3年度)における農業生産関連事業の事業体数は、2016年度(平成28年度)と比較すると11.0%増加している一方で、全国値は1.0%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「6次産業化総合調査」

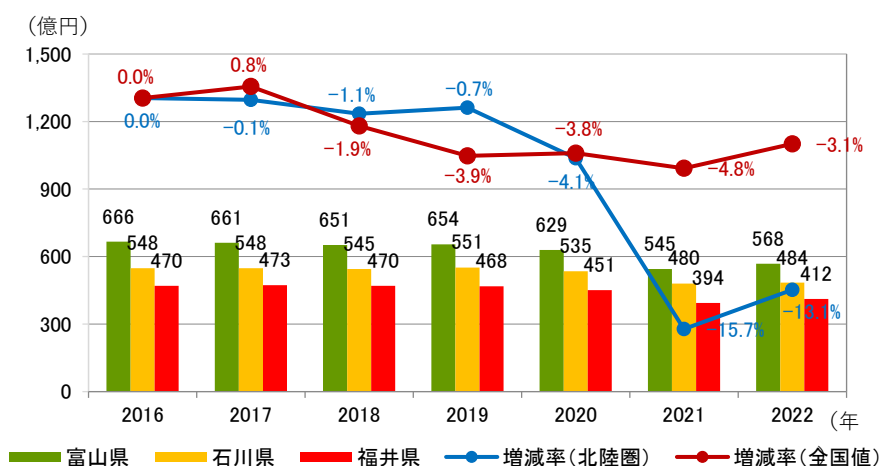
図 37 農業生産関連事業の事業体数

(2023年12月時点の公表データ)

2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

■モニタリング指標：農業産出額

北陸圏の2022年(令和4年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較して13.1%減少しており、全国値(3.1%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 38 農業産出額

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏が抱える厳しい自然条件や地球温暖化にともなう気候変動、異常気象の増加等の災害要因に対する防災力を強化するため、降積雪・波浪・風水害・土砂災害・日本海沿岸域を震源とする地震・火山への対策に取り組むとともに、災害リスクの評価・共有を行う。また、これまでに培った防災経験や知恵、地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化に取り組むことを目的としている。

(1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

① 冬期の降積雪や風浪等への対策強化

[継続的な取組み]

- ボランティアサポートプログラム（歩道除雪）の推進【北陸地方整備局】
- 下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】
 - ・下新川海岸 越波・浸水対策の整備推進（神子沢地区 他）
- 災害時のAIによる異常検知の導入【近畿地方整備局】
 - ・AI 交通障害自動検知システムによる交通障害把握の推進

② 風水害・土砂災害等への対策強化

[新たな取組み]

- 災害時の交通マネジメントの実施【近畿地方整備局】
 - ・R4年8月4日から発生した豪雨災害により、福井県敦賀市～南越前町間では北陸自動車道、国道8号、国道365号等の主要な道路で通行止めが発生
 - ・各道路が段階的に通行止め解除された際、一部の道路への交通集中で大幅な渋滞の発生が予測されたため、渋滞状況や迂回状況等について各道路管理者や警察等が情報を共有し、周辺地区における円滑な人流・物流を確保するために交通マネジメントを実施

[継続的な取組み]

- 黒部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
 - ・黒部川で急流河川対策の推進
 - ・黒部川ダム排砂評価委員会の開催（R5.1月、R5.3月）
 - ・黒部川土砂管理協議会の開催（R4.5月、R5.2月）
- 常願寺川、神通川、庄川、小矢部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
 - ・常願寺川、神通川、庄川で急流河川対策の推進
 - ・神通川で堤防整備の推進
 - ・小矢部川で堤防強化対策の推進
- 手取川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
 - ・手取川で急流河川対策の推進
 - ・手取川で西川・熊田合流点処理の推進
- 九頭竜川改修事業の推進【近畿地方整備局、福井県】
 - ・九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会を開催（R4.6月）
 - ・九頭竜川・北川洪水予報連絡会を開催（R4.6月）

- ・情報伝達演習（洪水対応演習）を実施（R4.5月）
- ・九頭竜川改修事業により、流下能力対策・浸透対策を継続実施
- 足羽川ダム【近畿地方整備局】
 - ・足羽川ダム建設事業の推進
- 大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催【北陸地方整備局】
 - ・常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催（R4.6月）
 - ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R4.5月）
- 流域治水プロジェクトに関する協議会等の開催【北陸地方整備局、近畿地方整備局】
 - ・常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会の開催（R5.3月）
 - ・手取川・梯川水系流域治水協議会の開催（R4.9月、R4.12月、R5.3月）
 - ・九頭竜川流域治水協議会の開催（R4.6月、R5.3月）
 - ・北川流域治水協議会の開催（R4.6月、R5.3月）
- 海岸における水害防止・軽減【北陸地方整備局】
 - ・下新川海岸の寄り回り波対応演習を実施（R4.11月）
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止と水防体制の事業継続を想定し、人員を2班に分けて、別々の会場にて演習を実施
- 常願寺川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
 - ・常願寺川水系直轄砂防事業（有峰地区溪岸対策等）の推進
- 手取川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
 - ・手取川水系直轄砂防事業（猿花上流砂防堰堤改築等）の推進
- 黒部河川事務所（黒部川）洪水対応演習【北陸地方整備局】
 - ・黒部川の出水を想定した洪水対応演習を実施（R4.4月）
- 富山河川国道事務所（常願寺川、神通川、庄川、小矢部川）洪水対応演習【北陸地方整備局】
 - ・常願寺川、神通川、庄川、小矢部川での出水を想定した洪水対応演習を実施（R4.4月）
- 金沢河川国道事務所（手取川、梯川）洪水対応演習【北陸地方整備局】
 - ・手取川、梯川の出水を想定した洪水対応演習を実施（R4.4月）
- 飛越地域森林・林業連絡会議【富山県、岐阜県】
 - ・令和4年度飛越地域森林・林業連絡会議をWeb開催（R4.12月）
- 富山県流木対策連絡会議【富山県、岐阜県】
 - ・富山県流木対策連絡会議を书面開催（R4.5月）

③ 日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化

[継続的な取組み]

- 伏木富山港（富山地区）耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
 - ・伏木富山港（富山地区）において、耐震強化岸壁の整備を推進

④ 災害リスクの評価・共有に基づく防災・減災対策の強化

[継続的な取り組み]

- 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定状況
 - 【富山県】 指定箇所数 (R4 年度 : 4, 886 箇所指定) ← (R3 年度 : 4, 884 箇所指定 [+2 箇所])
 - 【石川県】 指定箇所数 (R4 年度 : 4, 687 箇所指定) ← (R3 年度 : 4, 590 箇所指定 [+97 箇所])
 - 【福井県】 指定箇所数 (R4 年度 : 11, 749 箇所指定) ← (R3 年度 : 11, 749 箇所指定 [±0 箇所])
- 石川県土砂災害情報システム (SABO アイ) 【石川県】
 - ・土砂災害情報システム「SABO アイ」を継続運用
アクセス数 (R4 年度 : 140, 174 件) ← (R3 年度 : 139, 292 件 [+882 件])
- 土砂災害対策アクションプログラム 【石川県】
 - ・R2 より新たなアクションプログラム (5 本柱に 28 の対策項目) に基づく活動を引き続き継続
- 国際拠点港湾及び重要港湾における事業継続計画 【北陸地方整備局】
 - ・国際拠点港湾及び重要港湾における事業継続計画
- 北陸地域港湾の事業継続計画 【北陸地方整備局】
 - ・令和 4 年度広域港湾 BCP 訓練 (情報伝達訓練) の実施 (R4. 12 月)
 - ・北陸地域港湾の事業継続計画協議会の開催 (R5. 2 月)

(2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

[継続的な取り組み]

- 自主防災組織の充実等
 - 【富山県】
 - ・自主防災組織化研修 (R4 年度 : 2 地区(11 人)) ← (R3 年度 : 感染症拡大により中止)
 - ・自主防災組織リーダー研修会
(R4 年度 : 4 地区(132 人)) ← (R3 年度 : 2 地区(100 人)) [+2 地区 (+32 人)]
 - ・自主防災組織資機材整備事業補助金対象
(R4 年度 : 36 組織) ← (R3 年度 : 29 組織 [+7 組織])
 - 【富山市】
 - ・自主防災組織活動事業補助金 (一般資機材)
(R4 年度 : 23 組織) ← (R3 年度 : 23 組織 [±0 組織])
 - ・地域の防災リーダー研修会 (R4 年度 : 36 人) ← (R3 年度 : 32 人 [+4 人])
- 土砂災害対策アクションプログラムの推進 (地区の土砂災害に対する防災意識を高めるため、地区の防災意識向上プログラム、小学校出前講座の計画的な実施、地区・住民主導の避難訓練の実施などに取り組む) 【石川県】
 - ・地区の防災意識向上プログラム開催 (R4 年度 : 20 地区) ← (R3 年度 : 22 地区 [-2 地区])
 - ・小学校出前講座実施 (R4 年度 : 30 校) ← (R3 年度 : 26 校 [+4 校])
 - ・地区・住民主導の避難訓練の実施 (R4 年度 : 12 市町) ← (R3 年度 : 11 市町 [+1 市町])
- 福井市避難支援プラン (避難行動要支援者避難支援制度) の推進 【福井市】
 - ・個別避難計画の作成推進
個別避難計画作成者数 (R4 年度 : 162 人) ← (R3 年度 : 190 人 [-28 人])

○帰宅困難者支援協定

【富山県】協定締結事業者数（R4年度：14社）←（R3年度：14社 [±0社]）

【石川県】協定締結事業者数（R4年度：11社）←（R2年度：12社 [-1社]）

○災害ボランティアコーディネーター養成研修会の実施【石川県】

- ・災害ボランティアコーディネーターの養成

養成者数（累計）（R4年度：830人）←（R3年度：781人） [+49人]

○石川県災害対策ボランティア連絡会の開催【石川県県民ボランティアセンター】

開催数（R4年度：1回）←（R3年度：1回） [±0回]

○災害ボランティアバンク登録制度の実施【石川県】

登録数（累計）（R4年度：個人1,418人、団体91団体）←（R3年度：個人1,136人、団体83団体 [+282人、+8団体]）

○災害ボランティア体験入門講座の実施【石川県】

- ・開催数、参加者数（R4年度：21回、823人）←（R3年度：14回、360人 [+7回、+463人]）

■取組み事例 災害時の交通マネジメントの実施【近畿地方整備局】

新たな取組み

R4年8月4日から発生した豪雨災害により、福井県敦賀市～南越前町間では北陸自動車道、国道8号、国道365号等の主要な道路で通行止めが発生した。

各機関において、応急復旧工事を進めていたが、交通開放後において、交通集中による大規模な交通渋滞が発生する恐れがあることから、有識者、行政、高速道路会社及び交通事業者等で構成される「福井県災害時交通マネジメント検討会」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施するための議論を実施した。

＜災害時交通マネジメント検討会 結果概要＞

1. お盆期間の対策強化

- ・公共交通の利用への呼びかけの強化、
- ・ドライバーに対する広域迂回・混雑時間帯回避の呼びかけ
- ・お盆期間中のイベント来訪者に対する呼びかけ
- ・渋滞情報の収集・発信
- ・片側交互通行規制箇所における通行誘導の柔軟な運用
- ・渋滞時の利用者への配慮

2. 国道8号の片側交互通行規制の解消見込みと対策

[主な取組み例①] SNSを活用した広報



広域迂回の呼びかけ



交通状況マップの公表



休憩施設の混雑状況

[主な取組み例②] 渋滞対策



通行規制箇所 交通コントロール



災害時緊急バスの運行



代替路(無料)措置区間への誘導

出典：福井県災害時交通マネジメント検討会, 近畿地方整備局

(<https://www.kkr.mlit.go.jp/road/strategy/koutsuumanagement.html>)

○地域の防災リーダー研修会

富山市では、災害発生直後の防災リーダーの役割確認やスキルアップを目的に、地域の防災リーダー研修会を開催している。防災講座を通し、マイ・タイムラインを訓練参加者が自ら作成することで、防災への意識が高まり、防災リーダーとしての心構えを身に付けることができている。

▶R4年度：36人参加（R3年度：32人参加 [+4人]）

〈開催概要〉

- ・日時：R4年8月30日(火)18:30分～20:00
- ・場所：婦中ふれあい館
- ・研修内容：講座「マイ・タイムライン」で逃げ遅れゼロ



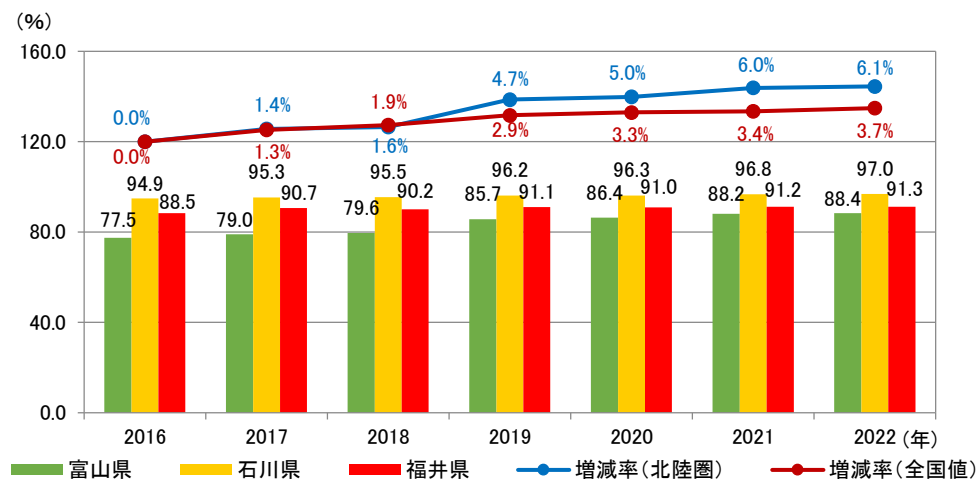
出典：富山市自主防災だより. 第11号（R5年4月3日発行），富山市

(3) 計画の進捗状況

1) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

■モニタリング指標：自主防災組織活動カバー率（%）

北陸圏の2022年(令和4年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると6.1%増加しており、全国値(3.7%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 39 自主防災組織活動カバー率の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山等の豊かな自然環境や豊富な水を育む水源涵養機能を保全していくため、山岳地域の自然環境の保全や流域圏全体の連携による水系一貫における水循環の維持又は回復、さらには、これら自然環境保全に関する意識啓発を推進する。また、北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代に継承していくため、砂浜の減少等が進む海岸景観の保全・再生や海辺に親しめる海岸づくり、貴重な湿地、島等が育む渡り鳥等の野生生物の生態系ネットワークの保全を推進する。さらに、昨今、地球温暖化の進行による生態系等への影響が危惧される中で、日本海沿岸地域にあっても顕在化する大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組みを強化することを目的としている。

(1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

① 山岳地域の自然環境の保全

[継続的な取組み]

○立山・黒部地域の環境保全の取組み【富山県】

- ・「とやまの山岳環境整備ボランティア」を募集し、登山道の安全対策や外来植物除去活動の継続的な実施
- ・立山におけるバスの排出ガス規制の継続的な実施

○希少野生動植物の保護対策事業の推進（ライチョウ）

【富山県、石川県、岐阜県、長野県、中部森林管理局】

- ・ライチョウ保護増殖検討会にオブザーバー参加

【富山県】

- ・第7次とやまのライチョウサポート隊を発足し、県民協働による保護活動を継続

【石川県】

- ・環境省の保護増殖事業で、いしかわ動物園がライチョウの人工繁殖に取組み、1羽が成育

【岐阜県】

- ・ライチョウに関する公式YouTubeや公式LINEを開設し、情報発信の体制を強化
- ・ライチョウを中心とした生物多様性シンポジウムを開催（R5.3.21）し、県民等にライチョウの生態や保全の取組みに関する環境教育・普及啓発を実施

【中部森林管理局】

- ・高山植物等保護パトロールを実施

○温暖化影響モニタリング調査の実施【石川県】

- ・クロユリをはじめとする高山植物の開花日のモニタリング調査や植生、昆虫、地表面温度等の調査

調査実施回数（R4年度：5回）←（R3年度：5回）[±0回]

○黒部川土砂管理協議会の取組み【北陸地方整備局、関西電力】

<第52回黒部川土砂管理協議会>

- ・実施場所：黒部市生涯学習文化スクエア 1F 大ホール
- ・実施時期：R4年5月24日（火）13：30～14：45

<第53回黒部川土砂管理協議会>

- ・実施場所：黒部市国際文化センター マルチホール
- ・実施時期：R5年2月13日（月）13：30～15：20
- 水質汚濁対策連絡協議会の開催【北陸地方整備局、近畿地方整備局】
 - ・富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会による水質事故対策訓練を実施（R4.11月）
 - ・九頭竜川・北川水系水質汚濁防止連絡協議会 委員会・幹事会を実施（R4.12月）
- 砂防工事現場の安全対策・創意工夫の取組み【北陸地方整備局】
 - ・神通川水系砂防令和4年度工事安全施工管理研究発表会（R5.2月）
 - ・令和4年度立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会（R5.2月）
 - ・第34回金沢河川国道事務所建設労働災害防止大会（R4.9月）
- 神通川自然再生計画【北陸地方整備局】
 - ・神通川自然再生事業の推進

② 自然環境保全に関する意識啓発

[継続的な取組み]

- いしかわ自然学校の実施【いしかわ自然学校】
 - ・いしかわ自然学校プログラム実績
 （R4年度：588プログラム、34,389人参加） ← （R3年度：575プログラム、21,267人参加
 [+13プログラム、+13,122人]）
- 小学生による水質調査【北陸地方整備局】
 - ・黒部川（R4.7月～R4.8月）
 - ・神通川水系熊野川（R4.7月）
 - ・庄川水系利賀川（R4.7月）
 - ・小矢部川（R4.6月）

(2) 日本海沿岸地域の環境保全

① 海岸景観の保全・再生

[継続的な取組み]

- 石川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】
 - ・石川海岸侵食・越波対策の推進（小松工区・片山津工区）
- 押水羽咋海岸侵食対策事業（千里浜海岸）【石川県】
 - ・人工リーフ（羽咋地区）の整備（R4年度：2基（150mのうち36m））
- 千里浜再生プロジェクト【石川県】
 - ・陸上養浜（R4年度：0.5万m³） ← （R3年度：0.5万m³ [±0 m³]）
 - ・海上投入（R4年度：3.0万m³） ← （R3年度：2.0万m³ [+1.0万m³]）
- 2016北東アジア自治体環境専門家会合 in とやま【富山県、（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）】
 - ・2016開催宣言に関する取組みを実施
- 環日本海地域における環境保全の推進（漂流・漂着物調査）【富山県、（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）】

<海辺の漂着物調査>

- ・実施海岸数 (R4 年度 : 3 か国、16 自治体、46 海岸) ← (R3 年度 : 3 か国、16 自治体、44 海岸 [±0 か国、±0 自治体、+2 海岸])
- ・参加人数 (R4 年度 : 1,702 人) ← (R3 年度 : 1,374 人 [+328 人])
- クリーン・ビーチ・いしかわ清掃活動【クリーン・ビーチ・いしかわ実行委員会】
- ・海岸清掃活動、漂流物展示の実施
- ・参加人数 (R4 年度 : 55,030 人) ← (R3 年度 : 26,759 人 [28,271 人])
- ※いしかわ漁民の森づくり (植林活動はツキノワグマ出没警戒情報発令のため中止)

② 野生生物の生態系ネットワークの保全

[継続的な取組み]

- 生物多様性保全に関する各種施策の推進(三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会)
【中部地方環境事務所、福井県、若狭町、美浜町】
- ・特定外来種等駆除数 (R4 年度 : 1,294 個体) ← (R3 年度 : 1,336 個体 [-42 個体])
- ・ヒシ刈り取り面積 (R4 年度 : 634,000 m²) ← (R3 年度 : 820,000 m² [-456,000 m²])
- 三方五湖の自然再生(三方五湖自然再生協議会)
- ・自然再生協議会 (R4 年度 : 16 回開催) ← (R3 年度 : 19 回開催 [-3 回])
- ・自然再生を地域経済の活性化につなげるよう地域資源 (景観、食べ物、農漁業体験等) を活用したエコツーリズムの推進を実施

③ 大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組み強化

[継続的な取組み]

- 大型クラゲ対策の強化【福井県】
- ・調査船による洋上調査
- ・大型クラゲ目視調査 (R4 年度 : 2 回) ← (R3 年度 : 2 回 [±0 回])
- 大型クラゲトロール調査 (R4 年度 : 2 回) ← (R3 年度 : 2 回 [±0 回])
- 海洋観測 (流向流速・水温塩分) (R4 年度 : 2 回) ← (R3 年度 : 2 回 [±0 回])
- ・情報発信 (ファックスおよびホームページ) : (R4 年度 : 2 回) ← (R3 年度 : 6 回 [-4 回])
- ・係留系観測 (R4 年度 : 3 海域 (鷹巣 : 5 月~10 月、小樟 : 5 月~8 月、常神 : 5 月~10 月))
← (R3 年度 : 3 海域 (鷹巣 : 5 月~11 月、小樟 : 5 月~11 月、常神 : 5 月~10 月) [±0 海域])
- 環日本海地域における環境保全の推進 (技術員の交流、北東アジア地域環境体験プログラム事業)【富山県、(公財)環日本海環境協力センター(NPEC)】
- ・北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 (オンライン開催)
- 参加人数 (R4 年度 : 5 か国 9 自治体 57 名) ← (R3 年度 : 3 か国 5 自治体 34 人 [+2 か国、+4 自治体、+23 人])

■取組み事例 希少野生動植物の保護対策事業の推進【中部森林管理局】

継続的な取組み

北アルプスの国有林において、希少な高山植物等の保護や山岳環境の美化を目的としたパトロールを継続して行っている。このパトロールは、昭和47年から毎年夏山繁忙期に行っており、富山森林管理署、地元自治体、山小屋関係者、運輸事業者等で構成する「国有林野保護管理協議会」がパトロール員を公募し、「立山」、「薬師岳・雲ノ平」、「黒部」、「白馬・朝日・北又」の4地区において実施している。

令和4年度は立山地区、黒部地区、薬師岳・雲ノ平地区の3地区でパトロールを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、薬師岳・雲ノ平地区は取りやめとなり、立山地区、黒部地区の2地区でパトロールを実施した。

<主な活動内容>

- ・違反行為者への注意指導（登山道外への踏み込み、指定地外キャンプ、植物採取等）
- ・登山者へ高山植物等保護を呼びかける啓発活動（ストックキャップの着用等）
- ・高山植物等保護のための立入禁止柵（グリーンロープ）の整備
- ・植生被害の拡大防止（置き石による脇道の封鎖等）
- ・看板、道標等の補修
- ・ゴミの回収を中心とした山岳美化活動
- ・植生保護、登山者安全確保のための雪渓切り
- ・ライチョウの生息状況の記録
- ・登山道、看板等の状況確認

[グリーンロープの設置]



[看板・道標等の補修]



[ゴミ拾い]



[ライチョウの生息状況の記録]



出典：令和4年度 高山植物等保護パトロール活動報告, 中部森林管理局富山森林管理署
(<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/toyama/attach/pdf/gurin1-3.pdf>)

■取組み事例 クリーン・ビーチ・いしかわ清掃活動

継続的な取組み

【クリーン・ビーチ・いしかわ実行委員会】

「クリーン・ビーチいしかわ」は、石川県の海岸線 583km をきれいにする海岸愛護運動で、毎年春に行われる海岸清掃「春の統一デー」（県民一斉海岸清掃デー）をはじめ県内各地での海岸清掃と、ラジオ放送を通じた海岸清掃への呼びかけや啓発を主な活動としている。

令和4年度は、「クリーン・ビーチいしかわ in はくさん」（開催日：R5年5月28日（土））と「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」（開催日：令和5年5月29日（日））を実施している。

[クリーン・ビーチいしかわ in はくさん]

・実施日：R5年5月28日（土）8:00～10:00 ・参加人数：600人

[クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ]

・実施日：R5年5月29日（日）8:00～10:00 ・参加人数：600人



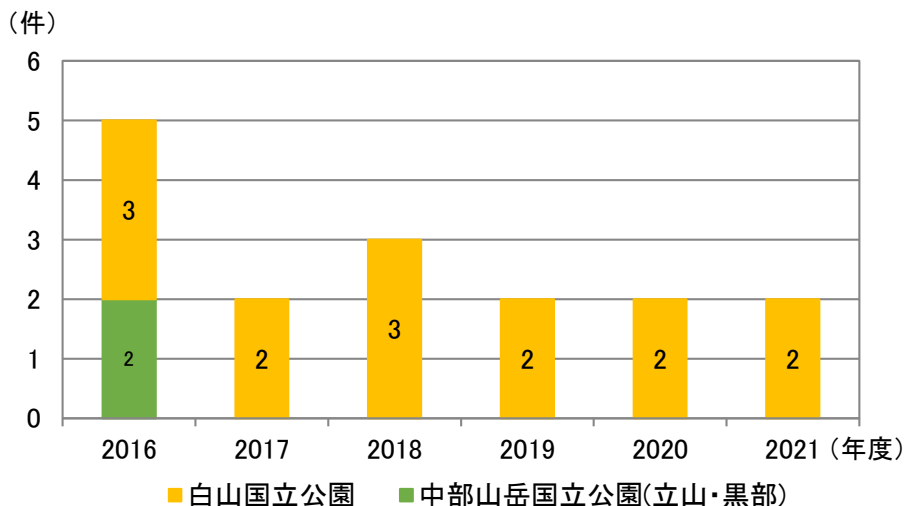
出典：クリーン・ビーチいしかわ in はくさん・クリーン・ビーチいしかわ in いしかわ, クリーン・ビーチいしかわ実行委員会

(3) 計画の進捗状況

1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

■モニタリング指標：自然ふれあい行事の開催件数と参加人数(件、人)

白山国立公園では、2021年度(令和3年度)は2件(参加人数：33人)の自然ふれあい行事を開催しており、継続的に自然ふれあい行事を開催している。

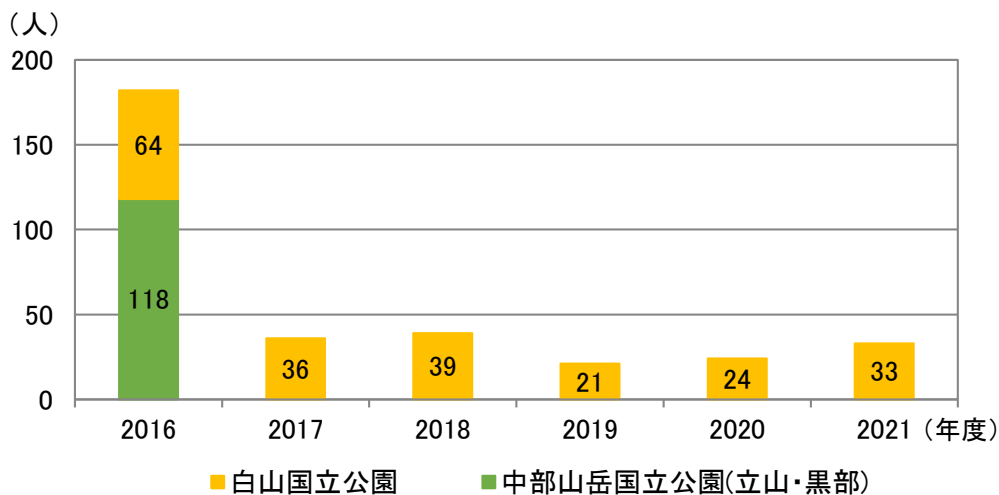


出典：中部地方環境事務所

図 40 自然ふれあい行事の開催件数の推移

(2022年12月末時点のデータ)

■モニタリング指標：自然ふれあい行事の参加人数(人)



出典：中部地方環境事務所

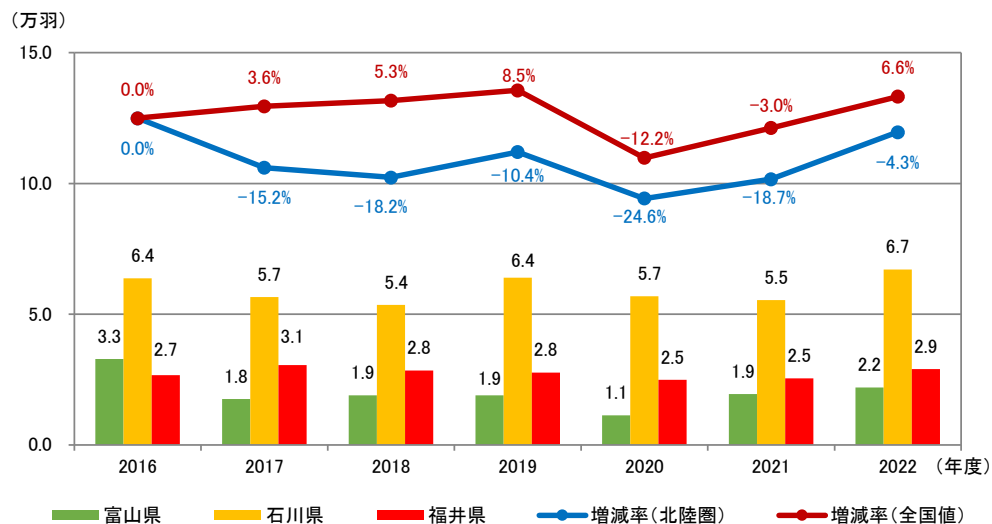
図 41 自然ふれあい行事の参加人数の推移

(2022年12月末時点のデータ)

2) 日本海沿岸地域の環境保全

■モニタリング指標：各県別の渡り鳥の飛来数（羽）

北陸圏の2022年度(令和4年度)における渡り鳥の飛来数は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.3%減少しているが、2021年度以降は前年度に対して増加傾向にある。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「ガンカモ類の生息調査」

図 42 渡り鳥の飛来数の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏における原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、他分野との連携や産学官連携等によるがん治療、次世代エネルギー、新品種開発等に活用される最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出に取り組む。また、先駆的なモデルとなる環境にやさしい暮らしの普及・定着を推進するとともに、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成することを目的としている

(1) 主な取組み状況

① 最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出

[継続的な取組み]

- 福井県若狭湾エネルギー研究センターにおける先端的な研究の推進【福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センター】
 - ・県内外の大学や研究機関、企業との共同研究数
(R4年度：57件) ← (R3年度：60件 [-3件])
 - ・原子力・エネルギー、環境関連技術分野での新たな製品化数
(R4年度：2件) ← (R3年度：2件 [±0件])
- 農業用水等を利用した小水力発電の推進【富山県】
 - ・建設中の地区(新田用水地区、久婦須川地区)
- 地熱発電の推進【富山県】
 - ・立山温泉地域地熱資源開発調査の実施(追加地表調査を実施)
- 発電所の大規模改良(リプレース)【富山県】
 - ・老朽化した県営水力発電所(4箇所)について、固定価格買取制度(FIT)を活用したリプレースに着手

② 環境にやさしい暮らしの普及・定着に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 環境モデル都市について計画に基づき事業を推進【富山市】
- 富山市エコタウン事業について計画に基づき事業を推進【富山市】
- とやまエコ・ストア制度の推進【富山県】
 - ・レジ袋無料配布廃止や資源物の店頭回収、プラスチックトレイの削減・転換など県民と協働で環境配慮行動に取り組む小売店舗を登録(R4年度：68社、1,056店舗・6商店街) ← (R3年度：70社、1,066店舗・6商店街 [-2社、-10店舗・±0商店街])
- いしかわモデルのメタン発酵技術の推進【石川県】
 - ・県HPでの公開
 - ・国交省や大学、民間企業等の施設見学を受入(施設見学者数：148名)
- 地球環境の保全、資源エネルギーの有効利用に関する普及啓蒙活動(北陸環境共生会議による循環型社会・低炭素社会の実現に向けた取組み継続)【北陸環境共生会議(富山県、石川県、福井県、北陸経済連合会で構成)】
【北陸経済連合会】

- ・北陸三県環境フェアへの出展
親子環境工作教室等への参加 (R4 年度 : 約 460 人) ← (R3 年度 : 約 220 人 [+約 240 人])
- ・地球温暖化防止啓発パンフレット作成
- ・地球温暖化防止勉強会開催 (約 80 名参加)
- ・各県が開催するセミナー・勉強会への支援

【石川県】

- ・いしかわ環境フェア 2022 を開催し一般県民への普及啓発を実施 (来場者数 : 7,000 名)

○中部エネルギー・温暖化対策推進会議【中部経済産業局、中部地方環境事務所】

- ・H17 年 4 月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」において、「地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を各地域ブロックごとに設置すると定められ、当地域では「中部エネルギー・温暖化対策推進会議」を設置して毎年度開催
- ・R4 年 11 月 4 日に第 18 回中部エネルギー・温暖化対策推進会議をハイブリット形式で開催し、同会議では、経済産業省、環境省、国の地方支分部局、自治体、エネルギー関係機関、経済団体、消費者団体、各地の地球温暖化防止活動推進センター等が出席し、希望された一般の方が傍聴するなか、中部地域におけるエネルギー・温暖化対策及びカーボンニュートラル等に係る各種関連情報の共有や活発な意見交換を実施

○近畿エネルギー・温暖化対策推進会議【近畿経済産業局、近畿地方環境事務所】

- ・近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議とは、近畿地域において国の地方支分部局、域内の地方公共団体、エネルギー関係者等をメンバーとして、近畿地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報交換・共有や、エネルギー需給構造に関する実態把握等を図り、地方公共団体を始め近畿地域の地球温暖化対策に関する自主的な取組みを促進するために、H17 年 3 月 31 日に設置し、「近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を毎年度開催
- ・R3 年 10 月 29 日に第 17 回近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議を開催し、経済産業省、環境省、国の地方支分部局、自治体、エネルギー関係機関等が出席し、近畿地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報交換・共有を実施

■取組み事例 地球環境の保全、資源エネルギーの

継続的な取組み

有効利用に関する普及啓蒙活動【石川県】

○いしかわ環境フェア 2022 の開催

「いしかわ環境フェア」は、環境に関する様々な展示や体験を通じて、県民一人ひとりが楽しみながら人と環境の関わりについて理解を深め、環境にやさしい暮らしについて考え、実践していく契機となることを目的としている。

R4年度は「みんなでストップ温暖化～カーボンニュートラルの実現に向けて、今わたしたちにできること～」をテーマに、「いしかわ近未来の環境技術展」・「いしかわの里山里海展」を同時開催し、地球温暖化から生物多様性まで、幅広い環境問題への取組について体験できるイベントとして開催された。

➤R4年度：来場者数 7,000 名

いしかわ環境フェア2022
 令和4年 8月20日(土) 21日(日) 9:30～16:30
 会場 石川県産業展示館4号館
 入場無料
 資源回収コーナー
 対象 古新聞・古雑誌・古着
 アルミ缶・ペットボトル
 協力：株式会社 藤越村商店 株式会社 マスク・アイ
 フードライブコーナー
 対象 缶詰・レトルト食品・乾物・菓子など未開封の常温食品
 ※賞味期限まで1か月以上のもの
 協力：いしかわフードバンク・ネット
みんなで!!ストップ温暖化
～カーボンニュートラルの実現に向けて、今わたしたちにできること～
 同時開催 **いしかわ近未来の環境技術展2022**
 いしかわ環境フェア2022 主催／(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議 後援／石川県、環境省中部地方環境事務所、北國新聞社
 いしかわ近未来の環境技術展2022 主催／石川県 後援／環境省中部地方環境事務所、北國新聞社
 ご来場の際には「マイバッグ・マイボトル」をご持参ください。(館内 数か所に給水機を設置します。)

トヨタ C+pod 展示
 屋外会場 **最新EV車展示&試乗コーナー** 過去最大のEV車ラインナップ!!
 Honda e 展示
 MAZDA MX-30 EV MODEL 展示
 メルセデス・ベンツ EQA250 展示
 日産 サクラ 試乗
 三菱 eKクロスEV 試乗
 BMW iX3 試乗
 プジョー e-208 試乗
 ぬくもりの木道づくり
 「つたえよつ美しき森」推進委員会
 地球のガチャ
 ガチャを回して地球のミライを考えよう
 参加するとプレゼントも!
 国立環境研究所 気候変動適応センター
水素キッズパーク
 みんながつくった水素で乗り物を動かそう!
 トヨタ MIRAI
人力発電体験コーナー
 スロットカーレース
 UFOキャッチャー
もったいない市
 食品を製造する過程で発生する端材や型くずれ品などの規格外品を販売
エコショップコーナー
 リサイクル品や環境にやさしいエコな商品
 〈無印良品〉 〈味の素AGF〉
 アルミ缶飲料 パウダードリンク試飲
 (お問い合わせ) (公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議 ☎076-266-0881 (9:00～17:00 月曜・祝日除く)

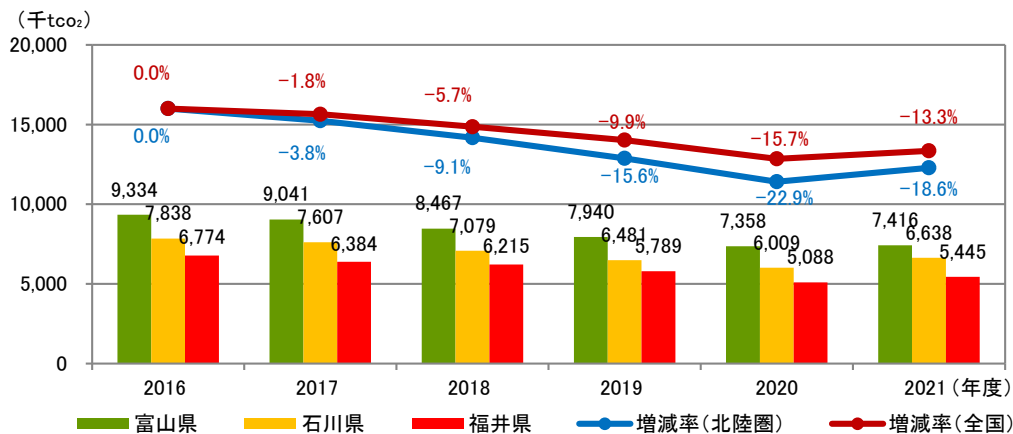
出典：いしかわ環境フェア 2022 / いしかわの里山里海展, 石川県

(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/fair/fair2022.html>)

(2) 計画の進捗状況

■モニタリング指標：①エネルギー起源 CO₂ 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO₂ 排出量）

北陸圏の 2021 年度(令和 3 年度)における人口 1 人あたりエネルギー起源 CO₂ 排出量は、2016 年(平成 28 年度)と比較すると 18.6%減少しており、全国値(13.3%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

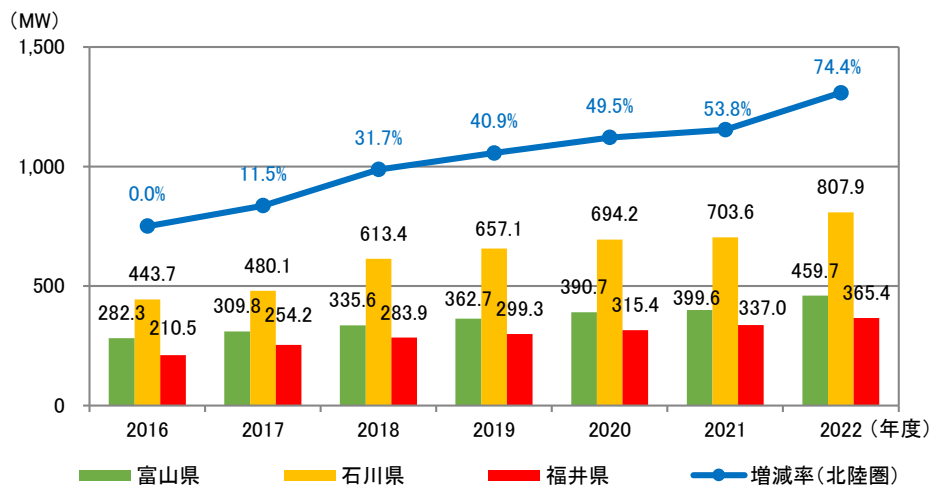
出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」（2021 年度は暫定値）

図 43 エネルギー起源 CO₂ 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO₂ 排出量）の推移

(2023 年 12 月時点の公表データ)

■モニタリング指標：②再生可能エネルギー設備認定状況

北陸圏の 2022 年度(令和 4 年度)における再生可能エネルギー設備認定状況(導入容量)は、2016 年度(平成 28 年度)と比較すると 74.4%増加している。2022 年度(令和 4 年度)の北陸 3 県の中で最も導入容量が多いのは石川県(807.9MW)である。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別再生可能エネルギー設備認定状況」

(「新規認定分」と「移行認定分」の合計値)

図 44 再生可能エネルギー設備認定状況（導入容量）の推移

(2023 年 12 月時点の公表データ)

2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の有する三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対する地理的な優位性を活かして、日本海側の産業・物流の中枢拠点機能を強化するため、地域レベルでは日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化、三大都市圏や環日本海諸国レベルでは近接性を活かした東アジア等の諸外国に展開する国際物流機能の強化を推進することを目的としている。

(1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

① 医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 令和 4 年度北陸地域における知財活用による経営力・ブランド力強化支援事業【中部経済産業局】
 - ・「事例とともに考える医工連携と知財戦略セミナー」および「企業と臨床工学技士がともに考える医工連携と知財戦略ワークショップ」を開催（計約 80 名参加）
- 令和 4 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域DX促進活動支援事業）【中部経済産業局】
 - ・高機能新素材（アルミなど金属・樹脂等複合材）関連企業等へのデジタル化支援（24 者）
 - ・高機能新素材関連企業等に対する IT ベンダー等とのマッチング支援（7 者）
 - ・高機能新素材や DX 等をテーマとしたオンラインセミナー（6 回）
- 地域デジタル人材育成・確保推進事業【中部経済産業局】
 - ・高機能新素材分野とデジタル人材の育成および DX をテーマとしたオンラインセミナー（1 回）
- とやま中小企業チャレンジファンド【(公財) 富山県新世紀産業機構】
助成件数、助成金額
(R4 年度：3 件、10,970 千円) ← (R3 年度：6 件、17,615 千円 [-3 件、-6,645 千円])
(H19～R4 合計 助成件数：177 件、助成金額：654,816 千円)
- いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド【石川県、(公財) 石川県産業創出支援機構】
<採択件数>
 - ものづくり企業特別枠 (R4 年度：5 件) ← (R3 年度：7 件 [-2 件])
 - 新商品開発・販路開拓 (R4 年度：37 件) ← (R3 年度：41 件 [-4 件])
 - 事前調査 (R4 年度：6 件) ← (R3 年度：11 件 [-5 件])
 - 商品改良・販路拡大 (R4 年度：6 件) ← (R3 年度：6 件 [±0 件])
 - 企業間・異業種連携 (R4 年度：1 件) ← (R3 年度：3 件 [-2 件])
 - 海外販路拡大枠 (R4 年度：4 件) ← (R3 年度：6 件 [-2 件])
- 「ふくいの逸品創造ファンド」による地域貢献産業の創出【(公財) ふくい産業支援センター】
助成件数 商品開発支援 (R4 年度：9 件) ← (R3 年度：7 件 [+2 件])
販路開拓支援 (R4 年度：1 件) ← (R3 年度：4 件 [-3 件])
- 北陸高機能新素材クラスター構想【石川県、(公財)石川県産業創出支援機構】

- ・コンポジットハイウェイコンベンションの開催

内容：航空機用複合材料を製造している企業を招き基調講演やパネル展示を実施

日時等：R4年11月30日 岐阜市じゅうろくプラザ

参加者：約50の行政・大学・研究機関・企業等から約80名が参加

② 北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性化

[継続的な取組み]

○伝統工芸職人塾（伝統工芸の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。）【越前ものづくりの里プロジェクト協議会】

- ・長期塾生（R4年度：20人）←（R3年度：17人 [+3人]）

- 短期塾生（R4年度：5人）←（R3年度：18人 [-13人]）

- 就業者（R4年度：11人）←（R3年度：10人 [+1人]）

○ものづくり中小企業等の人材確保支援【中部経済産業局】

〈次世代プロジェクト共創人材確保事業〉

- ・多様な形態を通じ、中小企業の成長・発展を担うプロジェクトに参画する人材の確保を支援

- ・中小企業のプロジェクトを明確化、兼業・副業等の新しい働き方を通じ多様な人材をマッチングし、好事例を地域に普及

〈経験値活用型サポート人材確保事業〉

- ・長年にわたる就業経験によって得られた専門的な知識・ノウハウ等を有する人材確保を支援

- ・金融機関等の支援機関と連携し、中小企業の課題を明確化、課題に対応した経験値豊かな人材をマッチング

〈就職氷河期世代人材確保事業〉

- ・中小企業の就職氷河期世代を中心とした人材確保を支援

- ・中小企業の意識啓発を行い、中小企業と就職氷河期世代等をマッチング

○地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業【近畿経済産業局】

〈中小企業の魅力発信〉

- ・大学の講義に中小企業がゲストスピーカーとして登壇し、中小企業の魅力を発信（R4年度：1社登壇、65人参加）←（R3年度：2社登壇、41人参加 [+24人]）

- ・人材確保・定着に積極的に取り組む中小企業の成功事例集を作成（2社掲載）

〈中小企業の人材確保に係るセミナー・研修及びマッチング支援事業〉

- ・定着研修

- 福井県（R4年度：1回、34社、37人参加）←（R3年度：1回、47社、181人参加 [±0回、-13社、-144人]）

- ・採用力向上セミナー

- 福井県（R4年度：福井県内18社参加）←（R3年度：福井県内22社参加 [-4社]）

- ・5ステップ実践セミナー（福井県7社参加）
- ・副業・兼業人材活用に向けた個別支援（福井県4社支援）
- ・氷河期世代特化型マッチング会（R4年度：福井県内16社、59人の求職者等が参加）←（R3年度：福井県内10社、18人の求職者等が参加〔6社、+41人〕）
- モノ作り基盤技術の高度化支援【中部経済産業局、近畿経済産業局】
 - ・戦略的基盤技術高度化支援事業の採択件数
 - 石川県（R4年度：2件）←（R3年度：3件〔-1件〕）
 - 福井県（R4年度：2件）←（R3年度：1件〔+1件〕）
 - ・戦略的基盤技術高度化支援事業の採択件数
 - 富山県（R4年度：1件）
- 中小企業地域資源活用プログラム【中部経済産業局、近畿経済産業局】
 - ・地域産業資源活用事業計画認定件数
 - 富山県（R4年度：1件）←（R3年度：0件〔+1件〕）

(2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

① 広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化

[継続的な取組み]

○インセンティブ等を活用した積極的なポートセールスによる港の利用促進

【富山県】

〈商談会でのポートセールス〉

海外バイヤー招へい商談会

- ・実施時期：R4年11月9日（水）
- ・会場：ボルフアート富山
- ・実施内容：国内に拠点や代理店を有する中国、アメリカ、インドネシア、シンガポール、タイ、マレーシア等のバイヤーとの商談会を開催

〈伏木富山港利用促進セミナー等の実施〉

- ①伏木富山港現地視察会（1回目：R4年7月26日（火）、2回目：R4年10月31日（月））
- ②伏木富山港利用促進セミナー（R4年11月10日（木））
- ③国際物流総合展2022への出展（R4年9月13日（火）～16日（金））
- ④スマート物流EXPO(名古屋)への出展(R4年10月26日(水)～28日(金))

○金沢港（大野地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

○七尾港（大田地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

○敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、福井県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

② 国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致

[継続的な取り組み]

- 港湾活用型企業の誘致及び集積【石川県】
 - ・Web 会議等、誘致活動を実施
- 対岸諸国と北陸地域との経済交流促進に向けての情報収集・発信【北陸経済連合会・北陸環日本海経済交流促進協議会】
 - ・留学生の地元企業への就職を支援する取り組みとして、留学生と留学生OB、企業との相互理解を図ることを目的に以下を開催
 - ・「外国人留学生と留学生OBとの意見交換会」(R4年8月)
 - ・「外国人留学生採用に関するシンポジウム」(R4年10月)
 - ・機関紙 Warm TOPIC(6冊/年)による東アジアに関する情報の発信
 - ・大学・研究機関の研究者による政治経済等の情勢報告
 - ・北陸三県の経済交流データ(貿易、企業進出状況等)
 - ・北陸三県、地銀三行海外事務所等からの情勢報告
 - ・北陸企業で活躍する留学生OBの紹介
 - ・特定技能外国人労働者に関する情報収集・情報発信
 - ・特定技能外国人労働者に関するセミナー開催(R4年11月)

③ 荷主に信頼される物流ネットワークの構築

[継続的な取り組み]

- 路面状況のリアルタイム映像など雪みち情報の提供【北陸地方整備局】
 - ・「雪みちネットワーク富山」による冬期道路情報の提供
 - ・富山河川国道事務所公式X(旧ツイッター)による道路情報の提供
 - ・「みちナビ石川」による冬期道路情報の提供
 - ・金沢河川国道事務所公式X(旧ツイッター)による道路情報の提供
 - ・「おしえて!雪ナビ」ホームページによる情報提供
 - ・「雪のトップランナー」ホームページによる情報提供
 - 【富山県】
 - ・「富山県冬期道路情報」による冬期道路情報の提供
 - 【石川県】
 - ・冬期間の道路画像や積雪・気温の情報を、県HP『石川の雪みちナビ』にて、パソコンやスマートフォンを通じ広く情報提供
- HP アクセス数 (R4年度: 1,703,483件) ← (R3年度: 1,723,093件 [-19,610件])

○令和4年度地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業

中部経済産業局では、人材確保に悩むものづくり中小企業に対して、多様な人材の確保・活用を促進し、中小企業の課題解決・経営力向上を図る事業を実施している。具体的には、企業が副業・兼業、インターンシップなどの多様な働き方で、若者、シニア、就職氷河期世代などの多様な人材を活用することを支援している。

①次世代プロジェクト共創人材確保事業

- ・多様な形態を通じ、中小企業の成長・発展を担うプロジェクトに参画する人材の確保を支援
- ・中小企業のプロジェクトを明確化、兼業・副業等の新しい働き方を通じ多様な人材をマッチングし、好事例を地域に普及

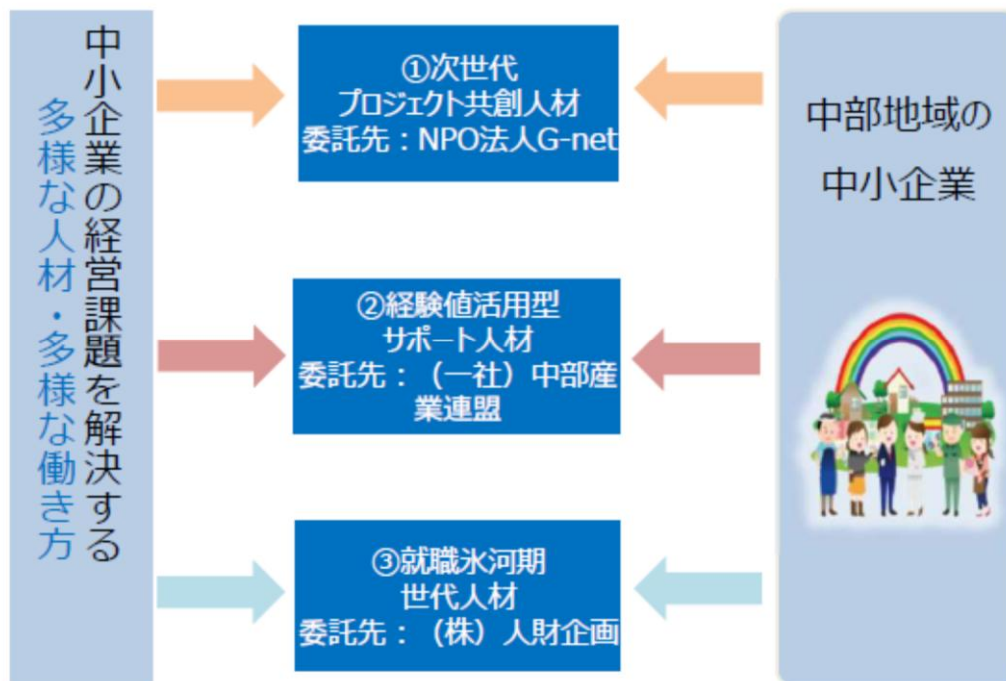
②経験値活用型サポート人材確保事業

- ・長年にわたる就業経験によって得られた専門的な知識・ノウハウ等を有する人材確保を支援
- ・金融機関等の支援機関と連携し、中小企業の課題を明確化、課題に対応した経験値豊かな人材をマッチング

③就職氷河期世代人材確保事業

- ・中小企業の就職氷河期世代を中心とした人材確保を支援
- ・中小企業の意識啓発を行い、中小企業と就職氷河期世代等をマッチング

[事業イメージ]



出典：令和4年度「中部経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」，中部経済産業局 (https://www.chubu.meti.go.jp/b32jinzai/jinzai_bank/index2022.html)

■取組み事例 インセンティブ等を活用した

継続的な取組み

積極的なポートセールスによる港の利用促進【富山県】

○伏木富山港利用促進セミナー等の実施

①伏木富山港現地視察会

7月26日、10月31日に、伏木富山港（新湊地区）において、伏木富山港現地視察会を開催した。県内外から、第1回は116名、第2回は82名が参加した。現地視察として、普段は入ることのできない富山新港の国際物流ターミナルを視察し、令和元年夏に岸壁が延伸されたコンテナヤードを見学した。またセミナーでは、船社やフォワーダー、ジェトロによる講演のほか、富山県からは伏木富山港の利用の補助制度等を紹介した。



②伏木富山港利用促進セミナーin 東京の開催

11月10日、東京都において「伏木富山港利用促進セミナー in 東京」を開催し、首都圏の荷主企業、船社、物流事業者等、約100名が参加した。基調講演では、明星大学経営学部教授細川昌彦先生に、世界経済情勢や経済貿易安全保障について講演があった。また、ONE ジャパン（株）から、伏木富山港の活用事例の報告があり、富山県からは伏木富山港の概況・メリット等を紹介した。



出典：令和4年度のポートセールス活動, 富山県

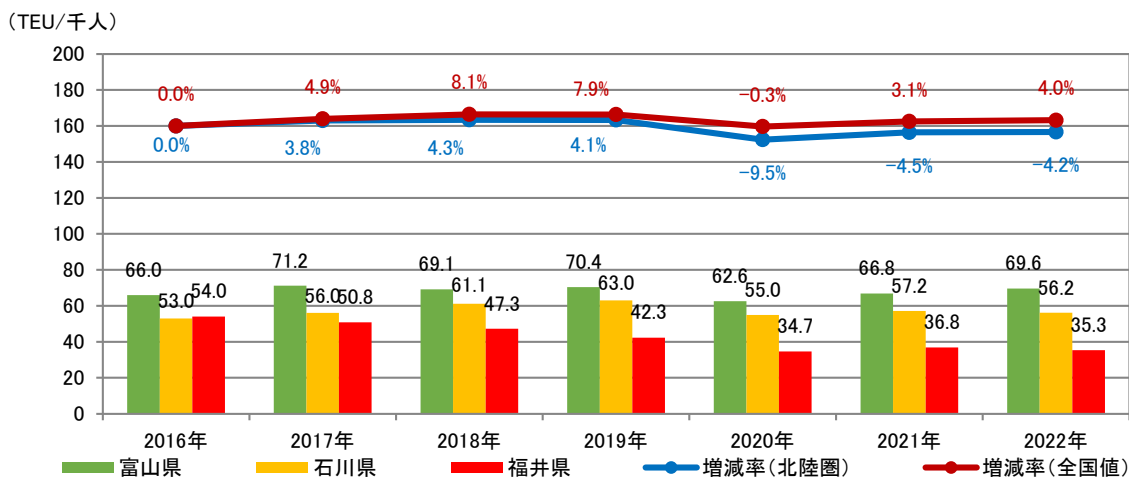
(<https://www.pref.toyama.jp/documents/13949/2022.pdf>)

(3) 計画の進捗状況

1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

■モニタリング指標：外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）

北陸圏の2022年(令和4年)における人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数は、2016年(平成28年)と比較すると4.2%減少している一方で、全国は4.0%増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

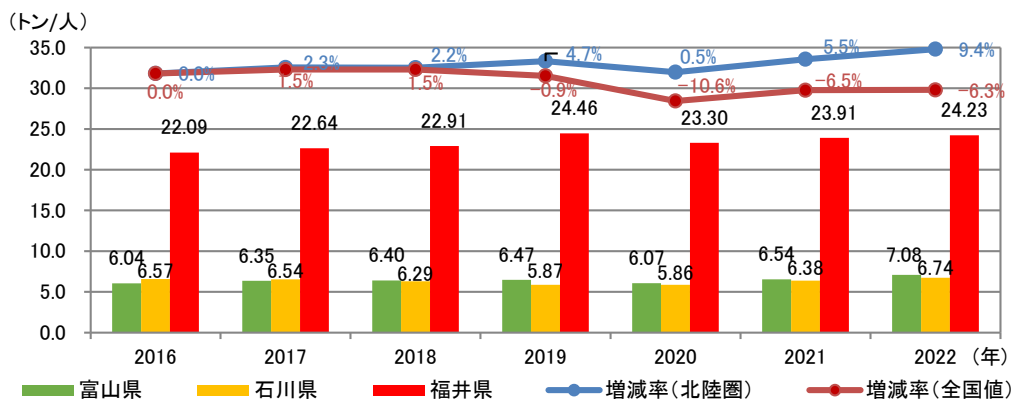
図 45 外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2) 環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

■モニタリング指標：港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）

北陸圏の2022年(令和4年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年(平成28年)と比較すると9.4%増加している一方で、全国値は6.3%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

図 46 港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の豊かな自然環境と水資源が育む、豊かで多様な農林水産資源や食文化を活かして、富山・加賀・福井平野を中心とした高生産性優良農業地域において、担い手の育成と担い手への農地の利用集積・集約化を図るとともに、農業水利施設の適切な保全管理、計画的かつ効率的な補修、更新等による施設の長寿命化を行うなど、良好な営農条件の確保により、圏域の食料供給力を強化する。また、消費者に信頼される高品質な「北陸ブランド」を構築し、知名度の向上や食関連産業を強化するとともに、国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充の促進、さらには、農水産物の圏域内における地産地消の推進による自給率の向上を図ることを目的としている。

(1) 食料供給力の強化

① 良好な営農条件の確保

[継続的な取組み]

○担い手への農地集積・集約化を促進するための支援（農地中間管理事業等）【北陸農政局】

- ・担い手や県、市町村、農業委員会などの関係機関に積極的に働きかけ、農地中間管理事業を柱とした担い手への農地集積を推進

管内の担い手への農地集積面積

(R4年度末：9万3千ha) ← (R3年度末：9万2千ha [+1千ha])

管内の担い手への農地利用集積率

(R4年度末：67.7% (富山県：68.8%、石川県：64.2%、福井県：69.7%)) ← (R3年度末：66.8% [+0.9pt])

※全国平均 (R3年度末：59.5%) ← (R3年度末：58.9% [+0.6pt])

- ・農地の大区画化や排水対策、農業水利施設の整備等を行うとともに、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進

<実施状況>農業競争力強化基盤整備事業

農地整備事業

富山県 (R4年度：51地区) ← (R3年度：54地区 [-3地区])

石川県 (R4年度：45地区) ← (R3年度：49地区 [-4地区])

福井県 (R4年度：22地区) ← (R3年度：20地区 [+2地区])

水利施設等保全高度化事業

富山県 (R4年度：11地区) ← (R3年度：8地区 [+3地区])

石川県 (R4年度：4地区) ← (R3年度：3地区 [-1地区])

福井県 (R4年度：5地区) ← (R3年度：5地区 [±0地区])

- ・農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るための計画策定や基盤整備、営農定着に必要な取組みを一括支援

<実施状況>農地耕作条件改善事業

富山県 (R4年度：24地区) ← (R3年度：25地区 [-1地区])

石川県 (R4年度：31地区) ← (R3年度：37地区 [-6地区])

福井県 (R4 年度 : 12 地区) ← (R3 年度 : 7 地区 [+5 地区])

○農地等の防災対策【北陸農政局】

- ・農地の湛水被害軽減など災害の未然防止のため農村地域防災減災事業を推進

＜実施状況＞

富山県 (R4 年度 : 48 地区) ← (R3 年度 : 47 地区 [+1 地区])

石川県 (R4 年度 : 55 地区) ← (R3 年度 : 76 地区 [-21 地区])

福井県 (R4 年度 : 28 地区) ← (R3 年度 : 27 地区 [+1 地区])

○土地改良施設管理の強化【北陸農政局】

- ・基幹水利施設管理事業（特別型）：都道府県が行う一定規模以上の国営造成施設の管理

富山県 (R4 年度 : 1 地区) ← (R3 年度 : 1 地区 [±0 地区])

石川県 (R4 年度 : 4 地区) ← (R3 年度 : 4 地区 [±0 地区])

- ・基幹水利施設管理事業（一般型）：市町村等が行う基幹的な国営造成施設の管理

富山県 (R4 年度 : 3 地区) ← (R3 年度 : 3 地区 [±0 地区])

福井県 (R4 年度 : 3 地区) ← (R3 年度 : 3 地区 [±0 地区])

- ・国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業（機能保全計画策定事業）

国営土地改良事業で造成された基幹的農業水利施設について、機能診断の実施

富山県 (R4 年度 : 1 地区) ← (R3 年度 : 2 地区 [-1 地区])

石川県 (R4 年度 : 4 地区) ← (R3 年度 : 1 地区 [+3 地区])

福井県 (R4 年度 : 0 地区) ← (R3 年度 : 2 地区 [-2 地区])

- ・国営造成施設管理体制整備促進事業

国営造成施設及び附帯県営造成事業を管理する土地改良区等の管理体制の整備

富山県 (R3 年度 : 0 地区) ← (R3 年度 : 6 地区 [-6 地区])

石川県 (R3 年度 : 6 地区) ← (R3 年度 : 6 地区 [±0 地区])

福井県 (R3 年度 : 2 地区) ← (R3 年度 : 3 地区 [-1 地区])

○農業水利施設の保全管理・整備を推進【北陸農政局】

- ・国営かんがい排水事業

(用水改良事業)

富山県 (1 地区) : 早月川地区

石川県 (1 地区) : 手取川地区

(排水改良事業)

富山県 (1 地区) : 射水平野地区

- ・国営農地再編整備事業

富山県 (1 地区) : 水橋地区

- ・国営総合農地防災事業

石川県 (1 地区) : 河北潟周辺地区

② 農林水産業の担い手の育成

[継続的な取組み]

- 担い手（認定農業者、集落営農組織）の育成・確保を推進【北陸農政局】

- ・集落営農組織（R5年2月：1,574組織）←（R4年2月：1,584組織 [-10組織]）
 - ・認定農業者制度の適切な運用を図るため、Web、メール等を活用して県や市町村等への情報提供を支援
 - ・集落営農の組織化・法人化を促進するため、各県毎に農業経営相談所を整備して支援
- 経営所得安定対策等の着実な推進【北陸農政局】
- ・対象農業者への制度内容・交付申請手続の説明、パンフレットの作成・配布により、加入申請が円滑に行われるよう対応

(2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

① 地産地消の推進

[継続的な取組み]

○ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定【北陸農政局】

北陸管内選定（R4年度：2件（石川県2件）←（R3年度：1件（石川県1件 [+1件]）

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動表彰」が令和4年度より統合されたもの

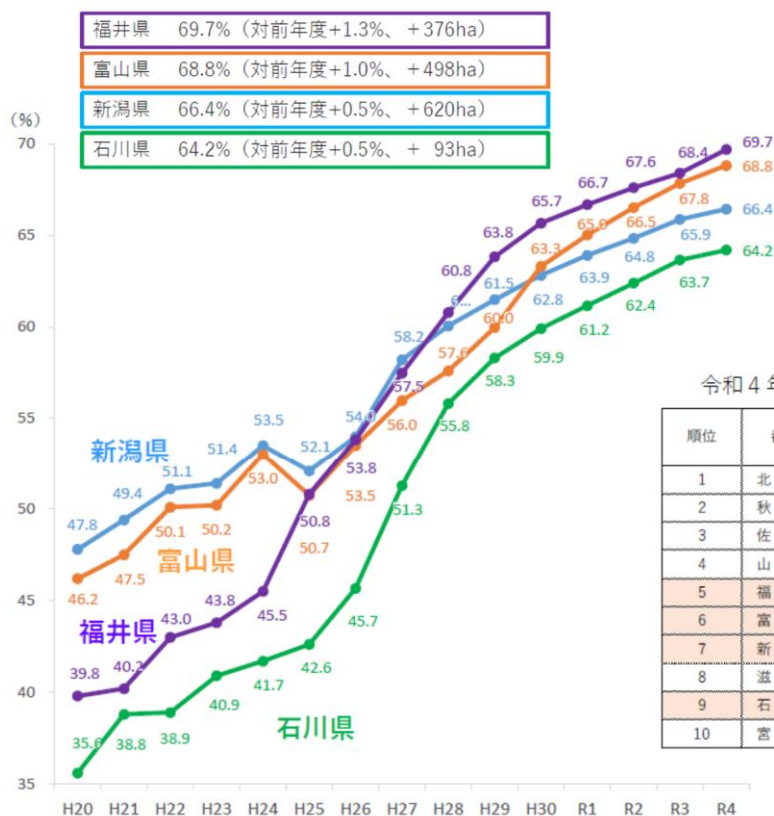
■取組み事例 担い手への農地集積・集約化を促進するための支援
 (農地中間管理事業等)【北陸農政局】

継続的な取組み

農業の高齢化が進む中で、担い手への農地利用の集積・集約化を図って行くことが喫緊の課題となっている。このため、農地の公的な中間的受け皿として、県段階に農地中間管理機構が整備され、農地中間管理事業の活用を柱に担い手への農地利用の集積・集約化を進めている。

▶管内の担い手への農地利用集積率 R4年度末：67.7% (R3年度末：66.8% [+0.9pt])

[北陸管内(県別)の農地集積の状況]



令和4年度集積率 上位都道府県 (全国)

順位	都道府県	担い手への集積面積(ha)	集積率	増減
1	北海道	1,044,609	91.6%	0.2%
2	秋田	104,342	71.3%	0.7%
3	佐賀	35,194	70.1%	△0.9%
4	山形	80,446	70.0%	1.0%
5	福井	27,669	69.7%	1.3%
6	富山	39,849	68.8%	1.0%
7	新潟	111,420	66.4%	0.5%
8	滋賀	33,229	65.8%	0.9%
9	石川	25,938	64.2%	0.5%
10	宮城	78,248	62.4%	0.6%

出典：北陸における農地中間管理機構の実績等について、北陸農政局
 (<https://www.maff.go.jp/hokuriku/keiei/attach/pdf/kikou-11.pdf>)

○ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものである。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動表彰」が令和4年度より統合されたもの

➤北陸管内選定 R4年度：2件（石川県2件）
（R3年度：1件（石川県1件 [+1件]））

[選定事例①] 里山総合会社山立会

- ・ビジネスの力で里山を活性化するために、里山における多角経営と、視察研修等による情報発信を実施
- ・菌床なめこ生産を中心に、ジビエ販売、羊の飼育・販売、食堂など多角経営によって経営力を強化



特大サイズの「でけえなめこ」が自慢



荒廃農地での放牧飼育。羊ふれあい体験も



ジビエのクラウドファンディングに挑戦

[選定事例②] 株式会社神子の里

- ・地域の特産品に付加価値をつける自社商品の開発や、山間部の農地を守るため、法人として営農も実施
- ・離農が進む中山間地域において棚田を守る取組として、「神子原米」のブランド化を進め、ローマ教皇への献上などにより認知度が向上



神子原米のブランディング（清酒・味噌・酢等）



やりがい繋がる産直機能と賑わい



見守り・配達・配食「神子デリ」の冷蔵配送車

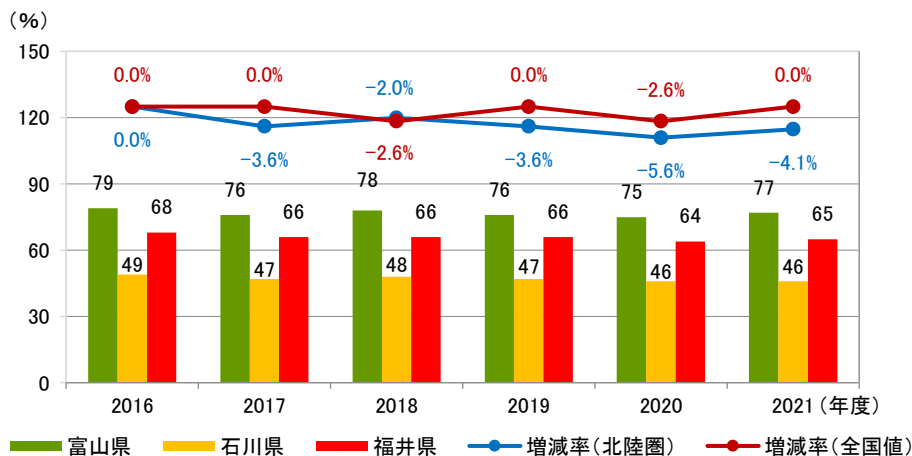
出典：「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第9回選定結果の公表について、農林水産省
(<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/oubokekka/kekka-9th.php>)

(3) 計画の進捗状況

1) 食料供給率の強化

■モニタリング指標：食料自給率（カロリーベース：％）

北陸圏の2021年度(令和3年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.1%減少している一方で、全国値は同水準(±0.0%)である。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算
出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移(カロリーベース)」※2021年度は概算値

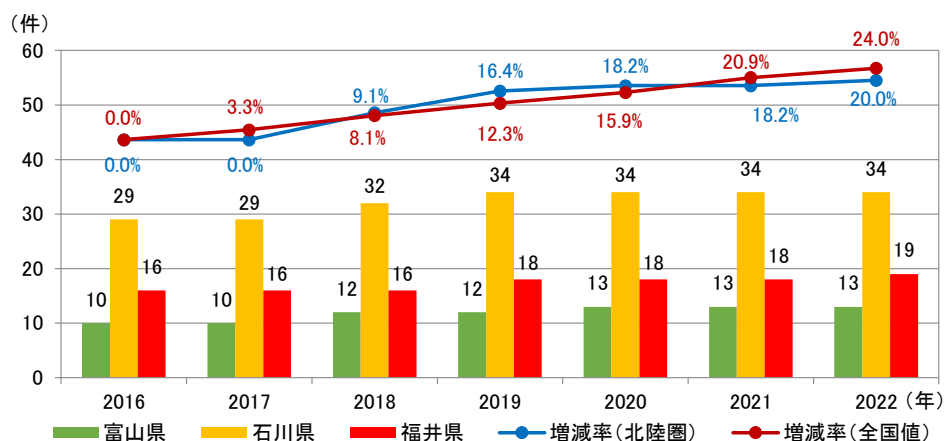
図 47 食料自給率(カロリーベース：％)の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路開拓・拡充

■モニタリング指標：地域団体商標登録数

北陸圏の2022年(令和4年)における地域団体商標登録数は、2016年(平成28年)と比較すると20.0%増加しており、全国値(24.0%増加)よりも増加している割合はやや低くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：特許庁「特許庁行政年次報告書」

図 48 地域団体商標登録数の推移

(2023年12月時点の公表データ)

2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

本プロジェクトは、太平洋側で危惧される首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害時のバックアップ機能を担う広域的な防災支援体制の構築を推進することを目的としている。

① 防災ネットワークの構築

[継続的な取組み]

○TEC-FORCE による防災支援【北陸地方整備局】

- ・石川県能登半島を震源とする地震に対する対応（R4年6月）
- ・8月3日からの大雨への対応（R4年8月）
- ・12月18日からの大雪への対応（R4年12月）
- ・12月22日からの大雪への対応（R4年12月）
- ・1月24日からの大雪への対応（R5年1月）

○災害対策用資機材情報の共有化【北陸地方整備局】

- ・石川県能登半島を震源とする地震への派遣（R4年6月）car-SAT
- ・8月3日からの大雨への派遣（R4年8月）UAV、排水ポンプ車、照明車、散水車（給水車）、路面清掃車、排水管清掃車、側溝清掃車

○多機関と連携した防災訓練

【富山県】

- ・富山県総合防災訓練の実施（R4年10月16日）
実施場所：富山県小矢部市、参加人数：約1,000人
（R3年度 実施場所：富山県滑川市、魚津市、上市町、舟橋村 参加人数：約2,900人）

【石川県】

- ・石川県防災総合訓練の実施（R4年9月25日）
実施場所：石川県川北町、参加人数：約6,970人
（R3年度 実施場所：石川県穴水町、参加人数：約800人）

【福井県】

- ・福井県総合防災訓練の実施（R4年10月8日）
実施場所：福井県勝山市、参加人数：約1,150人
（R3年度 実施場所：福井県鯖江市、参加人数：約1,050人）

○広域バックアップ専門部会（経済団体、物流団体、港湾関連会社、学識経験者、地方公共団体、国の地方支分部局等）【北陸地方整備局】

- ・首都直下地震に対応したオンライン代替輸送訓練（R4.12）
- ・南海トラフ巨大地震に対応したオンライン代替輸送訓練（R4.12）

② リダンダンシーの確保

[継続的な取組み]

○中部縦貫自動車道の整備促進

【近畿地方整備局】

- ・大野油坂道路の整備を推進（大野IC～勝原IC間（延長10.0km）がR5年3月19日に開通）

【中部地方整備局】

- ・高山清見道路の整備を推進
- 東海北陸自動車道の早期全線4車線化の推進

【富山県、岐阜県】

- ・富山県内において事業中である付加車線設置工事のうち、五箇山 IC～城端 SA 間の 2.4km 及び福光 IC～小矢部砺波 JCT 間の 3.5 kmが完成、供用開始（NEXCO 中日本）

【岐阜県】

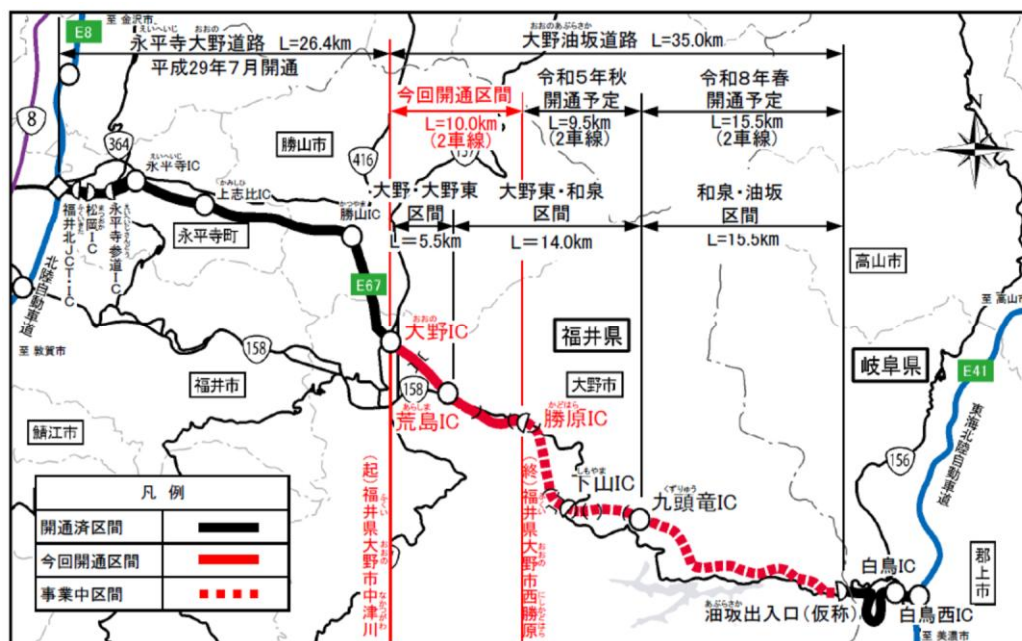
- ・東海北陸自動車道に関する提言活動を実施
 - 〈東海北陸自動車道建設促進同盟会〉
 - 提言活動（R4 年度：4 回）←（R3 年度：3 回 [+1 回]）
 - 〈岐阜県東海北陸自動車道建設連絡協議会〉
 - 提言活動（R4 年度：4 回）←（R3 年度：3 回 [+1 回]）
- ※いずれも会長は岐阜県知事、提言活動はそれぞれ同日に合同で実施
- 伏木富山港（富山地区）耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
- ・伏木富山港（富山地区）において、耐震強化岸壁の整備を推進

■取組み事例 中部縦貫自動車道の整備促進【近畿地方整備局】

継続的な取組み

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約 160 km の高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的とする。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路であり、大野油坂道路（延長 35.0km）の大野 IC～勝原 IC 間の延長 10.0km が、R5 年 3 月 19 日に開通している。



[大野 IC 付近]



[勝原 IC 付近]



出典：国道 158 号 中部縦貫自動車道 大野油坂道路令和 5 年 3 月 19 日（日）に開通します（記者発表資料），近畿地方整備局

(<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2022/20230131-1oonoaburazaka.html>)

■取組み事例 広域バックアップ専門部会（経済団体、物流団体、
港湾関連会社、学識経験者、地方公共団体、国の地方支分部局等）

継続的な取組み

【北陸地方整備局】

太平洋側の荷主企業及び物流の供給者が大規模災害時の代替輸送の有効性を認識するとともに「代替輸送基本行動計画」の実効性を高めるために、代替輸送訓練を実施している。想定する災害は、「首都直下地震」又は「南海トラフ地震」相当の地震として、令和4年度は令和3年度に引き続きオンラインシステム（2種類程度）によりそれぞれ訓練を行った。

<訓練概要>

首都直下地震：R4年12月12日(月) 13:00～17:00

南海トラフ巨大地震：R4年12月13日(火) 13:00～17:00

訓練会場：オンライン（Teamsによる参加）

<代替輸送訓練（オンライン形式）イメージ>

■プレーヤー(参加者)

- ・プレーヤーは、グループごとに、輸出荷主、海運業者等の模擬会社の災害対策本部の中で事業継続する担当の役割になってもらい、被害に見舞われている状況の中から代替輸送の対応を行う。

■サポーター(訓練事務局スタッフ)

- ・サポーターとは、プレーヤーの各グループ内に配置し、今回使用するツールの取り扱いの説明、補助し、進行をサポート。

■コントローラー(訓練事務局スタッフ)

- ・コントローラーは、参加者が実際に連絡する相手の役割(船会社、港湾・道路管理者、インフラ事業者等)を担う。

[PC操作状況]



[Web会議システム上の情報共有画面]



出典：令和5年度第1回広域バックアップ専門部会, 北陸地方整備局

■取組み事例 多機関と連携した防災訓練【福井県】

継続的な取組み

○福井県総合防災訓練の実施

令和4年度福井県総合防災訓練をR4年10月8日に勝山市において開催された。

➤参加人数 R4年度末：1,150人（R3年度末：約1,050人（実施場所：福井県鯖江市））

(1)実施日：R4年10月8日(土)

(2)実施場所：勝山市

(3)訓練参加数（機関）約100機関、約1,150人（住民）避難訓練参加住民 約250人

(4)訓練想定

- ・勝山市で土砂災害警戒情報の発表後、福井県嶺北(内陸)に震度6弱の地震が発生

(5)主な訓練項目

- 1)避難訓練（個別避難計画に基づく要支援者避難等）
- 2)避難所運営訓練（LINEを活用した避難所受付等）
- 3)救出救助訓練（実働機関が連携した水難救助等）
- 4)救援物資搬送訓練（軽自動車やオフロードバイクを利用した孤立地域への物資搬送）

(6)今後の対応

- ・ドローンによる物資搬送等、多様な手段を組み合わせた救援物資の搬送を実施
- ・県保有ドローンによる河川被害状況の確認を実施



出典：令和4年度福井県 総合防 災訓練の実施結果, 福井県

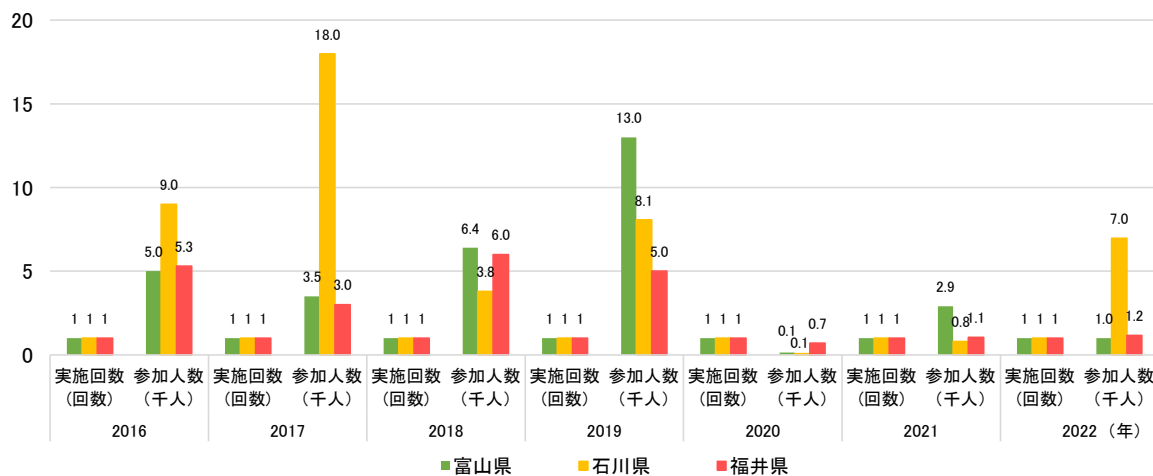
(https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kikitaisaku/kikitaisaku/r5-bousaikaigi_d/fil/04.pdf) 他

(2) 計画の進捗状況

■モニタリング指標：広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

北陸圏における広域的な防災訓練の実績は、下図の通りとなっている。また、2022年(令和4年)の実施状況は下記の通りとなっている。

- ・富山県では、小矢部市にて実施され、約1,000人が参加している。
- ・石川県では、川北町にて実施され、約6,970人が参加している。
- ・福井県では、勝山市にて実施され、約1,150人が参加している。



出典：北陸地方整備局「実施状況把握表」

図 49 広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

(2023年12月末時点のデータ)

2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の優れた地域資源及び北陸新幹線の開業等により充実する広域交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加による地域活性化を図るため、北陸の各地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を推進することを目的としている。

(1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

① 地域資源を活かした観光拠点の形成

[継続的な取組み]

○ぶりのり街道推進協議会【富山市】

- ・モニターツアーの造成及び開催（首都圏在住者を対象に、4市における地域観光資源及び食文化に触れるモニターツアーを実施）
- ・首都圏PR（ぶりのり街道の知名度向上と4市の魅力発信のため、首都圏にてPRや物産販売を実施し、あわせてモニターツアーの案内も実施）

○「立山・黒部」の世界文化遺産登録の推進【富山県】

- ・世界文化遺産登録に向け、調査・研究等を実施
- ・世界遺産登録推進シンポジウム開催
- ・ユネスコ本部（フランス・パリ）で開催された企画展において立山砂防をPR

○「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」の世界文化遺産登録の推進【石川県】

- ・構成資産の理解を深める事業の実施
- ・加賀藩主前田家墓所環境整備（H22～）
- ・城下町金沢の文化遺産群と文化的景観関連視察セミナー

○「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界文化遺産登録の推進【石川県】

- ・構成資産の理解を深める事業の実施
- ・白峰伝統的建造物群保存地区修理・修景（H29～）

【福井県】

- ・構成資産の価値を高める事業の実施

○恐竜溪谷 100万人構想【福井県】

- ・魅力的なテーマの企画展を開催
- ・第4次恐竜化石発掘調査

○みなとオアシスの活動促進

- ・ホームページ『北陸みなとオアシス』の管理・運営により、イベント等を周知

○クルーズ船の受入環境整備【北陸地方整備局】

- ・金沢港(大野地区)国際物流ターミナル整備事業の推進
- ・金沢港(大野地区)防波堤改良事業の推進

○石川県都市公園の整備（金沢城公園）【石川県】

- ・二の丸御殿の復元整備（調査・設計）
- ・石垣の保全対策

- ・入園者数（R4年度：231万人）←（R3年度：112万人 [+119万人]）

② 旅行者が何度も訪れたいくなる新たな観光形態の創出

[継続的な取組み]

○エコツーリズム推進事業【石川県】

- ・エコツーリズム、ヘルスツーリズムなどの「ニューツーリズム」を統括したパンフレットの配布

○グリーンツーリズムの推進

【富山県】

- ・「とやま帰農塾」

（R4年度：県内7市町で開催（9講座、64人参加）←

（R3年度：県内4市町で開催（6講座、41人参加） [+3市町、+3講座、+23人]）

- ・子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業モデル地域の受け入れ
- ・震災被災地からの子ども受け入れ：新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

【石川県】

- ・グリーンツーリズムの普及啓発

- ・農家民宿開業講座の実施

受講者数（R4年度：10人（1回開催））←（R3年度：29人（29回開催） [-19人（-28回）]）

- ・規制緩和により開業した農家民宿数（R4年度：98軒）←（R3年度：97軒 [+1軒]）

○観光地域づくり法人（DMO）の活動促進にかかる人材育成【北陸信越運輸局】

- ・DMOの活動を促進するための有識者からの講演や意見交換会等を実施

○若狭湾サイクリングルートの推進【福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、あおい町、若桜町、近畿地方整備局、福井県警、福井県サイクリング協会、JR西日本、商工会議所・商工会、観光協会等】

- ・嶺南地域におけるサイクリングルートの認知度向上および安全な走行環境の整備推進

③ 国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

[継続的な取組み]

○観光情報の提供【石川県観光連盟】

- ・観光客に対する情報提供の実施

実施箇所数（R4年度：72箇所）←（R3年度：74箇所 [-2箇所]）

利用者数

石川県金沢観光情報センター（R4年度：204,493人）←（R3年度：89,470人 [+115,023人]）

金沢中央観光案内所（R4年度：70,740人）←（R3年度：25,316人 [+45,424人]）

能登の旅情報センター（R4年度：59,267人）←（R3年度：26,161人 [+33,106人]）

○受入環境整備事業【中部運輸局】

- ・多言語案内標識の整備を支援（小浜市）

○手ぶら観光の推進【中部運輸局】

- ・手ぶら観光カウンター数の増加及び手ぶら観光ネットワークの充実化に向け、自治体等に対し積極的な働きかけを行い、空港、鉄道駅、宿泊施設、商業施設等へのカウンターの設置を促進する。

県別カウンター累計数

福井県（R4 年度：10 箇所）←（R3 年度：10 箇所 [±0 箇所]）

○「道の駅」相互の連携・交流の促進【富山県】

- ・各道の駅において、無料公衆無線 LAN の設置を検討
- ・無料公衆無線 LAN の設置駅数（R4 年度：15 駅）←（R3 年度：15 駅 [±0 駅]）

(2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

① 多様な広域観光ルートの充実及びこれを支える広域交通基盤の強化

[新たな取組み]

○サステナブルな観光コンテンツ強化事業【北陸信越運輸局】

- ・サステナブルな観光コンテンツ強化事業において、石川にて体験型コンテンツを造成
- ・1 事業でコンテンツを 3 本、モデルツアーを 2 本造成

○北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクトの促進【中部運輸局】

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業を新たな観光需要の創出の好機と捉え、観光誘客の促進及び地域活性化の機運を醸成することを目的にシンポジウムを開催

[継続的な取組み]

○クルーズ船の誘致促進

【富山県】

- ・クルーズ船社、旅行会社等への誘致活動等の充実
- ・海外船社等を対象とした招請事業の実施
- ・クルーズに関する情報発信
- ・歓迎式典、物販コーナー、観光案内所等の設置

【石川県】

- ・クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備、クルーズ人口拡大に向けた情報発信
 - ※海外見本市出展や海外船社訪問・招聘事業を通じて金沢港を継続的に P R
- 金沢港のクルーズ寄港数（R4 年度：6 本）←（R3 年度：4 本 [+2 本]）
 - ※邦船による国内クルーズから回復してきている

○東海北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道等や、富山高山連絡道路、金沢能登連絡道路等の高規格道路網の整備

【中日本高速道路株式会社】

- ・東海北陸自動車道 五箇山 IC～城端 SA 間の 2.4km 及び福光 IC～小矢部砺波 JCT 間の 3.5 km が 4 車線化（R4 年 11 月）

【北陸地方整備局】

- ・富山高山連絡道路（猪谷楡原道路・大沢野富山南道路）の整備促進

○広域観光ルートの構築

【富山県】

- ・海外の旅行会社・メディア等の招聘事業を実施
- ・海外旅行会社・メディア等を対象とした現地観光説明会・商談会を開催

【石川県】

- ・「新たなゴールデンルート」の定着促進に向け、海外有力メディアを活用したオンライン記事広告を行うことにより、認知度の向上を図る。

【環白山広域観光推進協議会】

- ・プラチナルート白山周遊キャンペーン（霊峰白山を中心に、白山白川郷ホワイトロードを軸とした周遊ルート）のPR
- ・インフルエンサーを活用した情報発信
- ・SDGs やサステイナブルをテーマとした体験ツアー造成
- ・出向宣伝やイベントによる情報発信
- ・岐阜県と富山県と連携した取組
 - 北陸新幹線・富山空港発着便を活用した観光ルートのPR
 - NEXCO 中日本と連携したドライブプランを販売

■取組み事例 若狭湾サイクリングルートへの推進

継続的な取組み

【福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、あおい町、若桜町、近畿地方整備局、福井県警、福井県サイクリング協会、JR 西日本、商工会議所・商工会、観光協会等】

若狭湾サイクリングルート推進協議会は、嶺南地域におけるサイクリングルートの認知度向上および安全な走行環境を整備するとともに、サイクルツーリズムを推進することで、交流人口の増大など地域の活性化を目的としており、ルートのブランド化を目指しナショナルサイクルルート（NCR）指定に向けた事業全体の方向性を決定するために設立されている。

＜令和4年度の事業計画（福井県）＞

- ① 走行環境整備（路面標示・案内看板等の整備、小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備、小浜大飯高浜自転車道（和田海岸区間）維持管理調査）
- ② 受入環境整備（サイクルステーションの整備支援 等）
- ③ 情報発信（滋賀県（ビワイチ）との連携広報）

[矢羽根の整備]



[案内看板・注意看板の設置]

設置場所	分岐部	単路部	拠点施設	自転車道並走区間
レイアウト				
サイズ	横15cm 縦45cm	横15cm 縦45cm	横45cm 縦150cm	横20cm 縦80cm
注意喚起看板				

[案内看板・注意看板の設置]



出典：若狭湾サイクリングルート推進協議会（令和4年度総会），若狭湾サイクリングルート推進協議会

北陸圏地域活性化プロジェクトの促進【中部運輸局】

○観光振興シンポジウム in 福井の開催

中部運輸局では、2023年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業を新たな観光需要の創出の好機と捉え、観光誘客の促進及び地域活性化の機運を醸成することを目的に、「観光振興シンポジウム in 福井」を開催し、福井県内の自治体、観光関係事業者等から102名の参加があった。

基調講演では、観光庁より第4次観光立国推進基本計画案に基づく国としての今後の方針の説明があり、日本政府観光局（JNTO）からは、インバウンド観光の動向や今後インバウンド観光で関心が高い項目等について説明があった。また、じゃらんリサーチセンターからは、観光振興にかかる事例を紹介しつつ、地域で何を行うべきかについて説明があった。パネルディスカッションでは観光誘客の取組と地域振興について、パネリストの間で議論が交わされた。

主催：中部運輸局 協力：福井県、公益社団法人福井県観光連盟

日時：令和5年3月20日（月）13:15～15:45 会場：福井県織協ビル 10階大ホール

次第：1. 開会挨拶 中部運輸局長 大石 英一郎

2. 来賓挨拶 福井県知事 杉本 達治

3. 基調講演1「観光の現状と今後の取組」

観光庁 観光地域振興部長 中村 広樹 氏

基調講演2「インバウンド観光客の誘致に向けて

～インバウンド観光を巡る動向と今後の取り組み～

日本政府観光局（JNTO） 理事 中山 理映子 氏

基調講演3「交通機関充実の機会に、地域は何を行うべきか」

じゃらんリサーチセンター センター長 沢登 次彦 氏

4. パネルディスカッション

テーマ 「新幹線開業に向けた観光誘客の取り組みと地域振興」

ファシリテーター 中山 理映子 氏

パネラー 沢登 次彦 氏

漆原 健 氏（西日本旅客鉄道(株) 理事金沢支社長

時岡 壮太 氏（(株)デキタ 代表取締役）

佐竹 正範 氏（(公社)福井県観光連盟観光地域づくりマネージャー）



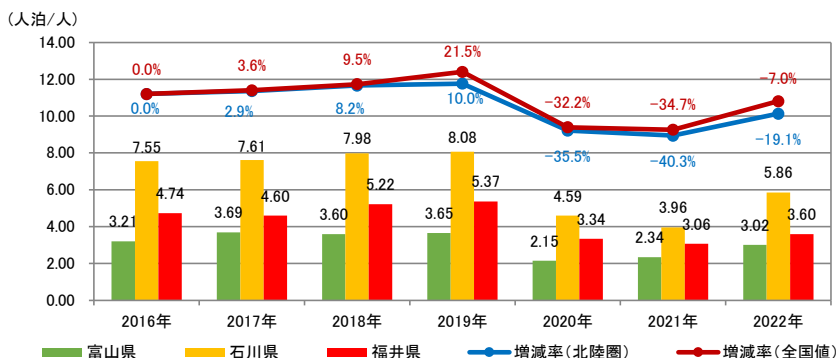
出典：「観光振興シンポジウム in 福井」開催概要, 中部運輸局資料

(3) 計画の進捗状況

1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

■モニタリング指標：宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）

北陸圏の2022年(令和4年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して19.1%減少しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった前年の2021年(令和3年)の対しては増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図 50 宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）の推移

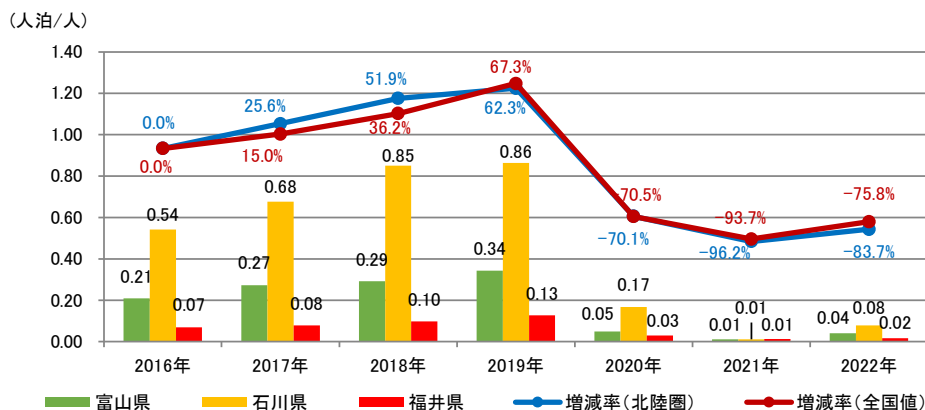
(2023年12月時点の公表データ)

2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

■モニタリング指標：①宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）※(1)と同じ指標のため省略

■モニタリング指標：②外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）

北陸圏の2022年(令和4年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して83.7%減少しており、2020年(令和2年)以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国値と同様に大幅な減少となっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

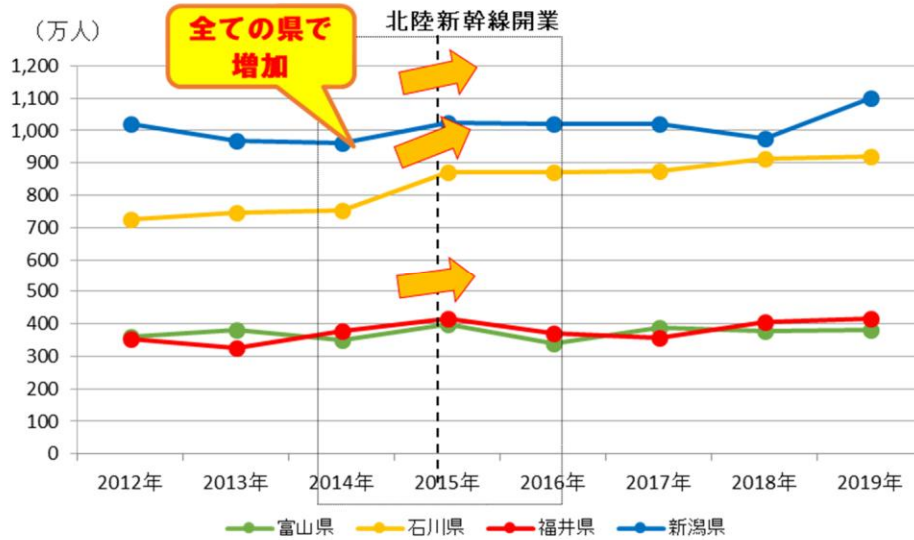
図 51 外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）の推移

(2023年12月時点の公表データ)

参考：延べ宿泊者数の推移

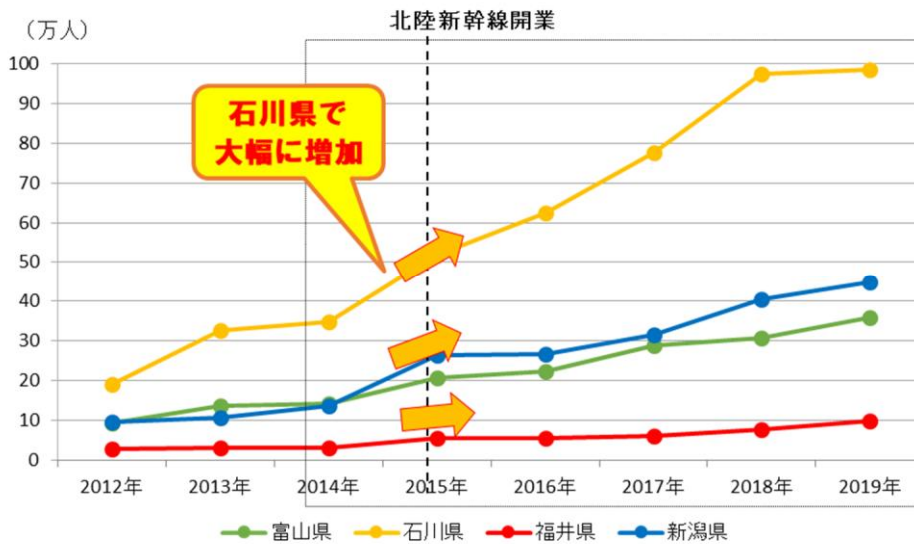
北陸新幹線開業後の日本人・外国人延べ宿泊者数は3県全てにおいて増加。特に石川県の外国人延べ宿泊者数が大幅に増加。

■日本人延べ宿泊者数の推移



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

■外国人延べ宿泊者数の推移



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

北陸圏広域地方計画の推進について
令和4年度の実組み
令和6年3月

北陸圏広域地方計画推進室
〒950-8801 新潟市中央区美咲町 1-1-1
TEL 025-280-8880(代表)